

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	淡路夢舞台公苑(温室・野外劇場)	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(株)夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	安全で快適な利用を確保するため、日常清掃及び定期清掃を行う。 頻度 ・温室便所 1回/日 ・野外劇場便所 1回/2日 ・通路階段等清掃 2回/週 ・園路広場清掃 1回/週 等	施設利用者の妨げとならないよう配慮しながら計画どおり実施し、清潔で良好な環境を維持した。 頻度 ・温室便所 1回/日 ・野外劇場便所 1回/2日 ・通路階段等清掃 2回/週 ・園路広場清掃 1回/週 等	◎	◎
	設備保守管理	施設を安全かつ安心して利用できるよう、予防保全に努め、建築物や設備等の不具合を発見した場合には、速やかに適切な対応をとる。 頻度 日常点検 1回/日 定期点検 以下のとおり ・電気設備 2回/年 ・空調設備 2回/年 ・消防設備 2回/年 ・昇降設備 1回/月 等	定期保守点検等により施設の予防保全に努めるとともに、建築物や設備等の不具合がないかを日々の業務において確認した。 頻度 日常点検 1回/日 定期点検 以下のとおり ・電気設備 2回以上/年 ・空調設備 2回/年 ・消防設備 2回/年 ・昇降設備 1回/月 等	◎	◎
	植栽管理	敷地内の除草・剪定、樹木管理等を行い、美観を保つ。 頻度 ・機械除草 3回/年 ・剪定工 1回/年 ・芝刈込み 3回/年 等	定期的な植栽管理の実施により、快適な環境を維持した。 頻度 ・機械除草 6回/年 ・剪定工 1回/年 ・芝刈込み 7回/年 等	◎	◎
	警備	事故盗難等の発生を警戒・防止するとともに、利用者の安全を守るための保安警備業務を行う。 頻度 ・施設巡回 1回/日 日中・夜間の警備を毎日実施。	24時間常駐警備員によるモニター及び巡回による監視を行い、利用者の安全安心の確保に努めた。 頻度 ・施設巡回 1回/日 日中・夜間の警備を毎日実施。	◎	◎

	小規模修繕	<p>日常の保安点検や故障の発生に応じて速やかに応急処置を行う。</p>	<p>・温室棟 1F 水景機械室ろ過ポンプ修理 ¥119,900 円(税込)</p> <p>・温室外周点字ブロック修繕 ¥74,800 円(税込)</p> <p>・温室棟 荷捌きスロープ灌水配管修繕 ¥49,500 円(税込)</p> <p>等</p> <p>施設や設備の経年劣化に伴い故障が増えているが、計画的かつ適切に実施し、利用者からの苦情は無かった。</p>	◎	◎																		
	法定点検の実施	<p>法令に定められた各種点検を実施する。</p>	<p>各種法令により義務付けられた点検を計画どおり適切に実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>頻度</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・受変電設備</td> <td>1回/3年</td> <td>1回/3年</td> </tr> <tr> <td>・空調設備</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> </tr> <tr> <td>・消防設備</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> </tr> <tr> <td>・昇降設備</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> </tr> <tr> <td>・水質検査</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> </tr> </tbody> </table>	頻度	計画	実績	・受変電設備	1回/3年	1回/3年	・空調設備	1回/年	1回/年	・消防設備	1回/年	1回/年	・昇降設備	1回/年	1回/年	・水質検査	1回/年	1回/年	◎	◎
頻度	計画	実績																					
・受変電設備	1回/3年	1回/3年																					
・空調設備	1回/年	1回/年																					
・消防設備	1回/年	1回/年																					
・昇降設備	1回/年	1回/年																					
・水質検査	1回/年	1回/年																					
運営業務	開館日・開館時間等	<p>[温室]休館日:7・11 月の第 2 木曜日 開館時間:10~18 時 ※年末年始等の土日は 21 時まで</p> <p>[野外劇場] 休業日:12/29~1/3 窓口受付:9~18 時 利用時間:9~21 時 [その他施設]年中無休 24 時間開園</p>	<p>計画通りの運営を行った。また、消毒薬や非接触式体温計の設置など感染防止策を徹底しながら営業を行った。</p>	◎	◎																		
	公共性・公平性の確保	<p>公共の公園施設であり、利用者に公平に利用していただく。</p>	<p>温室や周辺エリアにおいて様々な企画、展示を行うとともに、植物の解説看板の設置等幅広い利用者の多様なニーズに応えるよう努め、公園として快適な公共空間を提供した。</p>	◎	○																		
	各種事業・プログラムの実施状況	<p>温室の自主イベントとして春と秋の花祭、ラン展等を実施する。</p>	<p>蘭展をはじめ、年に6回のフェスティバルを間断なく開催した。また、プリザーブドフラワー教室や食虫植物教室など各種イベントを開催。季節感豊かなイベント開催に努めた。</p>	◎	◎																		

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	温室で利用者にアンケートを実施し、満足度や意見等を把握する。それらを分析し、自己評価の材料とする。	今後の施設運営に生かすため、温室入館者にアンケートを実施し、利用者のニーズの継続的な把握に努めた。収集した情報を職員間で共有するなど、利用者の満足度向上に努めた。	◎	◎
利用状況	利用者数	[温室]年間入館者の目標値は16万人とする。 [前年度：75,972人] [前々年度：82,341人]	全国旅行支援を追い風に来場者数は回復傾向にあったものの、新型コロナの感染拡大の影響や、団体利用が戻らず入館者数は約10万3千人と目標を大きく下回った。	○	△
	施設稼働率	— [前年度：○○%]	—		
収支状況	収支計画と実績	安全で快適な利用環境を提供できるよう、適切な支出を行う。	適切な植栽管理や施設修繕を行いながら、魅力ある温室展示等にも努め、コロナ禍にあって利用者に安らぎを感じてもらえるよう努めた。	○	△
	経費節減に向けた取組	展望テラスを含む夢舞台公苑全体で植栽・施設管理を行い、経費節減を図る。	展望テラス等夢舞台公苑内の他施設と一括で植栽管理等を委託し、作業効率を図るとともに、節電・節水を心がけた。	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	入館者から苦情要望には、迅速かつ適切に対応するとともに、アンケートにより利用者の意見やニーズ等を把握する。	来園者から直接、あるいは電話で寄せられる問合せ等について、迅速かつ丁寧な対応を心がけた。アンケートでは施設や設備、職員の対応について概ね90%が満足しており、適切に対応したと考えられる。また、入館者から得られた意見等について職員間で情報共有し、運営体制の向上に努めた。	◎	◎
	危機管理体制の確保	温室等夢舞台公苑全体の消防計画を作成し、定期的に消防訓練を実施する。	夢舞台公苑全体の統括防火防災管理体制のもと、温室・野外劇場地区隊を組織。消防計消防防災訓練を実施し、緊急時対応における初動の遅れを防止するよう意識の向上に努めた。 頻度 計画 実績 ・防災訓練 1回/年 1回/年 ・防火訓練 1回/年 1回/年	◎	◎
	県・関係機関との連携	県及び関係機関との緊急時の連絡体制を整え、緊急時に対応する。	必要に応じ、適時適切に連絡調整を行い、円滑な運営に努めた。	◎	◎

	業務の再委託の状況	植栽管理、設備管理、清掃、警備等専門性のある業務について、再委託を行う。	設備維持管理に必要な定期保守点検、植栽管理、設備管理、清掃、警備等については、再委託を行った。	◎	◎
--	-----------	--------------------------------------	---	---	---

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

全国旅行支援等の旅行施策により昨年度に比して来場者が増加。個人利用者は大幅に回復したものの、8月、1月のコロナの感染拡大の影響もあり団体利用が低迷し集客数は計画に届かなかった。

花があふれ心安らげる公苑の役割を果たすため、利用者の安全安心のための感染防止対策や日々の適切な維持管理・設備改善等に取り組み、適切に良好な状態で管理運営した。

前年9月にリニューアルした温室については、初めての春から夏を迎え、スプリング花フェスティバル(4/9～4/30)を皮切りにあわじオーキッドフェスティバル(1/21～3/12)まで6つのフェスティバルを年間を通して切れ目なく開催。コロナの影響も残り、団体利用が回復しなかったため集客数は計画に届かなかったものの、積極的な広報により新聞・TV等で取り上げられるなど、PRと集客促進に努めた。

また、海外でも有数の植物園であるシンガポール植物園と、植物の交換・貸借、人材交流を基本としたMOU(Memorandum of Understanding)を締結。この成果をより魅力的な展示運営に生かしていく。

今後も、夢舞台施設群の一つとして、ホテルをはじめ国営明石海峡公園等の周辺施設のほか、シンガポール植物園や県立フラワーセンター等、国内外の植物園と連携した広報、集客に努める。また、今年度実施したアンケートから、SNSを媒体とした来場者が増加していることから、従来の広報媒体(HP、TV、雑誌、パンフレット、駅広告等)の中でも特にSNSを活用した情報発信に取り組む。

令和5年度のJRのデスティネーションや令和7年度の大阪関西万博の開催を見据え、認知度の向上を目指した積極的な広報展開やイベントの実施等により国内外の来場者の獲得を目指していくとともに、利用者満足度の向上に取り組む。

令和4年度 総合評価シート

評価者：まちづくり部公園緑地課

施設名	淡路夢舞台公苑(温室・野外劇場)	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(株)夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

【維持管理業務】

実施計画で設定した維持管理水準を概ね達成し、必要な小規模修繕等を実施している。また、利用者満足度調査において、公苑内の整備水準や管理状態について8割以上の利用者が満足と回答（前年度は6割程度）しており、適切な維持管理がなされている。

【運營業務・利用状況等】

新型コロナウイルス感染再拡大の影響があったとはいえ、来園者数は、目標年間来園者数 160,000 人を大きく下回る 10.3 万人となっている。2月以降は旅行支援策の影響もあり、コロナ以前の水準に戻りつつあるが、引き続き展示改良、魅力的な企画や体験プログラム・イベントの開催、他施設とのコラボレーション、より効果的な広報、利用者の利便性向上等、新たな集客策を検討する必要がある。

【収支状況】

利用者数の減により、利用料金収入が計画の7割程度にとどまっており、大幅な赤字を生じている。ウェブディング等撮影料、自動販売機設置手数料として収益を上げるなど、一定の工夫が見られるものの、集客力の向上に向けた取組が不可欠である。

【運営体制】

管理不備に起因する重大な事故・事件もなく、特段の苦情も発生していない。利用者満足度調査において、職員対応について約9割の利用者が満足・やや満足と回答しており、適切な運営体制が確保されている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

利用状況の改善に向けて、利用者満足度調査結果を分析し、SNSによる情報発信の強化や、明確なコンセプトを持った造形物の展示・景観の形成など、引き続きPR強化及び利用者の満足度向上、リピーターの増加に向けて取り組んでいただきたい。あわせて、施設の積極的な利活用を図り、収益性の改善に取り組んでいただきたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	A			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	舞子公園(移情閣以外)	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	園内便所 1・2・3・4・5 号:1 回/ 日 管理事務所・地下駐車場便所: 1 回/日 海上プロムナード便所:420 回/ 年 旧木下家住宅便所:1 回/日 旧武藤山治邸便所:1 回/日、 工作物:適宜 雨水排水施設:適宜、園路・広 場:適宜 など	園内便所 1・2・3・5 号:1 回/日 4 号:2 回/日 管理事務所・地下駐車場便所:1 回/日 海上プロムナード便所:480 回/年 旧木下家住宅便所:1 回/日 旧武藤山治邸便所:1 回/日、 園路・広場:359 回/年 など 計画以上に実施した。実施に当た っては、施設を常に清潔に保ち、 利用者が快適で安心して利用が できる環境の確保に努め、不快感 等を与えることのないように配慮し た。また、定期的に利用状況の点 検等を行い、常に快適なご利用の 確保に努めた。	◎	◎
	設備保守管理	建物、工作物、遊具、雨水排水 設備、汚水排水設備、給水設 備、電気設備、高圧受電設備、 消防設備、エレベーター、非常 用発電設備の日常及びプロム ナードの日常点検、定期点検 など	全項目日常点検 1 回/日 定期点検:2 回/年(建物、工作物、 遊具、汚水排水設備、給水設備、 電気設備、消防設備)1 回/年(中 高木、雨水排水) 遊具定期点 検:1 回/週、遊具専門点検:1 回/ 年、定期点検:1 回/月(高圧受電 設備、消防設備、エレベーター設 備、プロムナード)、エレベーター 法定点検:1 回/年、プロムナード 基本点検:1 回/年、ITV点検:2 回 /年 など 遊具については、日常点検に加え て週に 1 回の定期点検を行うほ か、適宜修繕により安全確保に努 めた。また、その他老朽化した設 備等に関しては、利用中止など安 全の確保を最優先にした対応と初 期段階での修繕に努めた。	◎	◎

植栽管理	<p>高木剪定:適宜 低木剪定:3回/年 9,500 m² 仕立て松剪定:2回/年 200本 松病害虫防除:適宜 芝刈り:2回/年延べ 72,400 m²、 芝生エアレーション、目土散布 1回/年 36,200 m² 芝生灌水:適宜 花壇植え替え 3回/年 花壇人力抜根除草:適宜 花壇施肥:適宜 草刈:適宜 など</p>	<p>高木剪定:41本 低木剪定:3回/年 7,027 m² 仕立て松剪定:2回/年 248本 松病害虫防除:1回/年 芝刈り:年3~4回延べ 149,895 m² 花壇植え替え 3回/年 花壇人力抜根除草:3回/年 花壇施肥 2回/年 など</p> <p>芝刈りは景観維持のため、計画以上に実施した。松喰い虫の病害虫防除の実施や仕立て松剪定など公園の歴史ある松林を中心とした植栽の適正な保全・維持管理を行い、快適で安全に利用できる環境づくりに努めた。また、花壇においては景観を意識した美しい植栽管理が行えた。</p>	◎	◎
警備	<p>園内巡回:2回/日 プロムナード:362回/年 夏期夜間警備:(8月) 合同パトロール:1回/2ヶ月</p>	<p>園内巡回:2回/日 プロムナード:362回/年 夜間警備夏期(8月):計5回 合同パトロール:1回/2ヶ月 計画どおりに実施した。 特に留意した園内巡回では、事故防止の観点から施設の安全点検と利用指導を重点に行った。海上プロムナードではおもてなしの心で旅行者に声かけをし、利用マナーの周知を図った。合同パトロールや夏期夜間巡回では、利用者へ声かけをするなど快適利用と事故防止のための利用指導等を行った。以上により安全安心な警備が行えた。</p>	◎	◎
小規模修繕	<p>公園職員や専門業者による修繕</p>	<p>有料施設や園内便所等の蛍光灯の球切れやトイレのつまり、扉の開閉不具合等は職員で迅速に対応した。</p> <p>日常点検等で発見された箇所は即時安全確保のもと、可能な限り早期補修・修繕を行い、事故の未然防止に努めた。</p>	◎	◎
法定点検の実施	<p>給水設備 1回/年 高圧受電源設備 1回/年 消防設備 2回/年 エレベーター点検 1回/年</p>	<p>法定点検:1回/年(給水設備、電気設備、消防設備,エレベーター)</p> <p>点検を適切な時期に行い、快適で安全に利用できる環境づくりに努めた。</p>	◎	◎

運 営 業 務	開館日・開館時間等	正月特別開園(1月1日～3日) 舞子海上プロムナード 9:00～18:00 (ゴールデンウィーク、夏休み期間は 9:00～19:00) 第1駐車場 5:00～23:00 出庫24時間 9月から入出庫24時間 第2,3駐車場 8:30～18:30 旧木下家住宅 10:00～17:00 旧武藤山治邸 10:00～17:00	プロムナードでは、利用者ニーズによる正月の早朝開館や夏休み期間の開館時間を1時間延長するなど来園者サービスの向上に努めた。第1駐車場の営業時間を24時間にするなどサービス向上を行った。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	全ての来園者に平等・公平・公正な利用機会を提供するため「ユニバーサルサービス」を基本とし、高齢者や障害者、幼児への配慮についても公平に対応	プロムナードや公園事務所では車椅子やベビーカーの貸し出しを実施するなど公平で快適な公園利用の促進に努めた。 あらゆる年齢階層の利用者の利便性と快適性を重視しながら、公的施設としての公共性・公平性は確保した。	○	○
	各種事業・プログラムの実施状況	リサイクルマーケット(4回/年) JAZZ ライブ・サロンコンサート(30回/年)「シーサイド Beer テラス in 舞子公園」(2回/年) クリスマスデコレーション(1回/年)、端午の節句、七夕まつり、ひな人形飾り(1回/年)青松庵<抹茶体験>(1回/月) 神戸マラソン折り返しまつりの実施(1回/年) 撮影・ロケーションの活用(通年) など	リサイクルマーケット(4回/年) JAZZ ライブ・サロンコンサート(34回/年)、「シーサイド Beer テラス in 舞子公園」(2回/年)、舞子公園のクリスマス(1回/年)、七夕まつり、ひな人形飾り(1回/年)、青松庵<抹茶体験>(1回/月)、神戸マラソン折り返しまつりの実施(1回/年)撮影・ロケーションの活用、ブライダル企画撮影(79回/年)など 可能な限り実施した。「シーサイド Beer テラス in 舞子公園」「FOOD TRUCKFESin 舞子公園」、などの屋外イベントを開催し、入園者増を図るとともに、歴史的施設の特徴や魅力を活かした多彩なイベントを実施するなど、各施設や公園のイメージ向上と入館者の増加に努力した。また、持ち込みイベントの積極的な受け入れを行うなど舞子公園の良さを積極的にPRし、利用者の増加促進に努めた。	◎	◎

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	<p>毎年の定期的な「利用者満足度調査」</p> <p>・公園エリア(南地区、北地区、舞子デッキ、旧武藤山治邸、旧木下家住宅) 5月15日(日)～3月12日(日) 回答:214件</p> <p>・舞子海上プロムナード 5月14日(土)～19日(木) 10月8日(土)～24日(月) 23日間 回答 122件</p> <p>・イベント期間中:5月8日(日) 10月2日(日), 8日(土), 30日(日) 回答:208件</p> <p>概ね計画どおり実施した。公園の利用者の満足度でみると、情報発信、遊具管理状態、職員の対応を除き70%以上の高評価であった。プロムナードも、全体評価は高いが、売店の接客及び館内トイレは低評価であるが今後も向上を図っていく。 イベントについては高評価であった。</p>	○	○	
利用状況	利用者数	<p>公園利用者総数 2,000 千人 駐車場利用台数 54 千台 プロムナード入館者数 272 千人 旧木下家住宅入館者数 8 千人 旧武藤山治邸入館者数 9 千人 [前年度:1,508,106 人]</p>	<p>公園利用者総数 1,811,798 人 駐車場利用台数 69,880 台 プロムナード入館者数 126,347 人 旧木下家住宅入館者数 5,195 人 旧武藤山治邸入館者数 9,587 人 有料施設は休館もなく計画どおり営業した。 有料施設の入館者数は、徐々に戻ってきているが計画入館者数を達成できなかった。 しかしながらイベント開催等により可能な限りの利用促進に努めることができた。</p>	○	○
	施設稼働率	—	—		
収支状況	収支計画と実績	<p>収入 136,969 千円 (指定管理料 49,348 千円) (利用料金 66,905 千円) (利用促進事業 6,000 千円) (その他 14,716 千円) 支出 136,969 千円 収支差額 0 千円</p>	<p>収入 118,385 千円 (指定管理料 51,226 千円) (利用料金 53,085 千円) (利用促進事業 5,817 千円) (その他 8,257 千円) 支出 130,445 千円 収支差額 ▲12,060 千円</p> <p>支出に関しては経費を抑えながら概ね計画どおり実施した。利用料金は駐車場はかなりの増収となったがプロムナードはインバウンド及び団体観光客が戻りつつあるが減収となった。</p>	○	○

	経費節減に向けた取組	効率的、効果的な管理運営	旧木下家住宅や旧武藤山治邸のスタッフを両施設兼務配置を行ったほか、スタッフが急に欠けた時などには、事務所職員や巡回職員が応援にまわるなどのマルチスタッフ化により、より効率的な運営を図った。また、公園内施設・設備修繕の直営化を積極的に推進した。計画どおり実施した。両館のスタッフでは人員の固定的な配置をせず有効に配置活用したことや公園周辺地域を中心とした職員の雇用による経費縮減のほか、修繕を可能な限り直営で行うことなどにより、経済的、効率的な運営を行うことができた。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	電話、Eメール、園内等で随時受け付け	電話、Eメール、園内等で随時受け付け(15件) 内容は、イベント関連や危険行為等への利用指導の要請、公園隣接地の要望、売店の苦情など。 利用者の立場に立った接客に心がけ、即座に対応できる事案については、速やかに対応したほか、予算措置等の必要な事案についても早期の対応を図るなど適時適切な対応に努めた。	◎	◎
	危機管理体制の確保	危機管理マニュアルなどに基づく対応、緊急時の連絡体制確立など	日常点検から防災対策に至る公園管理全般の運用方法をまとめた危機管理マニュアルの改訂版に基づき適確な対応に努めた。またAED講習、消防訓練を行った。(3月) リスクマネジメントを勘案し、円滑な対応を図るため危機管理マニュアル(改訂版)に基づき、職員への周知・訓練などを行い体制づくりを行った。	◎	◎
	県・関係機関との連携	神戸土木事務所や淡路景観園芸学校、垂水警察署、垂水区役所、垂水区連合婦人会、移情閣などの近隣施設、神戸西部地区観光協議会などとの連携	神戸土木事務所、垂水警察署、地域ふれあいの会と連携した合同パトロール(1回/2月)、垂水子ども会連合会、垂水区連合婦人会などと連携したイベントの実施、移情閣、橋の科学館、アジュール舞子と連携した定例会議(1回/2月) 概ね計画どおり実施した。合同パトロールや近隣4施設による定例会議の実施などにより連携が図れている。淡路景観園芸学校との連携による新たなイベントの実施などにより活性化した。	◎	◎

	業務の再委託の状況	プロムナード点検、プロムナード警備、園内清掃、消防設備、駐車場精算機、エレベーター他各種点検、木下家庭園管理、仕立て松剪定などの業務委託	プロムナード点検、プロムナード警備、園内清掃、消防設備点検、駐車場精算機保守、エレベーター点検、電気設備点検、遊具点検、木下家庭園管理、仕立て松剪定など 法定点検や専門知識を要するものについて委託し適期に適切な管理を行った。	◎	◎
--	-----------	--	---	---	---

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

公園全体の利用者数や来館者数は計画よりも少ない結果となったが、来園者が以前のように戻りつつあり各事業も可能な限り行うことができたことから、良好な管理運営ができたと考えている。来年度に向けては、さらに開かれた公園を目指して可能な範囲で多様な公園利用展開を図っていく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：神戸県民センター神戸土木事務所

施設名	舞子公園(移情閣以外)	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○施設維持管理業務

清掃については計画以上に実施、設備保守管理については全項目日常点検1回/日はするなど利用者が快適で安心して利用できる環境の確保に努めた。

また、公園のシンボルである松林を中心に、植栽の維持管理についても適切に実施した。設備や遊具等についても点検を強化し、状況に応じて利用停止などの措置を講じ、利用者の安全確保に努めている。

○運営業務

SNS を積極的に活用して公園の様子やイベント情報を発信するなど、広報および来園者のサービス向上に努めた。また、武藤邸においてジャズライブを開催するなど、各施設の特性を活かしたイベント・企画等も積極的に実施し、公園の魅力アップにも取り組んだ。園全体の利用者数や来館者数は計画より少ない結果であったが、各行事も可能な限り行うことができたこともあり、来園者数はコロナ禍以前の状況に戻りつつある。

○収支状況

収支状況について、支出は経費を抑えながら概ね計画通り実施されたが、間接費の高熱水費と租税公課が計画より上回り、一方で利用料金収入が計画値を大きく下回ったため12,060千円の赤字となった。駐車場の利用料金は増収になったものの、新型コロナウイルスの影響は残り、インバウンド及び団体客をコロナ禍以前に戻すことが課題である。

○運営体制

公園管理運営士や1級建築士等を配置し、円滑な管理運営を行った。園内の安全管理について、警察や地域自治体等との合同パトロールや夏期夜間警備の実施等、園内の安全・安心な環境づくりに努めている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

運営業務については、今後はイベントの企画のみならず、平常時の集客対策の検討や効果的な広報等が必要であると思われるので、アンケート内容の再検討及び分析を行い対応検討されたい。

収支状況については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、ますます来園者数の増加が見込まれるが、収入アップにつながる取組みを検討するとともに、来園者へのサービスや施設維持管理等は低下させないよう注意した上で、業務の効率化を図るなど、支出削減の取組みをおこなってほしい。

運営体制については、苦情要望等はさまざまであるが、即座に対応出来ることは対応し、予算措置が必要な内容についても早期対応できるよう調整し、対応を図っている。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	舞子公園移情閣	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	(公財)孫中山記念会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
維持管理業務	清掃	館内清掃 2 回/日(職員対応) 館内定期清掃2回/週(委託) 計画どおり実施し、施設を常に清潔に保つことができた。	○	○	
	設備保守管理	職員スタッフ1回/日目視等点検 電気設備定期点検1回/月 消防設備2回/年 外構定期点検2回/年	○	○	
	植栽管理	植木剪定・施肥1回/年 害虫駆除等適宜 草花植え替え4回/年 灌水・草刈 随時	○	○	
	警備	夜間警備毎日 (セコム)	○	○	
	小規模修繕	随時	庭園の門扉の開け閉めが重くなったときやドアノブなどもスムーズな動きになるよう整備・調整したり、窓の開閉が固くなった場合も、滑車を調整し修理するなど修理修繕を行った。 直営の施設スタッフが対応するため修繕の必要が生じたときには、迅速に適切な補修が行えた。	◎	◎
	法定点検の実施	消防用設備等点検を法定どおり年 2 回専門業者により実施。	法定どおり点検を実施した。	○	○
運営業務	開館日・開館時間等 毎日 10時～17時 月曜、年末年始(12月29日～1月3日)を除く	計画どおり実施し、記念館の適切な運営ができた。	◎	◎	

	公共性・公平性の確保	平等・公平・公正な利用機会を提供するため、高齢者や障害者への配慮について対応	子供から高齢者まであらゆる年齢階層の利用者の利便性と快適性を重視しながら、公共性・公平性を確保し、適切な運営ができた。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	・シリーズ講演会の開催及び動画作成と配信(11月) ・関西文化の日協賛事業(11月19日(土)、20日(日))	・近代中国とかかわりのあった兵庫の人を取り上げたシリーズ講演会を11月にZOOM等で5回開催し、犬養毅等の書の特別展示も行った。 また、孫文記念館の展示を開設した動画を撮影・編集し、中国語と英語のナレーションを加えて記念館のホームページにて配信を行った。 ・関西文化の日については、4年度は11月19日(土)・20日(日)を無料入館日と定め事業を実施した。 来館者数は2日で381人と昨年度より若干少なかった。	○	○
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	常時アンケート用紙を設置し来館者の意見徴収。	・常時来館者にアンケート調査を実施 4年度はコロナの影響も軽くなり、アンケートの回答も増えたが、施設運営等についての苦情はほとんどなく、ほぼ満足されているとの感触を得ている。	◎	◎
利用状況	利用者数	年間入館者 10,000 人予定	年間入館者数 11,181 人 新型コロナの感染防止の緩和により、夏の工事による10日の臨時休館があつたにもかかわらず、前年度と比べ、入館者は2,527人の増となり、計画人数を11%上回る数字が達成できた。	◎	◎
	施設稼働率	—	—		
収支状況	収支計画と実績	収入 14,188 千円 支出 14,188 千円	収入 14,188 千円 支出 14,188 千円 差額 0 千円	◎	◎

	経費節減に向けた取組	効果的、効率的な運営管理	なるべく外注せずに施設スタッフにより施設内の維持管理、修繕等を行って節約に努めたほか、光熱水費の節約も行った。施設スタッフが適切に庭園等の植栽、剪定、整備、補修を行い、空調管理や照明の使用見直し等により経費の節減を図った。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	電話、メール、常設のアンケート用紙により受付	電話、メール等では開館日、開館時間等の問い合わせが多いが職員が丁寧に説明を行っている。また施設の運営管理についての要望等はできるものから順次改善を図っていった。	◎	◎
	危機管理体制の確保	危機管理マニュアル等による危機管理体制の保持	危機管理職員研修を行うなど、全職員に危機管理の意識向上を図った。	○	○
	県・関係機関との連携	県・神戸市等の関係機関、垂水警察などとの緊密な連絡連携体制の確立。	随時連絡会議等に参加し、舞子公園事務所、橋の科学館、神戸土木事務所、垂水区役所、地域、西神戸観光協議会等との緊密な連携を図った。また、垂水警察等との協議も定期的に行い、情報交換に努め、連携を密にした。	○	○
	業務の再委託の状況	警備委託(セコム)、清掃委託(シルバー人材 C)により適正に実施	適切に実施されている。	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

令和4年度については、前年度比で入館者数が⁶129%と大きく増加し、施設の管理運営についても、計画通り適切に行えた。ただ、それでも、コロナ前の水準には戻っておらず、コロナが第5類になる5年度は、これまで減少した来館者をコロナ前の水準に少しでも戻せるように、入館者の増に向けて、魅力ある施設づくりに取り組んでいく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：神戸県民センター神戸土木事務所

施設名	舞子公園移情閣	現指定管理期間	令和2年～6年（5年間）
指定管理者	公益財団法人 孫中山記念会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○施設維持管理業務

建物周辺の植木剪定、施肥、害虫駆除や草花の植替えなどを適切に行い良好な状態に保持するとともに、建物自体についても適切な点検や補修が実施されている。また、安全面についても、適切な警備体制がとられている。館内清掃も1日2回職員が実施する他、定期清掃（委託）も週に2回行うなど、清潔に保つことを心がけている。

○運營業務、利用状況

来館者へのアンケートは、3カ国語（日本語・中国語・英語）を用意し、海外からの来館者の意見を積極的に取り入れようと努めている。施設のリニューアル工事や新型コロナの影響で、月によっては来館者が落ち込んだものの、年度後半には全国旅行支援や新型コロナの影響が比較的軽くなるなど、国内外からの来館者が戻りつつある。アンケート回答は日本人がほとんどであったが、概ね満足という結果が得られている。苦情に対しても、対応可能なものは都度対応し利用の改善に努めている。

○収支状況

事業費、光熱水費の節減を図り、収支均衡を達成した。利用者へのサービスや施設維持管理を低下させないよう注意しながら、業務改善に努めている。また、人件費削減のため施設管理スタッフが館内整備・修繕を心がけ、空調管理や照明使用の見直しを行うなどして、経費の削減を意識している。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和4年度については、前年度比で入館者数が129%と大きく増加し、施設の管理運営についても、計画通り適切に行えた。施設維持管理業務に関しては良好であるため、概ね良好な管理運営が行われていると評価する。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	B	B		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	尼崎の森中央緑地(スポーツ健康増進施設除く)	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	兵協・尼協・阪神共同体	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	パークセンター(毎日 1 回)、作業棟(週 1 回)、トイレ(毎日 1 回)、園内・工作物(週 3 回)、水景施設(年 4 回)等	パークセンター:毎日 1 回、作業棟:週 1 回、トイレ:毎日 1 回、園内・工作物:毎日 1 回、水景施設:年5回等常に綺麗で衛生的な状態に保つことを心がけた。	◎	◎
	設備保守管理	建物、工作物、育苗圃場、雨水排水設備、雨水利用設備、汚水排水設備、給水・電気・空調・消防の各設備、放送設備の保守管理(毎日1回)、遊具の打診・聴診等点検(週 1 回)、専門業者点検(年 1 回)	園内巡回業務(毎日午前・午後の 2 回点検)。職員による年 2 回の施設定期点検(6・12 月)。消防設備(パークセンター・A 棟・かやぶき民家)の専門点検 2 回、高圧受電設備の定期点検(月 1 回)・専門点検(10 月)、太陽光発電設備の定期点検(年 1 回)・専門点検(10 月)、遊具の打診・聴診等点検(週 1 回)、専門業者点検(年 1 回)	○	○
	植栽管理	樹木管理(高木剪定、中木剪定、低木剪定、生垣剪定、病虫害防除)、芝生管理(芝刈、施肥、エアレーション等)、草地管理(草刈り)、育苗施設管理(播種、鉢替え本、除草)、苗木育成管理(植栽、除草、間伐)、あなの花野管理(花殻摘み、植栽、除草ほか)	高木剪定<対象 1,209 本>578 本・中木剪定<202 本>166 本、低木剪定<1258 m ² >1,245 m ² 、生垣剪定<984m>1,261 m、病虫害防除<年 1 回>年 2 回、芝刈<158,050 m ² >269,230 m ² 、施肥・エアレーション等<56,570 m ² >56,570 m ² 、草刈り<62,070 m ² >72,900 m ² 、育苗施設管理(播種:364 トレー、鉢替え:3,326 本、除草 135 回)、苗木育成管理(植栽:1579 本、除草:5,000 m ² (第 1 工区)、60,650 m ² (第 2 工区)、間伐 31 回)、あなの花野管理(花殻摘み:5 回、植栽:5 回、除草 79 回ほか)	◎	◎

	警備	パークセンター閉館後等の機械警備、安全巡視	昼間は毎日2回、巡回員による安全巡視を行い、夜間は機械警備を専門業者に委託した。大規模イベント開催時には、駐車場などの警備業務委託とともに、警察、消防などと連携を図った。	◎	◎
	小規模修繕	公園スタッフによる早期修繕を原則とし、これによることが出来ない場合は、危険箇所の応急処置、安全確保、来園者への周知を行った上で専門業者へ委託し修繕	工作物の小規模修繕として、公園スタッフによる修繕4回、専門業者による修繕3回を実施	◎	◎
	法定点検の実施	遊具(年1回)、高圧受電設備等(月次12回、年次2回)、消防設備(年2回)	遊具:1回、高圧受電設備等:月次12回、年次2回、消防設備:2回	○	○
運營業務	開館日・開館時間等	公園は常時開園 管理事務所の窓口業務等は1月4日～12月28日の9時～17時	公園は常時開園 管理事務所の窓口業務等は1月4日～12月28日の9時～17時 ※ 夕方のイベント開催時等には延長	○	○
	公共性・公平性の確保	公園の特性や地域性を十分に理解し、特定の個人、団体の意見に偏らない、平等・公平・公正な利用機会を提供	巡回時には、挨拶・声掛けなどとともに、他者の迷惑となる行為者には注意指導を行う一方で、職員と利用者がふれあう機会・時間も増大させた。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	<p><魅力アップ事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生等の環境学習 ・一般向け環境学習 ・環境体験イベント等 <p><利用促進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客イベント事業 ・持込みイベント誘致 等 	<p><魅力アップ事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生等の環境学習 <p>小3・4年:19校 1,322人、 その他9校、451人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般来園者向け いつでも体験プログラム 2,688人、 あまがさき森っこ活動 月替わり、297人 等 ・環境体験イベント 昆虫採取イベント 200人 ファミリークラブ 181人 等 ・森のフェスタ 1,800人 <p><利用促進事業> (集客イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森のマルシェ 6,900人 (2日) ・森の文化祭 3,800人 (持込みイベント) ・ロハスピクニック 13,300人 (2日) 	◎	○

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	本公園に対する県民の満足の程度を把握するため、随時、来園者を対象としたアンケート調査を実施するとともに、イベント時にイベント参加者アンケートを実施。	254名の来園者から回答を頂いた。公園に対する利用者満足度調査において、「満足」又は「やや満足」と回答した方の合計が97%と、高い評価を得ることができた。	◎	◎
利用状況	利用者数	目標来園者数 300,000人 [前年度:268,870人]	令和4年度の来園者数は290,110人で目標の300,000人の約96.7%となった。	○	○
	施設稼働率	会議室の目標稼働率 27.9% [前年度:15.5%]	令和4年度の会議室の稼働率は、17.4%であった。利用の大半は、小学校の環境学習や、イベントなどの主催事業であり、利用料金が発生していない。	○	○
収支状況	収支計画と実績	収入 119,699千円 (内訳) ・指定管理料 119,539千円 ・利用料金 90千円 ・利用促進事業 70千円 支出 119,699千円 収支差額 0千円	収入 119,836,950円 (内訳) 指定管理料 119,539,000円 利用料金 36,750円 利用促進事業 261,200円 支出 119,774,268円 収支差額 62,682円	○	○
	経費節減に向けた取組	可能な限り修繕等を公園スタッフにより実施。電気設備、消防設備等の法定点検に係る委託業務については長期継続契約を締結。	可能な限り修繕等を公園スタッフにより実施。電気設備、消防設備等の法定点検に係る委託業務については長期継続契約を締結。当初予定していた経費内で、管理水準を満たす数量の運営管理を行った。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	電話、意見箱、Eメール、園内などで随時受け付け、対応	電話、園内案内などで随時受け付け、可能なものは即時に対応を行い、適切に処理(主な内容として、持込みイベントの開催、見学、ペットのマナーに関する事など)	◎	◎
	危機管理体制の確保	利用者の安全確保を最優先に、安全・安心で快適な公園環境を提供	危機管理マニュアルの作成、AEDの設置(パークセンター内)及び普通救急救命講習の受講、消防訓練の実施(年2回)、危険個所には注意看板、カラーコーンを設置など	◎	◎
	県・関係機関との連携	県、市、JV構成社等と緊急連絡網を形成。 県と連携したイベント広報。 JVの一員である(公財)尼崎緑化公園協会による地域性を活かした広報	県、市、JV構成社等と緊急連絡網を作成。随時、運用して情報伝達・共有に努めた。 県及び尼崎緑化公園協会との連携により、地域のネットワークを生かした効果的かつ効果的な広報を実施した。(森の文化祭、森のフェスタ森のマルシェ等)	◎	◎

	業務の再委託の状況	設備・遊具等に係る点検業務を専門業者に委託するほか、森づくり技術支援業務や参画と協働による運営の企画・検討等について、ノウハウを有する業者に委託。	点検等について資格を有する専門業者に委託したほか、生物多様性や環境、森育成管理等に関する高い専門性を有する業者に森づくり技術支援業務を委託し、また、尼崎南部再生や構想地域の実情を熟知し、地元人脈を有する業者に参画と協働による運営の企画・検討を委託し、効果的に事業を実施できた。	◎	◎
--	-----------	---	--	---	---

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

公園の特性を活かした管理運営業務を実施することができ、利用者満足度調査において非常に高い評価を得ることができた。

環境学習や森づくり活動、イベント等、公園の認知度向上も進み、日々の入園者数が増加するとともに、可能なイベント等の開催に努めた結果、前年度を上回る来園者数(107.9%)を確保した。

市民団体、企業、学校等の参画の機会として、森づくりの定例活動を実施したほか、地元との連携で実施したイベント「森の文化祭」などを実施した。令和5年度においても、この住民参画による特色ある管理運営をより一層ブラッシュアップしていきたい。

また、本公園の極めて特徴的な生物多様性の森づくりの取組についても、その意義や魅力を幅広く発信し、認知度の向上及び利用促進に繋げたい。

令和4年度 総合評価シート

評価者：阪神南県民センター尼崎港管理事務所

施設名	尼崎の森中央緑地(スポーツ健康増進施設除く)	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	兵協・尼協・阪神共同体	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

維持管理・運營業務については、計画どおりしっかり実施し、苦情対応などについても的確に対応したと認められ、それらの積み重ねが高い総合満足度に繋がっていると思われる。

コロナ禍にあっても、屋外施設である優位性を生かして目標来園者数をほぼ達成することもできた。

また、3年度のようなイベントの中止決定・代替事業の検討による混乱はなかった。

ただし、5/22(日)の持込みイベント、ロハスピクニックにおいて、来場者数が予想を上回り、駐車場に入り切れない車の列が近隣道路まで延びたため、路線バス・シャトルバス・近隣物流倉庫のトラックの運行に支障を生じさせたことは反省点である。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

新型コロナウイルスが第5類に移行したことを追い風にして、さらなる来園者数の増加を目指し、利用者に愛される優しい施設づくりに努力してほしい。

また、今後のイベントにおいては、来場者の車が駐車場に溢れないよう十分な再発防止の準備をしておくこと。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B	A			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	尼崎の森中央緑地(スポーツ健康増進施設)	現指定管理期間	平成 18 年～令和4年 (17 年間)
指定管理者	あまがさき健康の森(株)	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
清掃	日常、定期、特別清掃 定期清掃:4回 特別清掃:6回	日常清掃:ルーティーン業務としてマニュアル通りに実施。 定期清掃:実施4回 今年度はメインプール(4月、9月)、ジャグジー、リラクゼーションプール(12月)、床ワックス(3月)で実施。 特別清掃:実施6回 ボールプール清掃、貯水槽清掃、側溝掃除、セアカゴケグモ駆除など安全衛生確保に努めた。	○	○
	日常点検:マニュアル基準 定期点検:エレベーター、自動ドア、温水ボイラー等 保守点検:適宜 併せてランニングコスト効率化	日常点検:チェックリストにてルーティーン業務で実施。 定期点検については、年間スケジュール表に基づき計画通り実施。 保守点検:設備管理担当からの不具合報告書をもとに修繕必要箇所の対応実施。 前年比:電気使用量 97%、ガス使用量 104%、水道使用量 129%。50m プール、25m プールともに LED 照明となり電気使用量は改善となった。水道水については猛暑の影響でアマラーゴの水温が上昇し、頻繁に上水と入れ替えたため大幅増となった。	◎	◎
	業務予定表で管理芝刈り 3回/年、剪定 2回/年、施肥 2回/年、害虫駆除 1回/年	日常・定期維持管理の業務予定表に基づき計画通り実施。また七夕時には笹を準備しての演出、クリスマス時にはポインセチアを準備し場内の飾りつけなども実施した。また、例年通り季節の花をプランタンでのじぎく広場中心に設置した。	◎	◎

	警備	安全な環境確保のため巡回、立哨、定位置、臨時駐車場誘導警備を行なう。	4 月にお客様から指摘をいただき、2 階ピロティーで子供の柵越え対策として張り紙による注意喚起と夕方時のピロティー附近の巡回警備を定例化した。場内警備は計画通り実行し、場内でのトラブルはほぼ発生していない。	○	○
	小規模修繕	施設全体を健全な状態に維持し、計画外の修繕業務が発生しないよう維持管理に努める。	25m プール南側の窓ガラスフィルム張替え(7 月)実施。プール利用中に公園側に視界が開け、利用者には好評。	◎	◎
	法定点検の実施	法定点検: 電気設備、ブライン 1 回/年	法定点検については、年間スケジュール表に基づき計画通り実施。	◎	◎
運營業務	開館日・開館時間等	1 月 1 日を除き、無休(プール・フィットネスは原則火曜日休館)基本9:00~22:00	全運営を 3 月 30 日で終了した。31 日は臨時休館として、4 月 1 日から始まる次期指定管理業者との事務所入替え、鍵、備品の引き渡しなど確実に実施した。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	すべての年齢層の方、または障がいのある方にも利用して頂ける施設を目指す。	お客様への情報はホームページ、SNS(メール)で周知した。多目的駐車場利用者への配慮として、パイロンを設置し、健常者にも理解頂きやすく、誰にでも分かりやすい環境をつくった。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	幼児から高齢者まで、幅広い年代が利用できるプログラムを提供する。 子育て支援プログラム:6 回	子育て支援プログラム:6 回実施、5 月親子バレエ、6 月親習字体験、9 月親子スイミング、11 月 12 月親子スケート、3 月親子フットサルを実施。また水中動画レッスンを 11 月から再開しました。フットサルの大会も久々に 12 月開催しました。	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	利用いただく年齢層も幅広く、利用頻度も高いプール・フィットネスでアンケート調査を実施。	結果、利用者 185 名にアンケート調査を実施。総合満足度は昨年 4.97 から今年は 5.10 へ 0.13 ポイント上昇した。スタッフのサービスの満足度も昨年の 5.14 から今年 5.24 に上昇させお客様からの苦情を抑制した。	◎	◎

利用状況	利用者数	利用者目標:427,161名 [前年度:291,209人]	実績:347,446名 計画比:81% 前年比:119% 行動規制緩和などにより、お客様のコロナとの向き合い方も変化し、徐々にコロナ前の状況に戻りつつある。後半は指定管理業者の交代が決まり各事業のモチベーション維持が難しい中でそれぞれが集客努力を行った。	○	○
	施設稼働率	年中無休(プール・フィットネスは原則火曜日休館) ※1月1日は全館休館	今年度は計画通り営業したが、次期指定管理業者への事務所引渡しのため3月31日を全館休館とした。	○	◎
収支状況	収支計画と実績	売上げ計画:410,349,000円	実績は307,530,485円で計画比75%、前年度比113%の大きな未達となった。コロナの影響による自粛傾向はなくなりつつあるが、スイミングは少子化に加え、家計の厳しさによる影響からか子供たちのスイミングスクール退会が継続し、会員数が目標としている2109名に対し1,703名と大きく乖離し大幅な収入減となった。フットサル人気も以前のような活況はなく厳しい運営が続いている。	○	○
	経費節減に向けた取組	ランニングコスト削減	光熱費:50mプール、25mプールのLED化完了(7月) 水道代:50mプール⇒25mプール⇒バケツプールへの循環システムにより節水 ウクライナ情勢の影響で電気代、ガス代が大幅に高騰し、結果的に絶対額では大きく上回った。	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	プール・フィットネスでご意見箱設置とホームページ問合せへの投稿に対応する	投稿で苦情は少ないが、スクールの子供たちへの安全配慮の要望を複数頂いた。随時(柵越え予防、シャトルバスの安全運転等)対策を検討、実施し改善に努めた。	◎	◎

危機管理体制の確保	事務局長、自衛消防隊長を中心に緊急体制を構築し、各方面の通報や報告体制を徹底する。	避難・通報・消火訓練を年 2 回(7 月 3 日、12 月 6 日)に実施。7 月 3 日はアマラーゴ監視員を対象に実施。12 月 6 日はアイススケートスタッフ中心に消火器の実地訓練。新人に対し 10 月、3 月に警備研修を実施し危機管理を徹底させた。	◎	◎
県・関係機関との連携	兵庫県阪神南県民センター、兵庫県まちづくり部公園緑地課と情報交換を密に行う。	コロナウイルス感染症対策緩和や次期指定管理者との引継ぎについて、兵庫県関係部署へ逐次相談、報告し施設での対応を図った。また、イベント実施時に情報交換を行い、トラブル防止に努めた。	◎	◎
業務の再委託の状況	プールからアイススケートまで複合した施設のため設備・遊具等に係る点検業務は専門的技術、メンテナンスを必要とするため専門業者に委託。	専門的技術者を常駐させるのはシーズン性が高くコスト面からも難しい状況にあり、専門性が高い機器においては、メーカーへの委託を 100% 行い、故障率の低減を図り、より効率の良い運営を行った。また、メーカーにも資格者配置を指導した。	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

令和 4 年度は、3 年続いたコロナ感染症による自粛も、行動範囲の緩和やマスク着用ルールの変更など、これまでのコロナへの向き合い方から通常を取り戻す移行期間となり、警戒感も徐々に薄まり施設全体の利用者は昨年を上回りました。しかし経営的には会員数目標と実績の乖離により大幅に会員収入が減少し、目標運営収入に対して約▲1 億円と厳しい結果となりました。今後の経営安定のためには、少子化や家計が厳しい中、子供たちのスイミングスクール会員数の確保が大きなポイントになります。本件を含め、現状についてはしっかりと後任のセントラルスポーツ様に申し送りいたします。

3 月 31 日をもってあまがさき健康の森株式会社の業務は大きなトラブルもなく無事終了いたしました。平成 18 年からの累計実績は以下となります。

利用者：目標 5,483,000 名、実績 6,795,414 名 124%

売上げ：目標 6,664,395,000 円、実績 6,141,632,134 円 92%

PFI 事業の設計・建設を開始してから 3 年、施設運営が 17 年合わせて 20 年間は、お客様は勿論、兵庫県関係者様、関係団体様、業務委託会社様に支えられて業務を全うすることができました。これまでのご愛顧とご尽力並びにご協力に深い感謝を申し上げます。

令和4年度 総合評価シート

評価者：阪神南県民センター尼崎港管理事務所

施設名	尼崎の森中央緑地(スポーツ健康増進施設)	現指定管理期間	平成18年～令和4年 (17年間)
指定管理者	あまがさき健康の森(株)	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

新型コロナ、少子化、会員家族の家計の圧迫、光熱費高騰など、施設運営にとっての様々な逆風のなか、最大限の収入の確保に務めるとともに、利用者に優しい施設を目指して努力されたことが総合満足度の上昇に繋がったのだと考えられ、高く評価できる。

評価項目別の評価が○になった5項目のうち、新型コロナの影響によるものが2項目、光熱費高騰の影響によるものが1項目の合計3項目あり、これらは不可抗力により評価を下げたと考えられるため、実際は数量的評価値よりも高く評価できる。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和5年度から新指定管理者(セントラルスポーツグループ)に交代したため、令和5年度は運営・管理のノウハウも1から出発する部分もあるので、尼崎21世紀プロジェクト推進室としてできるだけ円滑に運営・管理ができるよう助言・指導していきたい。

3 施設所管課による総合評価

16年目	17年目
A	A

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	明石公園	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	建築物等清掃(サービスセンター等 1回/日) 便所清掃(19棟 3～7回/週) 園内清掃(適宜) 工作物清掃(適宜) 雨水排水施設清掃(適宜)等	・建築物等清掃(1回/日) ・便所清掃(場所別で3～7回/週) ・園内清掃(1回/年) ・工作物清掃(1回/年) ・雨水排水施設清掃(50回/年)等 繁忙期や台風の時期等に清掃数を多くするなど計画より充実した清掃管理を行った。	◎	◎
	設備保守管理	建物、工作物、遊具、水質浄化装置、雨水排水設備、汚水排水設備、ガス設備、給水設備、電気設備、消防設備、エレベーターの保守管理	日常点検(1回/日) 定期点検(2回/年) 遊具点検(1回/週) 遊具専門点検(1回/年) エレベーター点検(1回/月)	◎	◎
	植栽管理	樹木管理(高木剪定(100本/年)、仕立て松剪定(170本/年)、低木剪定(2,400㎡/年)、生垣剪定(480㎡/年)、枯損木伐採、病虫害防除、植物廃材チップ化等) 芝生管理(芝刈(55,800㎡/年)) バラ園管理(花殻摘み(2回/年)、剪定(2回/年)、病虫害防除等) 花壇管理(植替(2回/年)、施肥(2回/年)、人力抜根除草等) 草地管理(機械除草(適宜)等)	・樹木管理(高木剪定(110本/年)、クロマツ剪定(170本/年)、低木剪定(4,130㎡/年)、生垣剪定(990㎡/年)、枯損木伐採(11本/年)、樹木病虫害防除(1回/年)) ・芝生管理(芝刈(109,390㎡/年)) ・バラ園花殻摘み(45回/年)、剪定(2回/年) ・花壇植替(2回/年)、施肥(2回/年)、人力抜根除草(210㎡/年) ・草地機械除草(206,430㎡/年)等	◎	◎
	警備	サービスセンター等の警備委託(機械警備) 園内巡回 等	・サービスセンター等の警備委託 ・園内巡回業務(利用者の多い公園のため、午前2回・午後2回の合計4回/日) ・明石警察署との連携による大型イベント時の警備連携	◎	◎
	小規模修繕	公園スタッフによる早期修繕 専門業者による委託修繕	建築物、遊具、工作物、汚水排水設備、給水設備、電気設備の小規模修繕を実施。公園施設・設備機器の適切な維持管理に努めた。	○	○

	法定点検の実施	給水設備、高圧受電設備、消防設備、エレベーターの保守管理	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易専用水道の水質検査(1回/年:第1野球場・陸上競技場) ・高圧受電設備点検(月次 6回/年、年次 1回/年) ・消防設備法定点検(2回/年) ・エレベーター法定点検(1回/年) 	◎	◎
運營業務	開館日・開館時間等	公園は常時開園、管理事務所の窓口業務は1/4～12/28、運動施設、県営駐車場等の供用日は1/4～12/28(運動施設は火曜日を定休日とし、特別利用時除く)、供用時間は運動施設等が9:00～17:00(運動施設は、6～8月中旬は供用終了時間が最大19:00まで延長等	公園は常時開園、管理事務所の窓口業務は1/4～12/28、運動施設、県営駐車場等の供用日は1/4～12/28(運動施設は火曜日を定休日とし、特別利用時除く)、供用時間は運動施設等が9:00～17:00(運動施設は、6～8月中旬は供用終了時間が最大19:00まで延長。また、陸上競技場は大会利用時に早朝7時からの供用対応をする等、利便の向上に努めた。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	平等・公平な受付 公園内の行為及び占用許可 運動施設の予約システム ユニバーサルデザイン及びノーマライゼーションの推進 巡回職員による利用指導	高齢者や障害者、幼児等の利用支援として、障害者用駐車場の案内看板の設置及び車椅子・ベビーカーの配備、運動施設の特別利用団体と一般利用団体との調整、運動施設の予約システムによる公平な利用決定、巡回職員による毎日の定期巡回時での公園利用者の利用マナー確保(犬のマナー指導・注意等)の実施した。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	利用促進事業の実施 明石城まつり、パークギャラリー、武蔵の茶屋茶道同行会による呈茶サービス学童軟式野球大会、インターンシップ等の受入れ、まちなみガーデンショー等	学童軟式野球大会(6月)、まちなみガーデンショー(9月)、明石城観月会(9月)、明石薪能(10月)、明石城まつり(10月)、明石公園菊花展覧会(10-11月)、明石観光協会の観光ボランティアガイドと協働した櫓の公開・案内(9・10・11・3月)、ローンボウルズ無料体験教室、トライやるウィークの受入れ(1回/年)、ローンボウルズコート運営におけるボランティアとの協働した管理運営(通年)、パークギャラリー(通年)等 コロナ禍により中止の催しもあったが、感染症対策を行いながら各種利用促進事業を実施した。	◎	◎
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	利用者満足度調査の実施	当公園に対する県民の満足の程度を把握するため、来園者を対象としたアンケート調査を11/5(土)に実施。399名の来園者から回答を得た。総合的な公園評価では、約83%の方から肯定的な評価を得ており、一定以上の評価が得られたと考えている。	◎	◎

利用状況	利用者数	目標来園者数 1,993,300人 [前年度実績:1,993,300人]	年間利用者数:約225万人 ・運動施設利用件数 31,336件 ・会議室利用件数 1,926件 ・駐車場利用台数 36,712台	◎	◎
	施設稼働率	施設稼働率の安定・確保 [前年度実績:61.7%]	61.4% 運動施設等の土日祝の稼働率は、第1・第2野球場・テニスコートは90%台、陸上競技場は約78%と高い水準である。 平日のテニスコートは約60%、第2野球場は約37%、第1野球場は約60%、陸上競技場は約24%である。 会議室は土日祝が約66%、平日が約50%台である。 駐車場は土日祝が約130%、平日が約50%である。	◎	◎
収支状況	収支計画と実績	【収入】217,822千円 ・ 171,199千円(指定管理料) ・ 46,623千円(利用料金) ・ 0千円(利用促進) 【支出】217,822千円	【収入】216,730千円 ・ 171,749千円(指定管理料) ・ 42,204千円(利用料金) ・ 474千円(利用促進) ・ 2,303千円(その他) 【支出】218,972千円 【収支差額】 -2,242千円	○	○
	経費節減に向けた取組	効率的な維持管理による経費の節減	維持管理作業(クロマツ剪定等)の直営化や、施設・作業機械等修理の直営化により、委託費を大幅に削減した。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	公園管理実務経験の豊かな人員の配置 公園管理運営に必要な有資格者の配置	【公園管理実務経験のある職員】 15年以上5名 【関連資格保有者等の配置】 公園管理運営士3名、 体育施設管理士3名、 救命救急講習修了者42名 甲種防火管理資格者2名 他	◎	◎
	危機管理体制の確保	緊急時の連携体制の確立 防災対策の確立(水防対策、消防対策) 応急対策の確立(急病・けが、事故発生時等)	・緊急時の連絡体制表作成 ・消防訓練の実施(2回/年) ・大型イベント時の警備について警察との連携強化 ・器物損壊等の軽犯罪発生時の警察への迅速な通報等	◎	◎

	<p>県・関係機関との連携</p>	<p>県や市等の関係機関によるイベント等の実施 参画協働の推進</p> <p>明石城まつり、パークギャラリー、武蔵の茶屋茶道同行会による呈茶サービス、さつき展示、学童軟式野球大会、インターンシップ等の受入れ、まちなみガーデンショー等</p>	<p>学童軟式野球大会(6月)、まちなみガーデンショー(9月)、明石城観月会(9月)、明石薪能(10月)、明石城まつり(10月)、明石公園菊花展覧会(10-11月)、明石観光協会の観光ボランティアガイドと協働した櫓の公開・案内(9・10・11・3月)、ローンボウルズ無料体験教室、トライやるウィークの受入れ(1回/年)、ローンボウルズコート運営におけるボランティアとの協働した管理運営(通年)、パークギャラリー(通年)等</p> <p>コロナ禍により中止の催しもあったが、感染症対策を行いながら各種利用促進事業を実施した。</p>	◎	◎
	<p>業務の再委託の状況</p>	<p>①受変電設備点検 ②消防設備点検 ③西館エレベーター点検 ④陸上・第1野球貯水槽水道定期検査 ⑤清掃 ⑥機械警備 ⑦高木(クロマツ)剪定 等</p>	<p>同左</p>	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

管理運営評価シートの各評価項目において、新型コロナウイルスの影響がありましたが、事業計画に基づく多くの項目で計画以上に適切な管理運営を実施することができました。公園利用アンケートにおける施設の利用について約92%の利用者からまた利用したいという意見を頂きました。

しかしながら、公園利用アンケートにおける他の利用者のマナーについてが約49%と低い水準となっており、園内巡回中に発見した場合は即時注意を行うなど来園者へ改善を促すとともに、園内の各所に必要に応じ、看板・張り紙の更新・設置や適宜、園内放送の実施など、来園者マナーの向上に努めます。

令和4年度 総合評価シート

評価者：東播磨県民局加古川土木事務所

施設名	明石公園	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○施設維持管理業務

明石公園は、①明石駅前という立地特性から利用者が非常に多い、②多様な施設を有しつつも、施設の老朽化が進んでいるため、維持・管理の負担が大きい施設であるが、経費面、人材面等、限られた条件下で、工夫を凝らした業務を行っている。景観へ配慮した安全・安心な公園環境の維持のため管理水準を上回る植栽管理を実施しているほか、集中豪雨対策として雨水排水施設の清掃を積極的に行うなど良好な清掃管理にも取り組んでおり、利用者満足度調査でも高い評価を得ている。

○運營業務・利用状況

近年は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に来園者数が減少していたが、①兵庫県対処方針に基づきながら各種自主事業や利用促進事業に取り組んだこと、②公園ホームページや SNS 媒体、新聞等の紙媒体による情報発信の強化など利用者の利便性向上に努めたことにより、令和4年度においては入場者数が大幅に増え、コロナ禍前のおよそ9割まで回復した。また、障害者用駐車場の案内看板の設置、車椅子やベビーカーの配備、運動施設の予約システムによる公平な利用決定をする等、公共性・公平性の確保を促進している。

○収支状況

施設・作業機械の修理やクロマツの剪定等の維持管理作業を直営化にすることで、委託費等の経費を大幅に削減した。支出増については、光熱費の上昇等の外的要因が主であり、指定管理者としては限られた予算内で工夫を凝らし、各種事業や維持管理業務を実施している。

○運営体制

公園管理の実務経験が豊富な人員、関連資格保有者を配置したことで、管理不備に起因する大きな事故・事件を未然に防いだといえる。また、消防訓練の実施や警察官の1日2回の巡視等、各機関と連携強化を行い、危機管理についても体制が十分に確立できている。

その外、県や市等の関係機関と連携し、感染症対策を行いながら各種利用促進事業を実施した。明石のまちの賑わいづくりやトライやるウィークの受け入れ等、地域貢献も行っている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

○引き続き、安全の確保を第1に、イベント等の各種事業の充実、施設の適切な維持管理、サービスの向上等に努め、利用者に広く親しまれる公園として適切な運営管理を行っていただきたい。

○アンケート結果の更なる分析と今後の戦略的活用

公園利用アンケートにおいて高評価の満足度に対し、「他の利用者のマナー」についての低評価となっている点について、低評価となった要素を把握し、具体策を講じて頂きたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S	S			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	甲山森林公園	現指定管理期間	令和4年～8年(5年間)
指定管理者	パークマネジメント甲山	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	建築物等清掃 365 回、定期 清掃 2 回、その他園内清掃 適宜、修景施設清掃 4 回、雨 水排水施設清掃適宜	建築物等清掃 365 回、定期 清掃 2 回、その他園内清掃 104 回、修景施設清掃 4 回、 雨水排水施設清掃 78 回実 施	◎	◎
	設備保守管理	【2 回/年】建築物、工作物、 修景設備、汚水排水設備、 電気機械施設 【1 回/年】雨水排水設備、給 水給湯設備、消防設備	【2 回/年】建築物、工作物、 修景設備、汚水排水設備、 電気機械施設実施 【1 回/年】雨水排水設備、給 水給湯設備、消防設備実施 ★その他工作物(健康遊具) を実施	◎	○
	植栽管理	樹林管理適宜、高木剪定 35 本、低木剪定 3,000 m ² 、施肥 1,500 m ² 、病虫害防除適宜、 枯損木処理適宜、芝生管 理、5,490 m ² 、草地管理 8,760 m ²	樹林管理 62 本、高木剪定 41 本、低木剪定 5,760 m ² 、施肥 1,500 m ² 、枯損木処理 719 本、芝生管理 5,820 m ² 、草地 管理 52,097 m ² を実施	◎	◎
	警備	園内安全巡視として日常巡 回を 1 日 2 回午前午後。夜 間の公園管理事務所で機械 警備 365 日。夏期夜間の警 備、大晦日の甲山山頂・公 園夜間警備、年末年始警備	日常巡回(午前午後 1 日 2 回)実施 夜間休日の警備機械警備 365 日、その他繁忙期正月 等に駐車場警備員を配置	◎	◎
	小規模修繕	発生随時	直営修繕は全 26 回、(主に ベンチ修繕) 委託修繕は 4 回(汚水ポンプ 緊急点検等)実施	◎	◎
	法定点検の実施	該当なし	-	-	-
運 営 業 務	開館日・開館時間等	開園日 1 月 4 日～12 月 28 日 24 時間開園 管理事務所の窓口業務 9:00 ～ 17:00	開園日 1 月 4 日～12 月 28 日 24 時間開園 管理事務所の窓口業務 9:00 ～ 17:00 ★12 月 29 日～1 月 3 日は警 備員配置	◎	○
	公共性・公平性の確保	団体等からの利用の場合、公 正な受付、占用許可を行う。ま た、来園者へのユニバーサル サービスを基本とした対応	団体利用は、利用申込書を受 付、状況に不平等が生じな いように努めた。車いすルー トの明示、車いす貸し出し等 を行った。	◎	◎

	各種事業・プログラムの実施状況	利用促進事業 20 事業 773 人、収益事業 20 事業 275 人	利用促進事業 23 事業 3,628 人、収益事業 23 事業 466 人。公園スタッフによる新たな夏休み工作や花育イベント、プレーパークや焚火イベント、ミニマーケットを実施した。	◎	◎
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	来園者の属性や利用目的、管理・運営に対する評価、公園管理運営についてのご意見を把握するために利用者満足度調査としてアンケートを実施。 [前年度:606 人]	実施機関 令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日。年間を通して公園利用者アンケート(201+189)390 名、イベントアンケート 586 名、計 976 名の来園者からの回答を得た。 KPI=「満足」回答数 / 「子育て世代」利用者では 94.7%、イベントアンケートでは 98.2%と総合平均は 96.4%で子育て世代にも満足いただいている結果となった。 また、2種類のアンケートを実施し、さまざまな層から広く意見を収集できた。	◎	◎
利用状況	利用者数	目標来園者数 1,115,000 人 [前年度:1,312,605 人]	令和 4 年度実績は 1,132,420 人で目標の 100.2%であった。コロナウィルスにより屋外需要が高まり混乱していた年もあったが、利用制限がなくなり、他施設へ分散傾向にある。	◎	○
	施設稼働率	有料施設の利用率向上に取り組む[前年度:40%]	令和 4 年度の稼働率は月平均 51%であった。 (参考)H30 度 27%(ビクター棟稼働初年度)、R1 度 59%(3 月より新型コロナ)	◎	◎
収支状況	収支計画と実績	【収入】合計 38,215 千円 (内訳)指定管理料 36,410 千円、利用料金収入 147 千円、利用促進 185 千円、その他収入 1473 千円 【支出】38,282 千円	【収入】合計 38,653 千円 (内訳)指定管理料 36,499 千円、利用料金収入 302 千円、利用促進 58 千円、その他収入 1,794 千円 【支出】合計 38,269 千円 【収支差額】384 千円 【計画との差】451 千円 (内訳)収入 438 千円、支出△13 千円 各運営管理の工夫とスタッフの努力により、収支は黒字となった。	◎	◎
	経費節減に向けた取組	効率的な管理運営と光熱水費の省エネの取り組み。光熱水費計画 3,569 千円	光熱水費、3,652 千円。102%であったが、噴水は雨天時には休止するなど、こまめな節電節水に努めた。	○	○

運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	トラブルや苦情には対しては、 ①発生率を下げる(未然防止の実施)②発生影響度を下げる(沈静化に努めトラブルに発生させない)③時期・時間(素早い判断と対応)をポイントにそれぞれの取り組みを行う。	利用者の声は、日常の電話、窓口対応、コミュニケーションからのアンケート調査から。その結果、苦情は 20 件、要望は 19 件であった。 基本は指定管理者で是正できるものは即対応し、時間を要するものは検討し利用者満足につなげた。電話・窓口対応のほか、メールの意見があり管轄部署にも随時報告・相談を行った。	○	○
	危機管理体制の確保	事故対応、避難誘導非常時対応、震災対策、防火対応、けが・急病対応、盗難対応、作業安全マニュアルに基づき、適切な対応を行う。	日常巡回業務を行った。また、スズメバチ等危険な場合は、専門業者と連携して駆除を行った。掲示物やホームページで利用者への啓発を行い事故の予防に努めるとともに、公園日報での引き継ぎなどスタッフ内で周知徹底した。	◎	◎
	県・関係機関との連携	県庁公園緑地課、西宮土木事務所、西宮警察署、西宮消防署、甲山自然の家、地すべり資料館等との連携	県との情報交換を始め、消防署訓練の受け入れ、警察への通報を行い、円滑な管理運営と安全管理を行った。	◎	◎
	業務の再委託の状況	清掃、消防施設点検、警備等外注業者と連携して行う。	管理計画に基づき、情報交換を行いながら業務を行った。	◎	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

指定管理 11 年目を迎え、当初より利用者層が広くなり、多様な世代が集う施設になってきたと感じている。新型コロナウイルスの影響により、屋外施設の利用が高まり来園者が増えたが、利用制限がなくなりこれまでの来園者数に戻りつつある。

昨年度からはじめたインスタグラムを活用し新たな利用者への広報に力を入れ、ホームページや Facebook、ブログでの情報発信も積極的に行っている。

また新たにプレーパークの受け入れやミニマーケット実施など、指定管理者の取り組みにより公園利用の可能性を広げ、来園者の満足度が高い評価につながったと考える。

管理作業については、美しく管理されているとの意見があり、利用状況に合わせた効率的な公園管理運営が行えた。

今後も試行事業などを行い、公園の新たなニーズを見いだして、県民に喜ばれるような管理運営を行っていきたい。

令和4年度 総合評価シート

評価者：阪神南県民センター西宮土木事務所

施設名	甲山森林公園	現指定管理期間	令和4年～8年(5年間)
指定管理者	パークマネジメント甲山	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

指定管理期間が通算 11 年となる。
 清掃、植栽管理及び点検等について、全ての項目にて業務目標を上回る実績があった。
 運営業務では、管理事務所の限られた業務時間の中で、利用者に寄り添った対応を行っている。
 アンケート調査の実施などを通して利用者の要望を受け入れるように努力している。子育て世代向けの事業を多く展開し、利用者や収益の増加に繋げた。
 昨年度に比べると公園利用者数は減少したが、年間利用者数の目標を達成できており、来園者アンケートでは、平均 95%以上が満足（やや満足を含む）と回答しており、おおむね高評価である。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

甲山森林公園は、自然に触れるなど普段できない体験ができる場所である。
 新型コロナの影響でイベントが一部中止になったが、アンケートによると、自然に関するイベントが好評である。新型コロナの感染が落ち着いた今に適応したイベントを、利用団体と連携して開催できるよう努められたい。
 令和4年度は公募時の目標年間来園者数 120 万人を下回ったが、利用者の満足度を維持あるいは向上しながら収益事業で収入を上げる運営は引き続き行われたい。
 広報については、フェイスブックやインスタグラムを活用し、創意工夫を行っている点は評価できるが、更新が月 1 回程度と少ないため、更新の頻度を増やすなど積極的な情報発信に努められたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A				

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が 80%超である
A	◎が 60%超 80%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
B	◎が 60%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
C	△と×の合計が 20%超 40%以下である
D	△と×の合計が 40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	西猪名公園	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	兵庫県園芸・公園協会・ミズノ共同体	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	管理事務所 1回/日 便所 1回/日 園内清掃 適宜 ウォーターランド清掃 12回/年	管理事務所 362回 便所 362回 園内清掃 362回 ウォーターランド清掃 13回	◎	◎
	設備保守管理	建築物日常点検 1回/日 工作物日常点検 1回/日 ウォーターランド日常点検 1回/日 電気設備日常点検 1回/日 電気受変電設備点検 12回/年 水質検査専門点検 4回/年 水質検査日常点検 3回/日	建築物日常点検 362回 工作物日常点検 362回 ウォーターランド日常点検 362回 電気設備日常点検 362回 電気受変電設備点検 12回/年 水質検査専門点検 6回/年 水質検査日常点検 244回	◎	◎
	植栽管理	高木剪定 適宜(1回/年) 低木剪定 適宜(1回/年) 病害虫防除 適宜 枯損木処理 適宜 草刈 20,500㎡(1回以上/年)	高木剪定 1,160本 低木剪定 3,511㎡ 病害虫防除 1回 枯損木処理 21本 草刈 65,618㎡	◎	◎
	警備	なし	夜間機械警備 久代自治会合同パトロール4回	◎	◎
	小規模修繕	ベンチ補修 WLインターロッキング補修 樹木伐採及び支障枝剪定等 スライダー滑走面補修 球技場外周ネット補修 建築物等補修 運動用具補修等 作業用機械補修 上下水道補修等	球技場北側ベンチ補修 舗装段差解消等 利用者への安全対策 スライダー滑走面劣化対策 外周ネット補修(安全対策) 施設の破損箇所等の補修 テニスネット等の修繕 トラクター(貸与備品)の補修等 水道栓補修等	◎	◎
	法定点検の実施	受変電設備点検(月次) 12回/年 受変電設備点検(年次) 1回/年 消防設備点検 2回/年 ウォーターシュート点検 1回/年	受変電設備点検(月次) 12回/年 受変電設備点検(年次) 1回/年 消防設備点検 2回/年 ウォーターシュート点検 1回/年	◎	◎

運営業務	開館日・開館時間等	○テニスコート 1/2～1/3 10:00～16:00 1/4～12/28 9:00～21:00 ○球技場 1/4～12/28 9:00～21:00 ○ウォーターランド 9:00～17:00 4/1～6/17(無料期間) 6/18～9/19(有料期間) 9/20～3/31(無料期間) ○駐車場 24時間	・計画に沿った供用日、供用時間での業務実施に加え、テニスコート利用者から要望がある、1/2～3の特別営業を実施した。ウォーターランド開園は予定通り実施した。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	運動施設予約の公平性確保	運動施設の予約は、協会の予約システムにより機械抽選で実施	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	「指定管理業務」 ジュニアテニス無料体験 5.10月 ウォーターランド無料開放 9月 西猪名公園まつり 10月 打ち水大作戦 8月 ミスノ流忍者学校 5.10月 リサイクルマーケット 5.10月 子育てクラブ 毎月1回 自然観察会 10月 「自主事業」 サッカースクール 1回/週(3クラス) テニススクール 4回/週(6クラス) はらっぱ教室 1回/週(2クラス)	「指定管理業務」 ジュニアテニス無料体験 5.10月 ウォーターランド無料開放 中止 西猪名公園まつり 10月 打ち水大作戦 8月 ミスノ流忍者学校 5.10月 リサイクルマーケット 5.10月 子育てクラブ 12回 自然観察会 10月 「自主事業」 サッカースクール 1回/週(3クラス) テニススクール 4回/週(6クラス) はらっぱ教室 1回/週(2クラス)	◎	◎
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	利用者満足度調査の実施	公園利用・施設利用・イベント参加の3部門で実施。 ①公園利用(通年) 212人 ②施設利用(通年) 123人 ③イベント(開催時) 255人	○	○
	利用者数	目標来園者数 330,000人 [前年度:264,963人]	年間来園者数 313,889人 ・テニスコート 64,336人 ・球技場 28,200人 ・ウォーターランド 81,491人 ・その他 139,862人	○	○
利用状況	施設稼働率の安定・確保 [前年度:86.1%(テニス)] [前年度:65.3%(球技場)]	1 テニスコート:全体 80.8% (平日)73.8% (土)94.6% (日祝)92.8% 2 球技場:全体 62.5% (平日)55.8% (土)79.7% (日祝)74.4%	◎	◎	
収支計画と実績	(収入) 89,322千円 指定管理料 1,430千円 利用料金 52,869千円 利用促進 2,240千円 その他 32,783千円 (支出) 89,322千円 (収支差額) 0千円	(収入) 86,088千円 指定管理料 9,735千円 利用料金 47,724千円 利用促進 653千円 その他 27,977千円 (支出) 88,752千円 (収支差額) △2,664千円	◎	○	

収支状況	経費節減に向けた取組	効率的な職員配置による経費の節減	1 計画的な人員配置 2 樹木剪定、小規模修繕の直営化 3 取引業者の選定(入札等)	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	1 日常的な要望把握 2 アンケート調査による要望把握 3 苦情・要望の管理運営への反映、報告	・窓口、電話、公園のみみ、ホームページ等で意見、苦情、要望を随時受け付けるとともに、適時回答、対応し、ご理解ご協力いただいた。また、アンケートによる要望事項等について、可能な事項は即刻対処した。	◎	◎
	危機管理体制の確保	1 危機管理マニュアルの作成及び研修 2 普通救急救命講習の実施 3 消防フェア・消防訓練の実施	・安全、安心な公園管理を行うため、全職員に、危機管理マニュアルの研修を行った。 ・ウォーターランドでの緊急時の連絡体制の確認、川西消防署と連携して AED 講習(ビデオ)を行い緊急時の対応に努めた。 ・火災等の発生に備え川西市消防署の指導のもと消防訓練を実施した。	○	○
	県・関係機関との連携	川西市、伊丹市、近隣の自治会等と連携を深め、高齢者見守り協定事業の登録やイベント情報等の広報誌への掲載等のイベントチラシの配布・回覧を行った。	・川西市、伊丹市の広報誌への掲載、近隣の自治会に依頼し、イベント時のポスターの掲示、チラシの配布及び、回覧に協力していただき情報発信に努めた。 ・伊丹市、川西市と高齢者見守り協定事業の連絡会に参加し、近隣地域と連携を図った。(合同ハト参加)	○	○
	業務の再委託の状況	①受変電設備点検 ②消防設備点検 ③水質検査 ④ウォーターシュート点検 ⑤ウォーターランド清掃 ⑥園内清掃 ⑦仕立て松剪定業務等	①細田電気 ②㈱シセイサービス ③伊丹健康福祉事務所 ④㈱アクアプロダクト ⑤宝塚市シルバー ⑥伊丹市シルバー ⑦㈱富士ランドスケープ	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

管理運営評価シートの各評価項目において、事業計画に基づく多くの項目で計画以上に適切な管理運営を実施することができ、大きな事件・事故もなかった。

公園利用アンケートにおける施設の利用について、96%の利用者からまた利用したいという意見を頂いたことから、適切な公園管理運営が実施できていると考える。

令和5年度の目標入園者33万人を達成するため、課題としているSNSを活用した情報発信の強化及び既存イベントの更なる充実、ウォーターランド開園期以外の利用促進方策等に取り組む。

令和4年度 総合評価シート

評価者：阪神北県民局宝塚土木事務所

施設名	西猪名公園	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	兵庫県園芸・公園協会・ミズノ共同体	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

維持管理業務：施設の老朽化が進む中、設備不良に起因する事故がないよう早期発見に努め、事業計画に基づき、適正に管理を行っている。

運営業務：利用アンケート回答者の96%が「また利用したい」と回答しており、施設の管理状況、整備水準、職員の対応についても「満足」「やや満足」が80%以上を占めている。

利用状況、収支状況：来園者は前年度比118.5%まで増加しており、コロナ前の水準近くまで回復している。

収支についても概ね計画額の範囲内で運営できている。

運営体制：苦情や要望に対して可能な範囲で迅速かつ適正に対応しており、健全な運営を行っている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

維持管理・運営については、利用者が施設を安全・安心かつ快適に利用できるよう努力することにより、実績を上げている。また共同体のミズノ(株)が様々なノウハウを活用して運営に寄与している。

当公園は、テニスコート、駐車場、球技場、ウォーターランドが大部分を占めており、今後も情報発信を積極的に行うことにより、目標入園者の達成は可能であると思われる。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	赤穂海浜公園	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	便所清掃:1回/日 雨水排水設備清掃:適宜 噴水等水景施設清掃 7回/年 人工湖藻回収清掃:適宜	【実績】 便所清掃 361回(繁忙期に清掃回数増)、水景施設清掃(噴水・流れ) 5回(噴水漏水→県修理未定のため回数減)、人工湖藻回収清掃 2回行った。 【評価】 繁忙期にトイレ清掃を増やしたり、大雨・台風前に落葉等で雨水排水設備が詰まらないよう事前に対応するなど、利用状況や季節等に柔軟に対応し、管理水準書に定められたとおり清掃業務を行った。	◎	◎
	設備保守管理	建物・樹木・工作物・遊具・雨水排水・汚水排水・ガス・給水・電気・機械・消防設備・テニスコート・駐車場他各種設備点検保守	【実績】 建物・樹木・工作物・遊具・雨水排水・汚水排水・ガス・給水・電気・機械・消防設備・テニスコート・駐車場の日常点検 361回、定期点検 2回(高圧受電は月次点検 12回、年次点検 1回)、テニスコート整備 315回 【評価】 掲載管理水準書に定められたとおり、計画的に業務を実施した。	◎	◎
	植栽管理	高木剪定適宜(年1回):一式 低木剪定適宜(年1回):30,000㎡ 芝刈 2回/年:157,600㎡ 草地機械除草 1~2回/年:18,000㎡ 他	【実績】 高木剪定 1,150本 低木剪定 34,178㎡ 芝刈 646,220㎡ 草地機械除草 200,145㎡ 他 【評価】 生育が早い時期に芝刈・除草作業を増やしたり、イベント開催時期・場所に合わせて剪定・芝刈時期を調整する等、植物の生育状況や利用状況を適切に判断し、管理水準を上回る作業を実施した。	◎	◎

	警備	管理事務所及びクラブハウスは、夜間及び休日の防犯、火災防止のため機械警備を委託、昼間の安全巡視等は巡視マニュアルに基づき実施する。	<p>【実績】 専門業者への機械警備委託 365日、園内巡視 361日。GWにおける混雑緩和のための警備員配置は増員して対応した。</p> <p>【評価】 GWの混雑緩和対応は新型コロナへの危機感が徐々に薄れ始め、利用者増加が見込まれるため昨年度より多い警備員配置で対応した。その他イベントについては、事故なく実施することができ、当初の計画どおり業務を行うことができた。</p>	◎	◎
	小規模修繕	職員による早期修繕を原則とし、これが出来ない場合は、応急処置、安全確保を行い専門業者へ委託するなど日常的な維持修繕を行う。	<p>【実績】 園路及び広場等修繕、修景施設修繕、休憩施設修繕、遊具修繕、運動施設修繕、教養施設修繕、便益施設修繕、管理施設修繕、作業用機械修繕</p> <p>【評価】 日常点検を確実に実施し、要修繕箇所、危険が予測される箇所等について、ハザードの早期除去に努めた。</p>	◎	◎
	法定点検の実施	法定点検である電気設備点検・消防設備点検・簡易水道検査を実施する。	<p>【実績】 電気設備点検・消防設備点検・簡易水道検査について法定の点検を実施した。</p> <p>【評価】 適切に法定点検等実施した。</p>	◎	◎
運営業務	開館日・開館時間等	開園日は1月2日から12月28日とし、開園時間は9時から17時までとする。	<p>【実績】 帰省客のニーズに合わせ、1/2～4にお正月わくわくフェスタを3日間実施した。また、日没時間にあわせ、テニスコートの利用時間を1-2時間延長した。</p> <p>【評価】 お正月イベント実施や、テニスコートの利用時間延長など、利用者サービス向上に努めた。</p>	◎	◎

	公共性・公平性の確保	高齢者、子ども、障害のある人等様々な立場の人々のことを考え、改善、工夫を重ねる努力を行う	<p>【実績】</p> <p>車イス、ベビーカーの無料貸出、筆談アプリでの対応、公平な受付・許可、運動施設の予約システムの運用を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>左記の業務を丁寧、確実に実施するとともに、当協会独自の運動施設予約施設システムを活用し、快適なサービスの提供を行った。</p>	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	自主イベントの開催、ボランティア等の主催イベントを支援する。	<p>【実績】</p> <p>お正月わくわくフェスタやチケットラリー等のイベントを年 10 回実施した。また、スポーツ大会(マラソン・トライスロン・ユニバーサルマラソン)や虫捕り体験プログラム等の利用促進事業を実施した。また、地元地域団体と共催で子育て世代支援イベントを開催した。</p> <p>【評価】</p> <p>わくわくフェスタや虫捕り体験プログラム、スポーツ大会を実施するなど、引き続き感染防止対策を行いながら利用促進に取り組んだ。</p>	○	○
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	満足の程度をランク付けした利用者満足度調査を実施する。	<p>【実績】</p> <p>利用者の満足度は、「満足」と「やや満足」をあわせると 80.7%、「普通」も含めると 98.6%であった。</p>	◎	◎
利用状況	利用者数	住民等の参画と協働を更に推進し、また、近隣施設と連携したプログラム、イベント等を開催することにより、新規来園者及びリピーターの確保を行い、利用者数の増加を図る。(目標 540,000 人/年)	<p>【実績】</p> <p>利用者実績 404,217 人 (対目標比: 74.9%、対前年度比 80.9%) ※R3 年度実績 499,725 人</p> <p>【評価】</p> <p>令和 3 年 11 月に動物ふれあい村が撤退し、さらに令和 4 年 1 月には当公園のシンボリックな存在であった大観覧車が撤去されたことに加え、令和 3 年度には駐車場の平日無料化社会実験を実施したが、令和 4 年度は実施がなく、昨年度を下回る来園者数となったが、各種イベント(スポーツ大会、ロハスパーク等)を引き続き感染防止対策を行い実施した。</p>	○	○

	施設稼働率	<p>駐車場、テニスコートの利用促進を図る。</p> <p>【令和4年度目標】</p> <p>駐車場 18.0%</p> <p>テニスコート 40.0%</p>	<p>【実績】</p> <p>駐車場 16.2%(前年度 20.0%)</p> <p>テニスコート 36.2%(前年度 37.2%)</p> <p>【評価】</p> <p>駐車場については、平日無料化社会実験の実施(R3.7.21~R4.3.31)がなくなったことにより昨年度を下回る稼働率となった。</p> <p>テニスコートについても平日駐車場無料化が実施されなくなったことによる減少もあったが、新型コロナの意識の薄れなどにより昨年度より利用件数が増加した。</p>	○	○
収支状況	収支計画と実績	<p>収入 108,226 千円</p> <p>(指定管理料 63,002 千円)</p> <p>(利用料金収入 43,674 千円)</p> <p>(利用促進事業収入 500 千円)</p> <p>(その他収入 1,050 千円)</p> <p>支出 108,226 千円</p> <p>差引 0 千円</p>	<p>【実績】</p> <p>収入 106,366 千円</p> <p>(指定管理料 63,693 千円)</p> <p>(利用料金収入 41,903 千円)</p> <p>(利用促進事業収入 770 千円)</p> <p>(その他収入 0 千円)</p> <p>支出 101,030 千円</p> <p>差引 5,336 千円</p> <p>【評価】</p> <p>植物管理や施設修繕の直営化、夏の芝生への散水の効率化により、経費が削減できた。</p>	○	○
	経費節減に向けた取組	<p>光熱水費等の経費の節減を行う。</p>	<p>【実績】</p> <p>植物管理や修繕を、できる限り直営で実施するとともに、芝生への散水について、天候にあわせて極力散水を少なくし、水道使用量を削減できた。</p> <p>【評価】</p> <p>植物管理や施設修繕の直営化や、夏の芝生への散水の効率化により、経費が削減できた。</p>	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	<p>苦情やリクエストの積極的な収集に努める。</p>	<p>【実績】</p> <p>意見箱「公園のみみ」の設置、アンケート調査の実施、窓口や電話対応時の情報交換を職員間で実施した。</p> <p>【評価】</p> <p>公園利用者の意見を伺い、可能なものは即時対応を実施した。また、苦情等についても適切な対応を行った。</p>	◎	◎

危機管理体制の確保	巡視マニュアル、定期点検マニュアル等に従って対応し、施設自体のハザードを除去するだけでなく、その利用から発生する事故をも防止することに努める。	<p>【実績】 毎日の巡視点検の実施及び巡視員の指導を行い、連絡体制の確保と日報を作成する事によって報告と情報の共有に努めた。</p> <p>【評価】 大きな事故もなく、快適なサービスを提供することができた。</p>	◎	◎
県・関係機関との連携	光都土木事務所と密接に連絡を取り、公園の管理運営や施設の修繕等について適切な対策を講じるとともに、事故が発生した場合に備え、警察、消防、医療機関などの関係機関との連携体制をマニュアルに定め、平素から安全指導等を受け、情報交換を行う。	<p>【実績】光都土木事務所と密接に連携し公園の管理運営等を行った。</p> <p>また、防災訓練を実施するとともに、危機管理マニュアルを活用し、緊急時の対応について職員に指導を行った。</p> <p>【評価】 関係機関との緊密な連絡体制の構築ができた。</p>	◎	◎
業務の再委託の状況	—	<p>【実績】</p> <p>植物廃材チップ化業務 1,874 千円 遊具専門点検業務 405 千円 花壇植付け業務 959 千円 自家用電気工作物保安全管理業務 556 千円 消防用設備等保守点検業務 90 千円 清掃業務 220 千円 水景施設清掃業務 988 千円 水質調査業務 1,000 千円</p>	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

<p>全般にわたり、当初の計画どおりに業務を行うことができた。</p> <p>しかし、前年度は11月に動物ふれあい村が撤退し、さらに1月には当公園のシンボリック的存在であった大観覧車が撤去されたことに加え、7月から3月にかけて駐車場の平日無料化社会実験を実施したが、今年度はその実施がなく、令和4年度の来園者数については、約40.4万人（対前年度比：80.9%）であった。</p> <p>駐車場については、上記の理由から利用台数が大幅に減少（81.4%）し、テニスコートについては、新型コロナウイルス感染症防止対策をとりながら各種大会を実施することにより、昨年度より利用件数が増加（108.9%）した。</p> <p>利用者アンケートによると、利用者の満足度は、「満足」と「やや満足」をあわせると88.1%、「普通」も含めると99.8%となり、ほとんどのイベント参加者に満足いただいている。また、公園施設の印象については、88%以上の利用者に満足をいただいております、一定以上の評価が得られたと考えている。</p> <p>令和5年度については、5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行するなど、拡大防止にかかる規制も緩和されることが決定しているため、さらなる公園の利用促進を図っていく。具体的には、地元団体や地元企業によるイベント（赤穂の塩をテーマにした塩まつり、赤穂の食材を提供する出張いどうらく、仮装変装OKのリレーマラソン等）や太陽の丘ステージを使った音楽イベント（キッズダンス、音楽LIVE等）の新規イベントを積極的に誘致するほか、民間企業と連携し、新規施設として「大恐竜パーク」を園内の林地に設置し、わくわくランドの魅力向上を図るなど、入園者と収益の増加を図る。</p>

令和4年度 総合評価シート

評価者：西播磨県民局光都土木事務所

施設名	赤穂海浜公園	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○施設維持管理業務

植栽管理については、生育状況、イベントの時期や場所に合わせ効果的に剪定や芝刈りを実施するなどし景観維持に努めている。清掃についても、繁忙期にトイレ清掃の回数を増やすなど、利用状況に合わせて柔軟に対応しており、公園利用者の安全と快適性の確保に努めている。また、日常点検を確実に実施し、危険が予測される箇所等についてハザードの早期除去に努めている。

○運営業務

昨年度と同様に新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中で、感染防止対策を行いながら、各種スポーツ大会や虫取り体験プログラム等の利用促進事業を実施している。また、子育て世代が楽しめる機会の拡充を目的とし、地元地域団体と共催で子育て世代支援イベントを実施しており、利用者満足度調査において利用者から概ね満足との回答を得ている。

○利用状況

令和4年度の来園者数は約40万4千人であり、目標の54万人には達しなかった。前年度と比較しても約9万5千人減少している。原因としては、令和3年1月に動物ふれあい村が撤退したこと、赤穂海浜公園のシンボリックな存在であった大観覧車が令和4年1月に撤去されたこと、令和3年度に実施した駐車場の平日無料化社会実験による来場者の一時的な増加が影響し、対前年度からの大幅減になったものと考えられる。

○収支状況

昨年度と同様に植物管理や施設修繕を直営化していることに加えて、夏の芝生への散水の効率化を図り、可能な限りの経費削減に努めている。

○運営体制

適正な人員配置を行うとともに、園内に意見箱を設置し、利用者からの苦情や要望に対して迅速丁寧に対応している。巡視マニュアルや定期点検マニュアル等に従い事故の未然防止に努めており、管理の不備による大きな事件・事故は発生していない。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

全般的に管理水準書どおり若しくはそれを上回る管理が行われており、適正に業務を実施していると評価できる。なお、運営業務のうち公募時に提案のあった利用促進事業について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策を講じた上ですべての事業を実施でき、利用者アンケートでも概ね高い評価を得ている。第5類移行を踏まえ、しかるべき感染対策を講じつつ、残りの指定管理期間において取り組んでもらいたい。

また、利用者満足度調査について概ね高い評価を得ているが、広報に関する満足度が他項目と比較して若干低くなっていることから、今後は、ホームページやSNSの充実など情報発信の強化に努めていただきたい。具体的には、利用するSNSの数を増やしてより多くの人・より広い世代の目に触れる機会を増やしていただきたい。

アンケート集計では、赤穂海浜公園の利用者で中高生の割合は約5%、イベントでも約2.6%と少ないことから、利用者増加に向け、若い世代のニーズに合ったイベント等の企画に取り組んでいただきたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和 4 年度 管理運営評価シート

施設名	三木総合防災公園	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	便所清掃 4回/週(204回) 工作物清掃 3回/週(153回) 運動施設清掃 利用に合わせ適 宜他	便所清掃 直営 193 回、委託 270 回 工作物清掃 直営 150 回、委託 150 回 屋内テニスコート 委託 348 回 陸上競技場 委託 189 回 便所清掃は計画数以上の清掃を 実施した。各所の清掃もほぼ計画 数通りの清掃を実施した。トイレ清 掃については多くの来園者からも 満足との評価を得ている。	◎	◎
	設備保守管理	給水設備・電気設備等 日常点検 1回/日 定期点検 1、2回/年 消防設備・発電設備等 日常点検 1回/日 定期点検(月次) 1回/月 定期点検(年次) 1、2回/年	給水設備・電気設備等 日常点検 359 回 定期点検 1、2 回 消防設備・発電設備等 日常点検 359 回 定期点検(月次) 12 回 定期点検(年次) 1、2 回 日常管理に関しては豊富な経験と 知識を持つ職員を有する業者に委 託し業務を適切に実施した。また、 目視による日常点検に加え、性能 維持を目的とする月例点検、法定 点検を含む定期点検については、 専門業者に点検を委託し設備の 確実な保守を行い、施設の良好な 状態を維持できた。	◎	◎
	植物管理	芝生管理 芝刈り 117,500 m ² 草地管理 機械除草 192,000 m ²	芝生管理 芝刈り 162,000 m ² 草地管理 機械除草 425,510 m ² 都市公園としての良好な景観を維 持し来園者に気持ち良く公園を利 用していただけるよう適切に芝刈 作業を実施した。また、公園内の 安全確保のため雑草の除去も実 施し安心、安全な公園運営を行っ た。	◎	◎
	警備	陸上競技場、クラブハウスの防 犯、火災監視、設備監視のため、 夜間及び休業日の警備を行う。	重要施設等の機械警備(無人時) の実施 陸上競技場(備蓄倉庫含む) 備品器具庫 屋内テニスコート 重要な施設における夜間等無人 時の機械警備を確実に実施し、防 犯、火災監視、設備監視に努め、 事故・事件の発生を防げた。	○	○

	小規模修繕	倒木補修、 カーゲートバーセンサー修繕、 非常放送設備用バッテリー交換 等	カーゲートバー破損交換 女子トイレ洗面台水石けん液漏れ 修理 照明球切れ交換 等 施設の小規模修繕については、設 備管理業務委託先職員等による 直営修繕作業を積極的に実施し た。それにより、迅速な修繕、修繕 にかかる費用を抑制することがで きた。	◎	◎
	法定点検の実施	専門業者による年 1 回と年12回 の法定点検(電気・機械設備)、年 1回の法定点検(昇降機設備)	専門業者による年1回と年12回 の法定点検(電気・機械設備)、年 1回の法定点検(昇降機設備)を 実施した。 実施計画に基づき実施できた。	○	○
運 営 業 務	開館日・開館時間等	公園は常時開園 管理事務所の窓口業務は、1 月 4日から12月28日までの9時か ら17時まで 但し、陸上競技場、第2陸上競技 場、第1・2・3球技場の供用につ いては、1月2日～12月31日 ※運動施設の供用時間は9時～ 日没(照明のある施設は21時ま で)規則第6条5項に該当する競 技会等は8時～日没(照明のある 施設は8時～21時) ※第3球技場は23時まで(大人 に限り)	公園は常時開園 管理事務所窓口業務 1月4日～12月28日 9時～ 17時 運動施設の供用時間 1月4日～12月28日 9時～ 日没(照明有の場合9時～21時) ※競技会等の場合 8時～日没(照明有の場合8 時～21時) ※第3球技場は23時まで(大人 に限り) 利用者に対する利便性向上を目 指し、火曜日の運動施設休止日及 び年末年始においても運動施設を 供用、競技会等については朝8時 からの供用開始可能とした。それ により大会等の運営が円滑に実 施することができた。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	公共性・公平性を確保した運営管 理の実施	都市公園条例施行規則第6条5 項「競技会等のために利用する場 合(略)」に該当する競技会の選定 を1月に実施し、公共性、公平性を 第1に審査基準を定め審査を実施 した。 正確に審査できるように提出書類 を工夫し審査を行った結果、公共 性・公平性を確保した選定が行え た。	◎	◎
	各種事業・プログラムの 実施状況	運動施設等を活用した住民参加プ ログラムの提供	主催事業 ・新春三木凧あげ祭り ・第11回三木総合防災公園グラ ウンド・ゴルフ大会 共催事業 ・第11回三木総合防災公園クロス カントリー大会 共催の第4回三木防災ウルトラマ ラソン大会、第12回三木総合防災 公園クロスカントリー大会が中止と なったが、協会主催のファミリー凧 あげ祭りや住民参加型イベントと して、1月に凧づくり・凧あげ祭りを 市民団体と共同で実施し、地域の 活性化に貢献した。	○	○

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	毎年定期的な利用者満足度調査を実施する。	例年どおり、アンケート調査を実施し、427名の来園者から回答を得た。 多数の項目で90%を超える満足度を得ることができた。	◎	◎
利用状況	利用者数	新規来園者及びリピーターの確保を行い、利用者数の増加を図る。 [前年度:1,051,800人]	年間来園者数 1,071,400人(対前年比101.9%) ※目標値:1,060,000人 新型コロナウイルスの影響も収まり、一般利用者の来園数が前年度並みであったことやテニスコートの利用が回復したため対前年比で101.9%増の1,071千人まで来園者が増加した。	◎	◎
	施設稼働率	(令和3年度実績) 野球場 44.0%、球技場 69.8%、陸上競技場 36.9%、テニスコート 61.0%、グラウンド・ゴルフ場 16,090人	野球場 43.4%、球技場 69.1%、陸上競技場 29.3%、テニスコート 61.8%、グラウンド・ゴルフ場 16,818人 陸上競技場は、前年度、東京オリンピックフランス代表の合宿に使われたため今年度は稼働率が減少した。反面、テニスコートは国際試合等が開催されたため増加している。	○	◎
収支状況	収支計画と実績	指定管理料収入 141,453千円 利用料金収入 73,988千円 管理運営費 215,441千円	指定管理料収入 143,105千円 利用料金収入 77,199千円 管理運営費 220,270千円 利用料金収入が改善したことと指定管理料の見直しのより、適切な管理運営費が出来た。	◎	◎
	経費節減に向けた取組	効率的な維持管理による経費の節減	機械の使用法改善による消耗品の長寿命化 維持管理用作業機械の刃など使用により消耗するものについて、極力損耗を遅らせる方法で作業を行い消耗品の経費節減に努めた。	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	経緯・結果を記録する。特に重要なものについては、県にその都度報告する。	(記録) 受付日報にすべて記載し所内で共有し、改善に繋げた。 (報告) 計画どおりに報告。 苦情・意見については指定管理者において対応できるものは迅速に対応した。	○	○
	危機管理体制の確保	防災拠点としての運営体制の確立	広域防災センターが実施する防災訓練への参加 広域防災センターを主体として、防災訓練が実施され、公園で業務を行う職員が参加し、災害時におけるそれぞれの役割を確認し有事に備えた。	◎	◎

	<p>県・関係機関との連携</p>	<p>県、関係機関との連絡体制、緊急時の連絡体制を制定する。</p>	<p>広域防災センター職員をはじめ、公園管理業務委託先である(一社)兵庫県サッカー協会及び、(株)インパクトを含んだ緊急連絡網、連絡体制の確立</p> <p>災害時の広域防災拠点としての役割を持つ当公園の機能を即時に発揮できるように所属を超えて一元化した緊急連絡体制を確立させた。</p>	◎	◎
	<p>業務の再委託の状況</p>	<p>利用者ニーズに合わせた運営体制づくり</p>	<p>民間事業者の持つノウハウを活かし、利用者ニーズを反映させた管理運営を行うために次のとおり、民間事業者に運動施設等の管理運営等を委託している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技場等及び周辺園地 (一社)兵庫県サッカー協会 ・屋内テニス場及び屋外テニスコート (株)インパクト ※兵庫県テニス協会と連携する事業者 <p>各事業者ともに利用者の要望等を十分に理解した上での運営を実施している。</p> <p>あらゆる年代のサッカー大会の誘致やキッズテニススクールの実施などあらゆる利用者ニーズに応えるための事業を展開している。</p>	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

維持管理部門においては、本年度も限られた人員、経費の中、計画を上回る維持管理を実施することができた。また、運営部門については、入園者数は対前年比で 101.9%増の 1,071 千人に増加した。来年度以降も施設の利用促進、イベント、PR に努めていく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：広域防災センター

施設名	三木総合防災公園	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

実施計画に基づいた管理が行われ、施設機器の修繕については初期段階から対応するなど機器の性能維持、修繕費の抑制に努めている。また、清掃等については概ね実施計画通りの管理が行われている。

管理運営に当たり、能率的な管理運営をすすめ、豊富な経験と知識を持つ職員を有する業者に委託し業務を適切に実施し運動公園としての品質向上に努めている。

公園利用者アンケートでは、施設の管理・運営に対する評価において「満足、やや満足」の回答が67%を超える結果で評価は高い。施設利用アンケートにおいても管理状態や施設水準で「満足、やや満足」の回答が、いずれも90%以上となっており、その内容はグラウンドの土や芝の状態が良いことや施設の充実度が多数を占めている。再度の来園希望者が98.6%と今後のリピーターも十分に見込める結果となっている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和4年度においても、新型コロナウイルスの影響による共催事業の中止や運動施設の利用制限もあったが、一般利用者の来園数が増えたことや運動施設での利用が回復したため、対前年比で101.9%増の1,071千人まで来園者が増加した。

球技場やテニス場などの施設においても稼働率が回復している。引き続き、感染防止対策を徹底しながら来園者数の増加や施設利用の増加に努めてほしい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	A			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	一庫公園	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・便所清掃(1回/日)、園内清掃(適宜) ・ワークショップリーム清掃(1回/週) ・工作物清掃(適宜)、水景施設清掃(6回/年) ・雨水排水清掃(適宜) など 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便所清掃(1回/日)、園内清掃(1回/日) ・ワークショップリーム清掃(50回/年) ・工作物清掃(適宜)、水景施設清掃(6回/年) ・雨水排水清掃(49回/年) など <p>【評価】</p> <p>園内清掃は開園時刻までに行い、特にトイレやシカの糞清掃等には細心の注意を払い、快適な環境整備に努めた。「公園内の清掃」に関する利用者満足度調査では、「満足」と「やや満足」が合わせて96.1%であり、高い評価が得られた。</p>	◎	◎
	設備保守管理	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設日常点検(1回/日) ・建物等定期点検(2回/年) ・自動扉設備定期点検(2回/年) ・遊具専門点検(1回/年) ・消防設備定期点検((2回/年) など 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設日常点検(1回/日) ・建物等定期点検(2回/年) ・自動扉設備定期点検(4回/年) ・遊具専門点検(1回/年) ・消防設備定期点検(2回/年) など <p>【評価】</p> <p>・日常、定期点検及び法定点検をマニュアルに基づき適宜的確に実施するとともに、設備保守管理においては左記設備に加え、雨水排水設備、給水・給湯設備及び電気・機械設備等点検についても、計画どおりに良好な設備保守管理を行った。</p> <p>・「施設の使いやすさ」に関する利用者満足度調査では、「満足」と「やや満足」が合わせて95.2%であり、高い評価が得られた。</p>	◎	◎

	<p>植栽管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・低木剪定(適宜(標準 1 回/年): 6,000 m²) ・枯損木処理(適宜) ・芝刈り(5 回/年:延べ 105,000 m²) ・エアレーション(適宜) ・機械除草(4 回/年:延べ 66,240 m²) など 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低木剪定(1 回/年:6, 296 m²) ・枯損木処理(369 本/年) ・芝刈り(5 回/年:延べ 105,545 m²) ・エアレーション(1 回/年:1,200 m²) ・機械除草(4 回/年:延べ 67,599 m²) など <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽管理は、低木剪定や機械除草等を計画的に実施し、枯損木処理についても適宜適切に伐採し、里山公園としての景観や環境に配慮した維持管理を行った。 ・芝生管理は、芝刈りやエアレーション、除草等を適宜適切に行い、良好な状態を保つよう努めた。 ・「花壇、樹木等の植栽の手入れ」に関する利用者満足度調査では、「満足」と「やや満足」が合わせて 97.8%であり、高い評価が得られた。 	◎	◎
	<p>警備</p>	<p>防犯、火災監視、設備監視のためネイチャーセンター(管理事務所)と作業事務所の夜間及び休業日の警備</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯、火災監視、設備監視のため、ネイチャーセンター(管理事務所)及び作業事務所の夜間及び休業日の警備 <p>【評価】</p> <p>出退所時の館内巡視点検及び退所時の確実な施錠、警備システムの操作により、不法侵入等の防止を図り、適切な警備業務が実施できた。</p>	○	○
	<p>小規模修繕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園スタッフによる修繕 ・専門業者による委託修繕(公園スタッフでは修繕困難な場合) 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園スタッフによる修繕(170 回/年) 花壇・クヌギ再生林等鹿防御ネット修繕、自然観察路・森の小道手摺り修繕、ベンチ修繕、園内看板修繕、丘の流れ床面等補修、ピオトブ池修繕等 ・専門業者による委託修繕(6 回/年) 丘の駐車場入りロケット修繕、ネイチャーセンタートイレ排水管取替等 <p>【評価】</p> <p>不具合及び危険箇所等の早期発見・修繕を基本に、適宜的確な巡視点検等を行い、利用者が常に安心・安全かつ快適に利用できる公園づくりの推進が図れた。</p>	◎	◎

	法定点検の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・受水槽清掃点検(1回/年) ・水質検査(1回/年) ・受変電設備(1回/月) ・空気調和設備(1回/3年) ・消防設備総合点検(1回/年) 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受水槽清掃点検(1回/年) ・水質検査(1回/年) ・受変電設備(1回/月) ・消防設備総合点検(1回/年) <p>【評価】</p> <p>適宜専門業者に点検を委託し、点検結果に基づき、設備改修等について土木事務所と協議を行った。</p>	◎	◎
運営業務	開館日・開館時間等	<p>(開園日)</p> <p>1/4～12/28</p> <p>管理事務所、駐車場、会議室の 供用時間 9:00～17:00(5/1～ 8/31は9:00～18:00)</p>	<p>【実績】</p> <p>(開園日) 1/4～12/28</p> <p>駐車場の混雑時においては、HP等による渋滞情報の提供、スタッフによる巡視や看板等設置による案内を実施し、効率的な駐車場の管理運営に努めた。*湖畔の駐車場は、12/29～1/3まで24時間常時開放し、同期間中は1回/日の巡視を実施した。</p> <p>【評価】</p> <p>駐車場の混雑状況をHP等で適宜情報発信したほか、渋滞が慢性化している丘の駐車場ゲート付近まで案内距離看板を設置するなど、利用者サービスの向上が図れた。</p>	○	○
	公共性・公平性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルサービスの提供 ・公園利用者の利用マナー向上 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす4台、ベビーカー2台を配備。乳児の授乳場所の確保 ・職員による利用指導及び利用者マナーに関する看板掲示 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者属性調査結果(複数回答)の「年齢」では、子育て世代の20～30代が38.0%と最も多く、これら乳幼児連れの利用者に対し、ベビーカーの貸し出し及び授乳室、授乳ミルク用のお湯提供等、またシニア層の散策等に際しては、車いすの貸出しを行うなど、ユニバーサルサービスの提供を図った。 ・巡視時の挨拶・声掛けや啓発看板設置等により、犬の糞等の始末やペットの散歩マナーの励行のほか、迷惑行為等の未然防止など、多くの利用者が快適に過ごせる公園づくりの推進が図れた。 	◎	◎

<p>各種事業・プログラムの実施状況</p>	<p>・ネイチャーセンター主催プログラムの実施 ・住民活動グループによる自主企画運営イベントとの連携 ・有馬富士公園、西猪名公園及び尼崎の森中央緑地との連携によるプログラムの実施等</p>	<p>【実績】 ・公園主催プログラムの実施（花と緑の講座、ナイトプログラム、自然観察教室等） ・住民活動グループによる自主企画運営イベントとの連携（草木染め教室、クヌギ伐採や炭焼き体験教室等） ・西猪名公園「西猪名まつり」において一庫公園の紹介パネル展示及び一庫炭（菊炭）販売 ・尼崎の森中央緑地との連携による講座を相互開催</p> <p>【評価】 ・「自然体験学習」は公園の里山林や草原、ビオトープ池などのフィールドを活用した自然観察会やナイトプログラムなど各種イベントが開催できた。 ・住民活動グループと連携した炭焼きの伝統文化継承事業や北摂里山PRのための合同イベント「北摂里山の日」を開催できた。 ・近隣の県立公園の西猪名公園、尼崎の森中央緑地等において、一庫公園の魅力発信として一庫炭の販売やPR活動ができた。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>利用者満足度調査結果（アンケート調査）</p>	<p>利用者の満足度状況を把握するための定期的な「利用者満足度調査」</p>	<p>【実績】 調査項目は、「植栽の手入れ」、「園内の清掃」や「施設の管理状態」など13項目で、年間400人に四季毎に4回に分けて実施した。</p> <p>【評価】 調査項目13項目中11項目で、「満足」と「やや満足」の合計が90%を超えており、うち95%以上が8項目あり、公園の維持管理運営について、利用者から高い評価を得られたものと考えられる。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>

利用状況	利用者数	年間利用者数 240,000 人 [前年度:261,484 人]	<p>【実績】 年間利用者数 241,627 人(計画 人数比:(100.7 %))</p> <p>【評価】 豊かな自然やダム湖(知明湖) の眺望などの景観に恵まれ安全・安心、快適に楽しく利用できる身近な公園として、「利用者満足度調査」でも高い評価を得ている。また、小さい子ども連れ家族には遊具の遊び場が人気であり、これも高評価につながったものと考えられる。</p>	○	○
	施設稼働率	会議室の稼働率 5.6% [前年度:6.2%]	<p>【実績】 稼働率 6.2%(計画率比: 110.7%)</p> <p>【評価】 会議室の稼働率は計画数値を上回ったが、主な利用は川西市内の小学校や近隣幼稚園など、里山体験学習をはじめとする環境学習に伴う利用が大部分であった。公園利用が平常利用に向かうなかで、小学校、幼稚園等の里山体験学習や校外学習、遠足などの利用促進に努めた。また、新たな利用確保のため、地域への渉外活動や SNS での情報発信など利用促進を積極的に進めた。</p>	○	○
収支状況	収支計画と実績	<ul style="list-style-type: none"> ・収入 43,058 千円 (指定管理料 40,051 千円) (利用料金収入 57 千円) (利用促進事業収入 395 千円) (その他 2,555 千円) ・支出 43,058 千円 ・収支差額 0 千円 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入 42,018 千円 (指定管理料 40,051 千円) (利用料金収入 65 千円) (利用促進事業収入 525 千円) (その他 1,377 千円) ・支出 42,018 千円 ・収支差額 0 千円 <p>【評価】 施設等の維持管理業務に係る委託業務等については、可能な限り直営で行い、外部委託は極力最小限に抑えた。また、業務等見直しにより、適正かつ効果的な維持管理に努め、効率的な予算執行が図れた。</p>	○	○

	経費節減に向けた取組	他公園等との連携、直営作業体制による効率化と経費縮減	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生管理の直営化（芝刈り、芝生エアレーション等の直営実施） ・委託業務に係る仕様書等の見直しによる業務改善、経費節減 <p>【評価】</p> <p>植物管理や施設管理において業務内容の精査・改善等を行い効率化を図った。特に修繕業務については、可能な限り直営対応としたことによる委託経費の圧縮により、維持管理経費の節減が図れた。</p>	◎	◎
	苦情要望等の対応体制・内容	電話、意見箱、Eメール、園内などで随時受け付け（原則現場での即時対応）	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話、意見箱、Eメール等、また園内で随時受け付け（要望等） ・駐車スペースの増設、飲食販売、公園利用者及びペット散歩のマナー等で、特に駐車場の混雑解消に関するものが多かった。 <p>【評価】</p> <p>来園者などからの苦情や要望等については、迅速かつ的確な処理により、適切に対応できた。</p>	○	○
運営体制	危機管理体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・丘の流れなどの適切な施設管理 ・豊かな自然環境を安心して親しめる管理 ・広大な公園内を安全に管理する体制づくり ・非常時に備えた対応、体制づくり 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親水施設の水質管理（塩素濃度の調査） ・人体に影響を及ぼす危険な生物（マムシやスズメバチ等）に対する注意喚起看板の設置 ・AED 設置（ネイチャーセンター内） ・ゼネラルマネージャーを中心とした危機管理体制の構築 ・危機管理マニュアル等の作成 ・消防訓練等の実施（1回/年） <p>【評価】</p> <p>事故や犯罪等の未然防止のため、防犯・防災に配慮した管理運営に努めるとともに、来園者の安全を守るための環境整備、また職員の危機管理能力の向上を図るため、消防訓練等を継続実施し危機管理意識を高めた。さらに「さとやま会議」などをおして、危機管理に関する情報共有や意見交換等により、非常時対応の推進が図れた。</p>	○	○

県・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・県立人と自然の博物館や兵庫県立大学等の研究機関、川西市や一庫ダム、国崎クリーンセンターなど近隣自治体や施設等との連携 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県阪神北県民局（北摂里山博物館）、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県立大学（調査研究サポート事業等）、兵庫県森林動物研究センター（獣害対策）等との連携 ・兵庫県や川西市等との連携（川西一庫ダム周遊マラソン大会、北摂里山の日、北摂里山ライド） ・一庫ダム管理事務所との連携（エドヒガンの天然記念物指定による情報の共有） ・国崎クリーンセンターとの連携（獣害対策） <p>【評価】</p> <p>里山や環境、地域の活性化に資するイベント等について、一庫公園の自然豊かで特色のあるフィールドを提供することにより、フィールドワークや研修、行事などにおいて相互に緊密な連携が図れた。特に、獣害対策等については川西市と連携し意見交換を実施した。</p>	○	○
業務の再委託の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の夜間機械警備業務の委託 ・シルバー人材センターへのネイチャーセンター清掃、屋外トイレ清掃、維持管理作業補助業務の委託 	<p>【実績】</p> <p>計画どおり、公園維持管理に関する業務の委託を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>繁忙期など人員不足解消のため、補助業務を委託し、円滑な公園の維持管理が達成できた。</p>	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

令和4年度もコロナ禍ではあったが感染症対策や安全対策等を徹底し、一庫公園の豊かな自然環境特性を生かしたプログラムを展開し、さらに施設設備等の整備を図り来園者が安全・安心で快適に過ごせる質の高い良好な管理運営ができた。

また、当公園の特徴的な里山景観の保全・再生を推進するため、住民活動グループ等と緊密な連携のもと、参画と協働による事業を継続して実施することができた。

さらに、里山と並ぶ北摂地域の歴史・文化遺産（炭焼き窯跡や間歩跡等）の周知と活用を図ることで公園の魅力創出につながり、適切な公園整備とあわせて利用者満足度調査でも高い評価を得ることができた。引き続き来園者ニーズの把握や要望を踏まえ、当公園の自然豊かなフィールドを生かした多彩なイベントの開催や様々な広報媒体を活用した広報展開、さらに来園者の利便性向上に向け、ネイチャーセンターの活性化や飲食サービス提供などの検討を行い、利用者サービスの向上及び公園の魅力発信に努める。

令和4年度 総合評価シート

評価者：阪神北県民局宝塚土木事務所

施設名	一庫公園	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

里山公園としての立地や周辺状況を背景とした獣害や落石、倒木などの避けがたい自然環境を原因とする事故や災害、そして駐車場整備状況に関する制約など諸問題があるなか、公園利用者が安全、快適に過ごせるよう努力していただいている。

利用満足度調査において「管理運営に対する評価」が高評価を得ているという結果は、限りある予算、人材、時間を有効活用され、維持管理業務が積極的に行われていた賜であると思われる。

上記の調査項目中、「公園の情報発信の充実度」や「イベントの数と内容」に関しては、他の項目と比較して相対的に評価は低いですが、昨年度調査に比べて「満足」「やや満足」の合計割合は増加、「やや不満」「不満」の合計割合は減少しており、その点も評価できる。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

利用満足度調査において他項目と比較して相対的に満足度が低い「公園の情報発信の充実度」「イベントの数と内容」について、

公園HPにおいては、その時節に応じて利用者の多数が最も確認したいと考えられること、公園側が最も利用者に確認してもらいたいこと等が明確に、速やかに閲覧者が認識できる状態となっているよう随時ページ内容を見直すとともに、関係機関や団体HPのリンク設定やSNSを通じての情報発信を今後も推し進め、利用者の増加、満足度を高めていただきたい。

また、利用促進事業について、園内資源を効率的、効果的に活用しアクセントをつけたネイチャーセンター主催プログラムの一層の充実や新たな住民活動グループの発掘などを通じて更に魅力的な事業を検討していただきたい。モリアオガエルの特別天然記念物指定化については、炭焼き（菊炭）とともに公園の新たな特色となるものであることから、川西市との調整を積極的にすすめていただき、公園事業のなかにその活用を更に効果的に組み込んでいただきたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B	B			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	有馬富士公園	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	パークセンター、かやぶき民家、便所、仮設工作物、園路・広場、水景施設、雨水排水施設	<p>【実績】 建築物等清掃：パークセンター359回、便所(計9箇所)480回、工作物359回。園内清掃：園路・広場497回、雨水排水設備46回、水景施設はコロナの対策のため夏休みのみ流すこととした。</p> <p>【評価】 公園内(トイレ、園路等)清掃を適宜行った。特にトイレなど約2回/日程度行うことにより常に綺麗な状態に保つことを心がけた。そのため利用満足度調査結果で、満足、やや満足と答えた方が合わせて約91%と高評価を得た。</p>	◎	◎
	設備保守管理	建物、工作物、遊具、雨水排水設備、雨水利用設備、汚水排水設備、ガス・給水・電気・空調・消防の各設備、音響設備の保守管理を行う。	<p>【実績】 園内巡回業務(毎日午前・午後の2回、遊具は週1回点検)。遊具の専門点検(9月)。消防設備の専門点検(1月)。職員による年2回の施設定期点検(6・12月)。高圧受電設備定期点検(年12回)。</p> <p>【評価】 毎日の日常点検はもとより、週1回及び連休前の遊具点検、半年に1回の定期点検、年1回の専門点検実施により適正な施設保守管理ができた。</p>	○	○

植栽管理	出合いのゾーンもしくは休養ゾーンの樹木(高木・中低木)の剪定・施肥・枯損木処理や芝生・花壇・草地の植栽管理を行う。	<p>【実績】 高木剪定 108 本・枯損木処理 419 本・中低木剪定<計画 9,240 m²>9,250 m²</p> <p>芝刈<141,600 m²> 165,524 m²(出合い)<124,200 m²>213,081 m²(休養)、機械除草<112,500 m²> 205,533 m²(出合い)・<19,500 m²>42,780 m²(休養)・人力抜根除草<22,400 m²>24,658 m²(出合い)他</p> <p>【評価】 景観的配慮、利用状況を踏まえ安心安全な公園環境を維持すべく、利用実態に合わせた回数 of 芝刈りや生育に合わせて機械除草を行った。植栽管理では計画値を大幅に超える数量の管理を行った。</p>	◎	◎
警備	防犯、火災監視、設備監視のため、パークセンター(管理事務所)等の夜間及び休業日の警備を行う。	<p>【実績】 昼間は巡回員による巡視を行い、夜間は機械警備を専門業者に委託し、事故等が発生した場合に備え、警察、消防、医療機関などと連携体制を確立した。</p> <p>【評価】 事故等の発生に備え、対応マニュアルの整備や関係機関・職場間の連絡網を常に確認している。</p>	○	○
小規模修繕	公園スタッフによる早期修繕を原則とし、これによることが出来ない場合は、危険箇所の応急処置、安全確保、来園者への周知を行った上で専門業者へ委託し、修繕を行う。	<p>【実績】 小規模修繕として、専門業者による施設の修繕を 4 回、公園職員による遊具・工作物の修繕を 7 回などを行った。</p> <p>【評価】 日常点検・定期点検等で発見した劣化・損傷・故障等に対応し、施設等の性能及び機能を公園利用者に安全提供できる状態にした。</p>	◎	◎
法定点検の実施	設備保守管理の項目に併せて記載	【実績】【評価】 設備保守管理の項目に併せて記載	—	—

運営業務	開館日・開館時間等	夏季期間中の公園施設の利用時間及び公園職員による窓口・電話の対応時間を延長するとともに、有料施設(多目的ホール・会議室A(中)・会議室B(大))の利用時間を延長する。	<p>【実績】</p> <p>当初計画したとおり運営できた。運営面におけるサービスの向上対策として、三田市自然学習センターの夏休み期間中開館延長時(7/21-8/28)に連携して公園・施設の利用時間を1時間延長した。また年末年始の休業期間にも駐車場利用を可能にした。</p> <p>【評価】</p> <p>年末年始の休業期間にも駐車場利用を可能にしたこと、また、夏休み期間の利用時間延長に合わせ、職員による窓口・電話の対応時間も延長したことにより、総合的な来園者サービスの向上が図られた。</p>	◎	◎
	公共性・公平性の確保	「ユニバーサルサービス」を基本とし、高齢者や障害者、幼児への配慮についても公平に対応する。	<p>【実績】</p> <p>高齢者や障害者、幼児等の利用支援として、障害者用駐車場の案内看板の設置及び車椅子・ベビーカーの配備やユニバーサルデザインに配慮した自動販売機の設置を行っている。</p> <p>【評価】</p> <p>全ての来園者に平等・公平・公正なサービスを提供し、幼児・高齢者・障害者の公園利用を支援した。</p>	○	○
	各種事業・プログラムの実施状況	公園を代表するイベント「フェスティバル」や「夢プログラム」などの自主事業を企画し、実施する。「休養ゾーン活性化推進事業」を実施する。	<p>【実績】</p> <p>フェスティバルについてはコロナ感染対策のためを春秋ともに中止し、夏のジョイント夢プログラムは開催した。「さんだノルディックウォーキングフェスタ」など地域と連携したイベントを実施した。三田市と連携し休養ゾーンで実施した新宮晋氏「元気のぼり」の企画に協力した。</p> <p>【評価】</p> <p>コロナ禍で中止になったイベントもあったが、開園時より継続している、「みんなでつくるふるさと公園」のコンセプトのもと「夢プログラム」は開催可能な場合はプログラムを実施した。子育て、ヘルシーパーク事業等を継続実施し好評を得られた。</p>	○	○

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	施設やサービス、苦情・要望に関する調査をベースとして、利用者の満足度状況を把握するため、毎年定期的に「利用満足度調査」を行う。5月8月12月2月の4回各100名の方にロビーにアンケート置き場を設置し回答を得る。	【実績】 5月8月12月2月の4回各100名の方にロビーにアンケート置き場を設置し、400名の来園者から回答を得た。 【評価】 満足度調査において、「満足」+「やや満足」=75%以上を肯定的な評価とすると14項目のうち13項目が該当しており、満足度は高い。99%が「また利用したい」と回答しており良好な運営管理ができていると考える。	◎	◎
利用状況	利用者数	住民等の参画と協働を更に推進し、また、近隣施設と連携したプログラム、イベント等を開催することにより、新規来園者及びリピーターの確保を行い、利用者数の増加を図る。 [R4年度計画値:800,000人]	【実績】 令和4年度の来園者数は796,130人で前年比97.0%で計画値(800千人)をわずかに下回った(対計画値99.5%)。 【評価】 令和4年度の来園者数は約79.6万人でした。コロナでも開園し来園者は訪れたが9月の台風の影響で計画値に対しても99.5%となった。	◎	◎
	施設稼働率	有料施設の利用率向上に取り組む。 [R4年度計画値] 多目的ホール 32.2% 大会議室 18.2% 中会議室 19.1%	【実績】 令和4年度の各施設の稼働率は、多目的ホール42.3%(計画32.2%)、大会議室26.2%(計画18.2%)、中会議室19.2%(計画19.1%)であった。 【評価】 昨年度より増加し、稼働率は計画値に達した。ただしまだコロナ前の水準に達していない。	○	○
収支状況	収支計画と実績	収入 64,411千円 (内訳) 指定管理料 56,737千円 利用料金 1,023千円 利用促進 557千円 その他 6,094千円 支出 64,411千円 収支差額 0千円	【実績】 収入 65,468千円 (内訳) 指定管理料 56,737千円 利用料金 801千円 利用促進 646千円 その他 7,284千円 支出 65,468千円 収支差額 0千円 【評価】 直営で可能な作業については直営で行い、外部委託を最小限にとどめることに努めたことなどにより節約に努めたが、人件費の増加、光熱水費が増加した結果、その他収入を増加して維持管理することとなった。なお、来園者から高い評価を得ることができたことから管理水準を充足した実績が上げられていると評価する。	◎	◎

	経費節減に向けた取組	他公園との連携や直営作業体制により維持管理作業の効率化と経費の削減に努める。	<p>【実績】 草刈りなど維持管理作業の直営化の徹底、倒木処理作業や、枯れ松やナラ枯れ伐採でも直営作業により効率的な維持・運営を行った。</p> <p>【評価】 職員の能力を最大限活用することにより、当初予定していた経費内で、管理水準を満たす数量の運営管理を行った。</p>	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	来園者等からの苦情・要望は、その内容を記録して職員間に回覧することで情報の共有化を図り遺漏がないよう対応する。	<p>【実績】 電話、意見箱、Eメール、園内などで随時受け付け、可能なものは即時に対応を行い、適切に処理を行った。</p> <p>【評価】 来園者から寄せられた意見、苦情等については、速やかに対応を行い職員の共通事項として運営にあたることにより適切な対応を行えたと考える。</p>	○	○
	危機管理体制の確保	事故対策マニュアルに基づき、直ちに現場確認し、状況の把握・情報の収集を行い、怪我人の救助・来園者及び近隣住民の安全確保を最優先に行動し、可能な場合は応急処置を施して迅速に対応する。	<p>【実績】 事故対策を含めた公園管理マニュアルに基づき危機管理体制を確保した。夜間及び休業日などの警備、連絡体制を整えた。三田市自然学習センターなどと共同で避難訓練などを行い相互協力体制で危機管理を行っている。台風の大雨時に対応し、安全の確保ができる様準備を行った。</p> <p>【評価】 安全管理における最も重要な事項である、「事故の未然防止」に重点を置き、管理運営を行った結果、管理不備に起因する事故はなく、適切な施設管理が行えた。台風・大雨時にも適切に対処した。コロナウィルス対応にも県・協会本部と連携して対応に当たった。</p>	○	○

	<p>県・関係機関との連携</p>	<p>常に県・関係機関(県土木事務所、人と自然の博物館、三田市の自然学習センター、共生センターなど)と連携をとり強化を図る。</p>	<p>【実績】 三田市自然学習センターと適宜連絡を行い、共生センターとは連絡調整を行っている。県土木・公園緑地課とは四半期ごとの定期的な事業報告の場を持った。総合的な連絡・調整の場である「有馬富士公園運営協議会」を2回開催した。「水景施設のリノベーション」の進捗状況の報告や新たな公園利用を促進するルール作りなどについて協議した。</p> <p>【評価】 緊急を要する事故対応、公園施設整備に関する県土木の要請にその都度迅速に対応した。また、人と自然の博物館、県立大学や自然学習センター、共生センター等連携施設が実施する事業に対しても、会場や資材、人材の提供など多様な協力、支援を行えたと考える。協議会では水辺の利活用について協議した。</p>	◎	○
	<p>業務の再委託の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パークセンター(管理事務所)等の夜間の防犯、火災監視、設備監視及び休業日の建物の警備業務 ・近隣授産施設への園内清掃業務 ・地元の住民団体と連携したかやぶき民家の清掃等の維持管理業務等 	<p>【実績】 計画どおり公園維持管理に関する業務の委託を行った。</p> <p>【評価】 業務委託した結果、円滑な公園の維持管理が達成できた。</p>	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

利用者満足度調査では高い評価を得た。公園の特性を活かした管理運営業務が達成できた。来年度も、高い評価を維持できるよう適切な業務を実施していく事を目標にします。有料施設利用のコロナ前の水準に向けた利用促進を課題とします。

令和4年度 総合評価シート

評価者：阪神北県民局宝塚土木事務所

施設名	有馬富士公園	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○維持管理業務

計画に基づいて適正な管理を行っている。公園施設の老朽化が進む中、設備不備に起因する事故がないように着実に点検を実施している。

利用者満足度調査で99.0%がまた利用したいと回答していることから、自然の景観が魅力である当公園の維持管理についても、適切に行われているといえる。

○運營業務

周辺施設と連携した夏休み時の開館時間の延長等により、総合的な来園者サービスの向上を図っている。コロナ感染対策のため春秋のフェスティバルが中止となったが、一定のプログラムは継続して実施できている。

○利用状況・収支状況

人々の活動が新型コロナ前の状態に戻りつつあり、来園者数は約796千人と目標値をほぼ達成している。光熱水費の高騰が収支を圧迫しているが、外部委託を最小限にとどめる等経費削減に努めている。

○運営体制

苦情等に迅速に対応するとともに、積極的に職員研修等も実施して職員のレベルアップを図っている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

コロナ禍の行動制限が緩和されたことにより、人々の出かける先が公園以外にも増えたことから、当面は施設利用者数も横ばい状態が続くものと思われる。

電気代の高騰など収支見込みは厳しい状況であるが、引き続き経費削減に努めながら、適切な安全管理を行い、事故等の未然防止に努めるよう求めていく。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A	B			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	丹波並木道中央公園	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	兵庫丹波の森協会・兵庫県園芸・公園協会共同体	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	公園管理棟・森林活動センター・茅葺民家・サイクルステーション清掃 1 回/日 トイレ清掃 4 回/週 工作物清掃 3 回/週 園内清掃 3 回/週	【実績】 公園管理棟等清掃 1 回/日(359 回/年) トイレ清掃 4 回/週(206/年) 工作物清掃 3 回/週(206 回/年) 園内清掃 3 回/週(206 回/年) 【評価】 ・事業計画書通り、管理棟清掃、トイレ清掃、工作物清掃、園内清掃とも確実に実施できた。 ・1 日 2 回の巡回を実施することで、トイレの汚れ、園路のゴミ等急な汚れにも対応でき、来園者が快適に利用できる公園づくりができた。	◎	◎
	設備保守管理	建物管理、工作物管理、雨水排水設備、汚水排水設備、給水設備、電気設備、放送設備、消防設備保守、空調設備保守、給湯設備保守	【実績】 全項目日常点検を実施すると共に、施設及び遊具等の定期点検や、消防設備、高圧受電設備等の専門点検を実施した。 【評価】 ・日常点検、定期点検、法定点検等、事業計画通り実施し、トイレ等の急な設備の異常にも適切に対応し、施設の良好な維持管理及び、来園者が安全安心に利用できる公園運営ができた。	◎	◎
	植栽管理	樹木管理(生産林、景観林、活動林、花木林、高木剪定、中低木剪定、中低木施肥他)、芝刈り、草地の機械除草、人力抜根除草他	【実績】 樹木管理(生産林 24,200 m ² 、景観林 7,450 m ² 、活動林 34,700 m ² 、花木林 11,450 m ² 、高木剪定 372 本、中低木剪定 6,620 m ² 、中低木施肥 2,200 m ² 他)、芝刈り 98,200 m ² 、草地の機械除草 240,310 m ² 、人力抜根除草 26,300 m ² 他を実施した。 【評価】 ・樹木、芝生、草地管理を、事業計画以上実施し、公園の景観維持に努めた結果、来園者から高い評価を受け、快適で安全安心に利用できる維持管理ができた。	◎	◎
	警備	園内巡視、公園管理棟の夜間警備委託(機械警備)等	【実績】 園内の日常巡視を、毎日午前・午後の 2 回実施した。また、夜間については、管理事務所の機械警備、管理事務所入り口(2 機)、第 2 駐車場(1 機)、サイクルステーション(2 機)の防犯カメラで警備を実施した。 【評価】 ・1 日 2 回の巡視を行い来園者が安全安心に利用できる公園づくりができた。 ・夜間においても、機械警備委託、防犯カメラにより、犯罪や設備の大きな損傷を未然に防止することができた。	◎	◎

	小規模修繕	公園スタッフによる早期修繕を原則とし、対応できない修繕については、安全確保、来園者への周知を行い、専門業者へ依頼し修繕にあたる	<p>【実績】</p> <p>獣害防止フェンス、トイレ、石垣の石の揺らぎ、遊具、デッキの床板の修繕等を実施した。</p> <p>【評価】</p> <p>・1日2回の巡視、ミーティングを行うことで、異常個所の早期発見、職員全体で状況の共有に努め、早期修繕等を行い事故、怪我等の発生を防止し、利用者が安全安心に利用できる維持管理ができた。</p>	◎	◎
	法定点検の実施	<p>[給水設備] 1回/年</p> <p>[電気設備]</p> <p>月次点検 1回/月</p> <p>年次点検 1回/年</p> <p>[消防設備] 2回/年</p> <p>[空気調和設備(簡易)]</p> <p>1回/3ヶ月</p>	<p>【実績】</p> <p>[給水設備] 1回/年</p> <p>[電気設備]</p> <p>月次点検 1回/月</p> <p>年次点検 1回/年</p> <p>[消防設備] 2回/年</p> <p>[空気調和設備(簡易)]</p> <p>4回/年(1回/3ヶ月)</p> <p>【評価】</p> <p>計画通りの回数を実施した。</p>	◎	◎
運営業務	開館日・開館時間等	<p>公園は常時開園。</p> <p>■窓口業務等</p> <p>4/1～3/31(但し、12/29～1/3 除く) 9:00～17:00</p> <p>■駐車場 8:00～17:30</p> <p>■茅葺民家 9:30～16:30、</p> <p>■森林活動センター</p> <p>9:30～16:30</p> <p>■サイクルステーション</p> <p>9:30～16:30</p>	<p>【実績】</p> <p>12/29～1/3 までは、第2駐車場のみ開放し、年末年始も柔軟な対応を行った。またサイクルステーション駐車場、第2駐車場は24時間の利用を継続した。</p> <p>【評価】</p> <p>・サイクルステーション駐車場、第2駐車場を継続して24時間開放したことで、時間外(早朝、夕方)、年末年始利用者の利便性向上に努めた。</p>	◎	◎
	公共性・公平性の確保	<p>ユニバーサルサービスを基本とし、高齢者や障害者、幼児への配慮についても公平に対応していく。利用者に適切な利用指導を行い、情報発信による啓発と巡視等により適切な利用指導・利用調整を行う。</p>	<p>【実績】</p> <p>・巡回時には、挨拶・声掛けなどを積極的に行い、様々な利用者が利用しやすい公園を心掛けた。</p> <p>・特定の利用者に偏ることなく様々な利用者を対象としたイベントを行った。</p> <p>【評価】</p> <p>・巡視時の挨拶、声掛けによりゴミのポイ捨てや犬の糞の不始末なども未然に防ぐことができ、より多くの人が快適に過ごせる公園づくりに努めた。</p> <p>・筆談対応や補助犬のステッカーをはるなど、利用者への啓発を行った。</p>	◎	◎

	各種事業・プログラムの実施状況	自主事業・利用促進事業の実施	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡の影響により、大規模イベントを中止したが、代替イベントとして分散型のイベントを行った。 ・3年ぶりに冬の味覚市(2月)を開催した。 ・地域団体や個人が自ら企画したイベントを公園と連携して行った。 ・行政機関とも積極的に連携し、自転車、恐竜化石、駅伝大会など、丹波地域や丹波並木道中央公園の特徴を活かしたイベントを開催した。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「里山の日」の代替イベントとして約1か月にわたり分散型のイベントを開催するなど、公園のにぎわいづくりに努めた。 ・地域との連携により参加人数は少数ながらプログラム(黒豆味噌づくり、和紅茶づくり等のイベント)を実施した。 ・県民局と連携をしたサイクルイベント、恐竜化石のモバイルスタンプラリーや、丹波地区中学校駅伝大会、丹波篠山市ミニ駅伝大会への協力など、行政機関とも積極的に連携を行った。 	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	施設、サービス、苦情、要望に関する調査をベースとして、利用者の満足状況を把握するアンケート調査する。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常時設置型アンケート(424人) 「公園の印象」について、98.4%の方が「満足・やや満足」と答えた。 ・行楽日配布アンケート(67人) ・イベント参加者アンケート(216人) <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常時設置型のアンケートのうち、公園の満足度については、「安全・安心」「公園の景観」「公園内の施設などの設備」「公園内の清掃」「花壇、樹木等の植栽の手入れ」「公園の印象」では「満足」「やや満足」と答えた方が90%以上となった。 	◎	◎
利用状況	利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者数 160,000人 [前年度:197,442人] ・園内の資源等を活かした利用プログラムを積極的に企画・開催し、利用の活性化を図る。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の行動制限があったことに加え、大型複合遊具が設置されたことで来園者は294,155人と大きく増加した。 ・当公園の特徴である園内の間伐材を製材した木材を活用し、体験プログラム(大人の木工教室、子どもクラフト等)を実施した。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来園者は大きく増加したが、大きな事故、怪我等なく、快適に過ごせる公園づくりができた。 ・公園で間伐した木材を使った利用プログラムの参加者から、大変いいものができることができたと高い評価を受けた。 	◎	◎
収支状況	収支計画と実績	<p>[収入] 61,945千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 59,851千円 ・その他 2,094千円 <p>[支出] 61,945千円</p> <p>[収支差額] 0千円</p>	<p>【実績】</p> <p>[収入] 61,945千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 59,851千円 ・その他 2,094千円 <p>[支出] 61,945千円</p> <p>[収支差額] 0千円</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りとなった。 	◎	◎

	経費節減に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・適期に効率的な維持管理作業を実施するなど、作業の効率化を図り、経費の縮減を図る。 ・園内で補修が必要となった木製品については、本公園でのヒノキ林の間伐材を使用し効率化を図る。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械除草、芝刈りなど植物管理作業を直営化で行った。 ・修繕は可能な限り直営化で行った。 ・公園内のベンチ、遊具(管理棟前)、樹名板等間伐材を使用し設置した。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物維持管理作業、可能な限り修繕の直営化(田漬池デッキの取替)や、ベンチ等を製作し設置するなど、経費の削減に取り組んだ。 ・間伐材等で出た余剰分や、製品作製時に出た端材は販売し、自主事業収入のアップを図った。 	◎	◎
	苦情要望等の対応体制・内容	寄せられた苦情・要望は、「苦情・要望対応マニュアル」にもとづきその経緯、結果を記録する。また管理上の留意点として、職員間で情報共有を行う。	<p>【実績】</p> <p>電話、Eメール、園内などで随時受け付け、可能なものは即時対応を行い、適切に処理を行った。</p> <p>また、1日2回のミーティングや月1回の所内会議にて職員間の情報共有を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>寄せられた意見、苦情等については、速やかに対応を行い職員間で共有し、適切に対応が図れるよう取組んだ。</p>	◎	◎
運営体制	危機管理体制の確保	・自然災害や事件・事故等あらゆる危機的要因から来園者の安全を確保するために、平時の備えや災害等発生時に職員がとるべき処置及び連絡方法等について、職員間で共有を行う。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の連絡方法等について、事務所に掲示をするなど、速やかな連絡が行える体制を整えた。 ・消防訓練、消火器の取扱い、心肺蘇生法、AED使用法、救急措置訓練を実施した。 ・危機管理・異常事態・事故対応マニュアルや不審者対応マニュアルの研修を実施した。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練や救急措置訓練等では公園管理で日々起きる内容について、職員間で疑問等を共有し、消防署職員から指導を受けた。 ・緊急時に速やかな連絡が行えるように緊急連絡網を作成し、職員への配布を行った。 	◎	◎
	県・関係機関との連携	丹波篠山市と連携した里山管理。丹波篠山市教育委員会と連携した化石発掘体験など。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波篠山市教育委員会と連携し、化石発掘体験を計3回開催した。 ・延期となったひょうご森のまつりを兵庫県、丹波篠山市と連携し、公園で開催した。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波篠山市と連携を積極的に取り、化石発掘体験を行い、丹波篠山市の恐竜を多くの来園者に紹介できた。 ・延期となったひょうご森のまつりを連携し、開催した。 	◎	◎

	業務の再委託の状況	一部の業務について委託	【実績】 ・樹木管理(製材業務含む) ・草地管理 ・芝生管理(除草作業) ・建築物(トイレ点検・清掃) ・工作物(遊具専門点検) ・給水設備(定期点検、法定点検) ・電気設備(法定点検) ・消防設備保守(法定点検) ・空調設備保守(定期点検) ・柵田管理 【評価】 専門的な知見や技術が必要な管理業務については再委託を行っており、適切な公園管理ができています。	◎	◎
--	-----------	-------------	--	---	---

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

<p>[総合的な自己評価] 年間来園者数は、過去最高の 294,155 人を記録したが、事故、怪我等なく全般にわたり、適切な維持・運営管理が行えた。 また、行政や地域団体などと連携し、ひょうご森のまつりや、丹波茶のイベント等を開催できた。 アンケートでは、多くの来園者から、またこの公園を利用したいと高い評価をいただいた。</p> <p>[来年度の取組目標・課題等] [取組目標] 大きく増加した来園者数 294,155 人（事業計画目標人数 160,000 人）を目標に、適切な維持・運営管理に取り組めます。また様々な地域団体等と連携しながら、丹波なみきみちまつり、木工教室、赤米の栽培等利用促進事業を積極的に取り組めます。また、新たな施設であるサイクルステーションの活用を積極的に行います。</p> <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来園者の増加により駐車場の不足 ・まだ補強できていない獣害柵補強 ・樹木が多くあるので、危険木の伐採 ・遊具の劣化の対応（塗装の色落ち等）
--

令和4年度 総合評価シート

評価者：丹波県民局丹波土木事務所

施設名	丹波並木道中央公園	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	兵庫丹波の森協会・兵庫県園芸・公園協会共同体	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

前年度に引き続いて新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、施設の利用促進を図るため、指定管理者から行政機関・地域団体・個人に積極的に連携を呼びかけ、自転車、恐竜化石など丹波地域や丹波並木道中央公園の特徴を活かした企画イベントを実施した。

また、サービスの向上を図るため利用者満足度調査を実施し来園者のニーズの把握にも努めた。

こうした取り組みにより、京阪神地域のみならず広い地域からの来園があり、来園者数294,155人（対前年49%増）を達成した。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

清掃、設備保守管理、公園の大部分を占める樹木・芝生・草地管理等年間を通じて管理水準以上の回数を実施し良好な維持管理は行われているが一層の回数を確保する。

引き続き、令和5年度の維持管理業務の実施回数を状況に応じ確保すること。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S	S			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	淡路佐野運動公園	現指定管理期間	平成 30 年～令和4年(5年間)
指定管理者	兵庫県園芸・公園協会・ミズノ共同体	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	管理事務所清掃2回/週、第1野球場スタンド清掃2回/週、クラブハウス清掃2回/週、屋内練習場清掃2回/週、便所清掃2回/週、工作物清掃適宜、園内清掃3回/年、雨水排水施設清掃適宜、夜間照明設備清掃適宜	管理事務所清掃163回、第1野球場スタンド清掃149回、クラブハウス清掃163回、屋内練習場清掃102回、便所清掃163回、工作物清掃12回、園内清掃359回、雨水排水施設清掃2回、夜間照明設備清掃360回を実施した。 実施計画以上の管理をおおむね行うとともに、施設の利用状況にあわせて、清掃日等を調整するなど柔軟かつ効率的に清掃を行った。	○	○
	設備保守管理	日常点検、日1回の日常点検(建築物、工作物、雨水排水設備、汚水排水設備、ガス設備、給水・給湯設備、灌水設備、電気・機械設備、消防設備、スコアボード、トレーニング機器、ピッチングマシン)、月1回の日常点検(階段昇降機)、年2回の定期点検、(建築物、工作物、汚水排水設備、ガス設備、灌水設備、電気・機械設備、消防設備)、年1回の定期点検(雨水排水設備、給水・給湯設備、電気・機械設備、階段昇降機、スコアボード、トレーニング機器)、3年1回の定期点検(ピッチングマシン)	日常点検、日1回の日常点検(建築物、工作物、雨水排水設備、汚水排水設備、ガス設備、給水・給湯設備、灌水設備、電気・機械設備、消防設備、スコアボード等)、月1回の日常点検(階段昇降機)、年2回の定期点検、(建築物、工作物、汚水排水設備、ガス設備、灌水設備、電気・機械設備、消防設備)、年1回の定期点検(雨水排水設備、給水・給湯設備、階段昇降機、スコアボード、トレーニング機器)、3年1回の定期点検(ピッチングマシン) 実施計画に基づき業務を実施するとともに、職員による日常点検も行った。	◎	◎
	植栽管理	樹木管理(高木剪定、低木剪定、クロマツ等、施肥、病害虫防除、枯損木処理適宜)、芝生管理(芝刈 37,260㎡1回/年、芝施肥、エアレーション、目土掛け、ティポット補修、その他適宜)、草花管理(植え替え1回/年、人力抜根除草、灌水適宜)、草地管理(草刈り 25,000㎡1回/年)運動施設 82,480㎡・その他 30,100㎡1回/年)・花壇管理(植替)・草地管理(機械除草 20,000㎡1回/年、人力除草 5,000㎡1回/年)	樹木管理は、クロマツ枯損木325本伐採し、高木182本、低木3,308本剪定を行った。草花管理は、良好な維持管理を行った。芝生管理、草地管理は、計画数量以上の作業を行った。また、運動施設の芝生管理は、施肥・薬剤散布等について、芝生の状態・天候・利用状況等を勘案し、作業計画を多少前後する時期もあったが適切に管理することができた。 草花管理は、良好な維持管理を行った。芝生管理、草地管理は、計画数量以上の作業を行った。 グラウンド管理の作業量に応じてグラウンドキーパーを適材適所に配置し、直営による効率的な作業を実施した。	◎	◎
	警備	昼間職員による園内巡視 建物警備の業務委託(第1野球場等)	昼間職員による園内巡視業務(毎日) 夜間の建物機械警備の業務委託(第1野球場他) 実施計画通り日々の園内巡視を行うとともに、夜間の建物の機械警備を行った。	◎	◎

	小規模修繕	迅速な修繕	各種維持管理機械補修、散水設備補修、給水設備補修、電気設備補修、空調設備補修、汚水排水設備補修等 施設の点検を実施する中で、利用者への安全性と利便性を考慮し、大規模な修繕に至らないよう早い段階での発見、対応に努め、緊急性のある修繕は最優先で迅速な修繕に努めた。 また、多発する維持管理機械の修繕項目の中から、費用対効果を勘案しつつ、業務内容に配慮した計画的な修繕に努めた。	◎	◎
	法定点検の実施	専門業者による年1回の法定点検(電気・機械設備)、年2回の法定点検(消防設備)、年6回の法定点検(電気・機械設備)	専門業者による年1回の法定点検(電気・機械設備)、年2回の法定点検(消防設備)、年6回の法定点検(電気・機械設備)を実施した。 実施計画に基づき業務を実施できた。	◎	◎
運營業務	開館日・開館時間等	開館日は1月4日から12月28日とし、供用時間は9時～17時とする。なお、第1野球場及び屋内練習場は9時～21時とする。	供用日時を原則としながらも、大会や合宿利用等の早朝開門するなど適宜対応し、運営状況に合わせた調整を行った。 大会等の内容や規模に応じて、柔軟な対応を行うことで、利用者ニーズに適応するよう努めた。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	公共性・公平性を確保した運営管理の実施	運動施設の利用抽選等は、予約システムを導入した機械抽選を実施するとともに、特別利用の利用調整や主催者への利用指導を積極的に行った。また、一般来園者の健康増進を目的としたウォーキングステーションを屋内練習場に継続設置し、円滑な運営管理を行った。 公共性及び公平性については、概ね確保できた。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	幅広い年齢層に公園を利用してもらえるように各種プログラムを実施 利用促進事業 ・ミズノスポーツフェスタ in ボールパークあわじ 1回 ・ひょうごヘルシーパーク・プロジェクト12回 ・心身リラックスプログラム 12回 ・介護予防プログラム 26回 ・親子スポーツDAY 1回 ・運動会必勝塾 2回 ・ミズノ流忍者学校 1回 ・ミズノはらっぱ教室 52回 ・キッズヘキサスロン 1回 ・ミズノスポーツ塾 3回 ・トレーニングジム運営事業 6,100人 ・ミズノサッカースクール 156回 自主事業 ・個サル(個人参加型フットサル) 月4回 240人 ・ミズノグッズ 販売等事業 差引収支 150千円 ・自動販売機事業 差引収支 3,372千円	以下の主な事業を実施した。 利用促進事業 ・ミズノスポーツフェスタ in ボールパークあわじ 1回 ・ひょうごヘルシーパーク・プロジェクト12回 ・心身リラックスプログラム 35回 ・介護予防プログラム 45回 ・親子スポーツDAY 1回 ・運動会必勝塾 3回 ・ミズノ流忍者学校 1回 ・ミズノはらっぱ教室 24回 ・キッズヘキサスロン 2回 ・ミズノスポーツ塾 5回 ・トレーニングジム運営事業 5,994人 ・ミズノサッカースクール 158回 自主事業 ・個サル(個人参加型フットサル) 11回 10人 ・ミズノグッズ 販売等事業 差引収支 55千円 ・自動販売機事業 差引収支 3,301千円 新型コロナウイルスへの対処について、「新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針」を遵守し、感染防止対策を行いサービスの低下につながらないよう利便性の確保に努めた。ミズノとの共同体の強みを活かした利用促進事業を実施する中で、新たな利用促進事業を展開し、着実に実績を積み上げ新規参加者を増やしリピーターの獲得を目指して、子供から大人まで地域住民の健康増進に寄与したプログラム及び事業実施を行った。	○	○

	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	施設サービスの苦情・要望に関する利用者の満足度を把握するために利用者満足度調査を実施する。	4～3月に公園利用者アンケート調査を行い、451名から回答を得た。 計画どおり調査できた。その結果、公園の印象や施設の管理状態等において、おおむね高い利用者満足度を得た。	◎	◎
利用状況	利用者数	利用者数・利用件数の安定・確保 計画値 250,000 人 [前年度:172,776 人]	令和4年度の来園者数は 221,442 人となり、昨年度より増加した。新型コロナウイルスの規制緩和に伴い、制限されていた野球やサッカーの大会等が再び開催されるようになってきた。それに加え、平日のグラウンドゴルフや屋内練習場のスポーツジム・アリーナ・投球練習場の利用が増えた。	○	○
	施設稼働率	各運動施設稼働率の安定・確保 計画値:第1野球場 67.2% [前年度:第1野球場 61.4%] 計画値:第2野球場 52.1% [前年度:第2野球場 52.4%] 計画値:多目的G 36.4% [前年度:多目的G 37.5%] 計画値:第2多目的G 23.6% [前年度:第2多目的G 28.8%] 計画値:第1サッカー場 69.4% [前年度:第1サッカー場 77.5%] 計画値:第2サッカー場 71.9% [前年度:第2サッカー場 71.7%] 計画値:第3サッカー場 52.6% [前年度:第3サッカー場 67.6%] 計画値:第1屋内練習場 53.8% [前年度:第1屋内練習場 52.1%] 計画値:第2屋内練習場 53.8% [前年度:第2屋内練習場 44.2%] 計画値:投球練習場 53.8% [前年度:投球練習場 8.0%] 計画値:会議室 53.8% [前年度:会議室 33.3%]	施設全体において、大会等の開催確保により、土日祝での稼働率の安定を図り、平日においても、サッカー利用、高校・大学の野球合宿利用、高齢層を対象としたグラウンドゴルフの利用等について、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策に努めて利用促進を行った。 利用者数と同様に、新型コロナウイルス感染拡大に伴う大会中止及び施設利用自粛等の解除、再開により、いずれの施設においても、稼働率は昨年度より回復し、新型コロナウイルス感染拡大以前に戻りつつある結果となった。 [第1野球場 69.3%] [第2野球場 59.3%] [多目的G 48.8%] [第2多目的G 33.4%] [第1サッカー場 83.8%] [第2サッカー場 84.9%] [第3サッカー場 79.8%] [第1屋内練習場 58.4%] [第2屋内練習場 53.8%] [投球練習場 17.4%] [会議室 42.8%]	○	○
収支状況	収支計画と実績	収入 108,376 千円 (内訳) 指定管理料 85,619 千円 利用料金 17,042 千円 利用促進事業収入 1,550 千円 その他収入 4,165 千円 支出 108,376 千円	収入 110,976 千円 (内訳) 指定管理料 85,643 千円 利用料金 23,492 千円 利用促進事業収入 1,840 千円 支出 108,776 千円 収入は、新型コロナウイルスの規制緩和に伴う大会等の再開により、屋外及び屋内いずれの施設においても、稼働率は昨年度より利用者数が回復し、利用料金は計画値に比べ約 37%の増収となった。 支出は、できるだけ可能な範囲で直接経費のコストカット及び直営作業で実施することにより経費節減に努めた。	◎	◎
	経費節減に向けた取組	職員による直営作業の充実	植栽管理や運動施設管理等において、直営での実施を行い経費節減に努めた。 職員の適材適所への配置とスキルを活かした直営作業を行い、作業の効率化と労働環境の継続的な改善を行い、経費節減に取り組んだ。	◎	◎

運 営 体 制	苦情要望等の対応体制・内容	受付窓口や電話、ホームページ等による苦情要望等の受付(「苦情要望対応マニュアル」により対応するとともに、特に重要なものについてはその都度兵庫県へ報告する。	電話、ホームページ、園内等で随時受け付けを行い、適宜丁寧な対応を心掛けた。兵庫県へ報告すべき重要な苦情はなかった。 トラブルや事故に至らないように、窓口や電話等における適宜適切な初期対応を重視し、管理運営サービスの向上に努めた。	◎	◎
	危機管理体制の確保	緊急時の連携体制の確立 防災対策の確立 (水防対策、消防対策) 応急対策の確立 (急病・けが、事故発生時等)	気象注意報・警報等についての、利用者への情報提供に努め、ケガ人等の救急対応を適切に実施した。また、災害緊急時の避難経路について訓練を行い、大会前の事前打合せ時に案内を実施した。 新型コロナウイルスの感染防止対策として、最新の情報収集と運動公園において有効とされる感染予防措置を講じた。また、災害緊急時の対応及び避難経路について訓練を行った。施設利用における事故等の発生も無かった。加えて、利用時のケガ人に対する緊急救急対応も問題なくできた。	◎	◎
	県・関係機関との連携	県・市等の関係機関との連携によるイベント開催及び管理運営体制の強化	イベントでは、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策に努めて、定例のミズノスポーツフェスタでは、県事業のPRを含め、協力して実施した。	◎	◎
	業務の再委託の状況	設備機械等保守点検委託 12社 清掃等委託 4社	設備機器メーカー等専門知識と技術を有する業者等へ委託し、設備の適正な保守点検業務を行った。また地元の淡路市シルバーや障がい者就労事業所と契約し高齢者や障がい者の就労支援として清掃や除草の委託を行った。 設備機械等保守点検委託 12社 清掃等委託 4社	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

新型コロナウイルス感染拡大する中、実施計画以上の維持及び運営管理をおおむね高い水準を保持することができた。また、利用者満足度も高評価を得たことで、運動公園として概ね管理水準以上の品質を維持することが出来た。

コロナ渦も落ち着きを見せ始め、規制緩和が徐々に進み、開催を中止していた大会等が再開されてきた。感染対策を行った上での施設利用、スポーツを行うことに全体的に定着してきており、運動施設の利用状況も徐々にコロナ渦前に戻りつつある感じが見られる。

感染症拡大の中で獲得した感染症対策の知識や習慣を活用しつつ、新たな運動施設利用の形として持続的に運営を行うことが重要と考える。

令和4年度 総合評価シート

評価者：淡路県民局洲本土木事務所

施設名	淡路佐野運動公園	現指定管理期間	平成 30 年～令和4年(5年間)
指定管理者	兵庫県園芸・公園協会・ミズノ共同体	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

実施計画に基づいた管理が行われ、新型コロナウイルスの影響が残る中、来園者数はコロナ前の令和元年度の実績を上回る結果となった。日々の点検等により適切に設備が使用できること、合宿利用に合わせ早朝開門、利用時間を延長するなど、適宜対応することが利用増につながっていると考える。

また、植栽管理では生育状況を見極めながら実施計画以上の作業をするところや計画回数以下に施肥の回数をおさえるなど、柔軟な対応で適切な管理がされている。

利用者アンケートでは施設の管理状態において「満足、やや満足」の回答が令和3年度の80%から90%から令和4年度は90%以上となっており、また利用したいかという設問でも90%以上の人が利用したいと回答していることから、管理レベルの高さがうかがえる。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

運動公園の性質上、休日の利用が多く平日の昼間は利用が少なくなる傾向があり、屋外施設では天候にも左右される。(コロナ前は休日では天候の良い日には100%の利用率の日も多い。)

このことから、平日の昼間に利用できるよう、個人で参加できる又は高齢者向けのイベントや企画、広報等の情報発信に改善できる余地があると考えます。

また、施設の老朽化に伴い、令和4年度から3年程度の計画で各所の改修工事が予定されているため、工事中の安全対策、利用方法について対策が必要になる。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
			A	A

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	淡路島公園(ハイウェイオアシスゾーン除く)	現指定管理期間	令和4年～8年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	管理事務所:(日常)1回/日 (定期)2回/年 便所:(花の谷)3回/週 (森・交流ゾーン)5回/週 (草原と花のゾーン)2回/月 工作物:適宜 園内:2~4回/週 水景施設:(花の谷)4回/年 水景施設:(水の遊び場)2回/月 雨水排水施設:適宜	管理事務所:(日常)360回 (定期)3回 便所:(花の谷)227回 (森・交流ゾーン)227回 (草原と花のゾーン)227回 工作物:30回 園内:401回 水景施設:(花の谷)4回 水景施設:(水の遊び場)19回 雨水排水施設:36回	◎	◎
	設備保守管理	建築物管理:(日常)1回/日 (定期)2回/年 樹木中高木:(日常)1回/日 (定期)1回/年 工作物:(日常)1回/日 (定期)2回/年 遊具:(日常)1回/日 (日常週次)1回/週 (重点的)1回/月 (定期)2回/年 (専門)1回/年 雨水排水設備:(日常)1回/日 (定期)1回/年 汚水排水設備:(日常)1回/日 (定期)2回/年 ガス設備:(日常)1回/日 (定期)2回/年 給水設備:(日常)1回/日 (定期)1回/年 電気設備:(日常)1回/日 (定期)2回/年 (法定月次)1回/2か月 (法定年次)1回/年 施設修繕:適宜	建築物管理:(日常)360回 (定期)2回 樹木中高木:(日常)360回 (定期)2回 工作物:(日常)360回 (定期)2回 遊具:(日常)360回 (日常週次)53回 (重点的)12回 (定期)2回 (専門)1回 雨水排水設備:(日常)360回 (定期)2回 汚水排水設備:(日常)360回 (定期)2回 ガス設備:(日常)360回 (定期)2回 給水設備:(日常)360回 (定期)2回 電気設備:(日常)360回 (定期)2回 (法定月次)6回 (法定年次)1回 施設修繕:46回	◎	◎

	<p>植栽管理</p>	<p>高木剪定(中高木):適宜 低木剪定:適宜 施肥(中高木サクラ類):適宜 施肥(低木):適宜 病虫害防除:適宜 枯損木処理:適宜 芝刈:1~4回/年 芝施肥:適宜 エアレーション:適宜 目土掛け:適宜 ブラッシング:適宜 除草:適宜 灌水:適宜 花苗植栽:2回/年 灌水:適宜 施肥:適宜 花殻摘み:適宜 除草:適宜 機械除草:1~3回/年 人力伐根除草:適宜</p>	<p>高木剪定(中高木):486本 低木剪定:18,990本 施肥(中高木サクラ類):960本 施肥(低木):20,500㎡ 病虫害防除:6回 枯損木処理:76本 芝刈:369,990㎡ 芝施肥:42,310㎡ エアレーション:0㎡(必要なし) 目土掛け:0㎡(必要なし) ブラッシング:0㎡(必要なし) 除草:10㎡ 灌水:0回(必要なし) 花苗植栽:2回 灌水:19回 施肥:2回 花殻摘み:2回 除草:5回 機械除草:103,810㎡ 人力伐根除草:5,740㎡</p>	◎	◎
	<p>警備</p>	<p>昼間は1日に2回の園内巡回を実施。 夜間は管理事務所の機械警備を専門業者に委託。</p>	<p>昼間は巡回員による巡回を1日2回行い、繁忙期の遊具利用警備、夜間及び休業日は機械警備及び警備員を専門業者に委託し安全を確保した。また、園内において事故等が発生した場合に備え、警察、消防、医療機関などと迅速に対応できるよう連携体制を確立した。</p>	○	◎
	<p>小規模修繕</p>	<p>公園スタッフによる修繕を原則とし、対処できない案件については、応急処置または使用禁止等利用制限を行い、安全を確保して専門業者へ委託。</p>	<p>公園施設の日常点検、6ヶ月毎の定期点検、巡回時発見した修繕箇所を中心に、公園スタッフによる直営修繕及び専門業者へ委託を行い、安全安心の確保、設備等の性能維持に努めた。</p>	◎	◎
	<p>法定点検の実施</p>	<p>高圧受電設備 (月次点検)1回/2箇月 (年次点検)1回/年</p>	<p>高圧受電設備 (月次点検)1回/2箇月 (年次点検)1回/年</p>	○	◎
<p>運営業務</p>	<p>開館日・開館時間等</p>	<p>公園は常時開園 管理事務所の窓口業務等は1月4日から12月28日までの9時から17時まで。</p>	<p>公園は常時開園 管理事務所の窓口業務等は、1月4日から12月28日の9時から17時まで。</p>	○	◎
	<p>公共性・公平性の確保</p>	<p>ユニバーサルサービスを基本とした姿勢で、高齢者や障害者、幼児への配慮についても公平に対応。</p>	<p>遊具利用のルールを守っていただけるよう利用者に直接指導を行い、繁忙期には警備員を配置するなど未然にトラブルの防止を図った。公園利用者の問い合わせ等には、公園パンフレット等を活用し誘導するなど、親切、丁寧に対応した。</p>	◎	◎

	各種事業・プログラムの実施状況	<p>パークコーディネーターが「淡路島公園楽しもう会」などのボランティア団体・個人と連携・協力し、公園の利用促進を図るイベントを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淡路島公園楽しもう会との連携等事業 楽しもう祭り 1 回/年 その他事業 10 回/年程度 環境学習 1 回/年 	<p>淡路島公園楽しもう会などのボランティア団体・個人と連携・協力し、公園の利用増進を図るイベントを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜まつり1回/年 ・アジサイまつり1回/年 ・楽しもう祭り コロナ中止 ※恐竜化石発掘、竹切り体験実施 ・星の観察会1回/年 ・自然見て歩き1回/年 ・ハーブクラフト教室 4 回/年 ・クリスマスリース作り教室1回/年 ・昆虫大捜査線1回/年 ・モデルロケットをうちあげよう1回/年 ・キノコ、苔観察会1回/年 ・タケノコまつり1回/年 ・探鳥会 4 回/年 ・昆虫観察会1回/年 ・環境体験学習 1 回/年 ・淡路景観園芸学校授業 2 回/年 ・自衛隊ふれあいフェア 1 回/年 ・あわじオープンガーデン 4 回/年 	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	<p>利用者の満足度状況を把握するため、毎年定期的にアンケートによる「利用満足度調査」を行います。また、各種プログラム、イベント開催時にも適宜モニタリング調査を幅広く実施し、サンプルを取って利用者の要望を把握する。</p>	<p>アンケート調査は、公園利用アンケートの他、桜まつり、アジサイまつり、昆虫大捜査線のイベントで調査を実施。合計 884 名(昨年 551 名)の回答を収集した。</p>	○	◎
利用状況	利用者数	<p>目標年間来園者数 680,000 人</p> <p>[前年度: 730,678 人]</p>	<p>実績来園者数 913,523 人</p> <p>※令和4年度ニジゲンノモリ入園者数人 120,509 人</p> <p>(公園入園者数+ニジゲンノモリ入園者数=1,034,032 人)</p>	◎	◎
	施設稼働率	-	-	-	-
収支状況	収支計画と実績	<p>収入の部 72,459千円 (指定管理料)72,277千円</p> <p>支出の部 72,459千円</p> <p>収支差額 0円</p>	<p>収入の部 72,380千円 (指定管理料)72,277千円</p> <p>支出の部 72,342千円</p> <p>収支差額 38千円</p>	◎	◎
	経費節減に向けた取組	<p>経費節減を意識した効率的な管理運営</p>	<p>雨天時における作業機械の直営整備の実施。</p> <p>木製ベンチ塗装、園路補修などの直営による、修繕を実施。</p>	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	<p>電話、意見箱、Eメール、園内などで随時受け付け</p>	<p>公園利用者から苦情・要望を受けた場合には、内容等を記録して事務所内で回覧するとともに、情報の共有化を図り、遺漏がない納得のいく対応を行った。</p>	○	○

危機管理体制の確保	公園管理マニュアル、実施計画書に基づく対応、緊急時の連絡体制確立	緊急網連絡を常に更新して配布し、全スタッフに危機管理意識の醸成を図った。また、職員を対象におもてなし研修、遊具安全点検講習等を行った。	○	○
県・関係機関との連携	常に洲本土木事務所や関係機関（ハイウェイオアシス、淡路 SA）との連携を取り、緊急時など密に連絡を取り合い対策を講じる。	洲本土木事務所等と密接に連絡を取り、施設の修繕等に適切な対策を講じるとともに、淡路島公園管理運営協議会及び運営懇話会を開催し、ボランティア団体やハイウェイオアシス・洲本土木事務所とイベント情報等の共有を図った。他ニジゲンノモリとも安全対策、運営等についても協議を図り適切な対応を行った。	○	◎
業務の再委託の状況	公園スタッフで対応しきれない維持管理業務や点検・警備・ゴミ処理については、必要に応じ専門業者へ委託。	当初事業計画どおり、公園スタッフで対応しきれない維持管理業務や点検・警備・ゴミ処理については、必要に応じ専門業者へ委託。	○	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

【総合的な自己評価】

効率的な管理運営を行うとともに、関係機関と連携を図りながら新型コロナウイルス感染拡大防止にも努めて各種イベントを実行し、利用満足度の高い利用者の増加を図ることができた。

【来年度の取組目標・課題等】

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまで、「新型インフルエンザ等感染症」としていたが、令和5年5月8日から「5類感染症」になる影響で公園以外への外出が増えることを考慮しつつ、ニジゲンノモリアトラクションの効果や新しくリニューアルされた無料遊具の利用などの増加が期待できるものと思われる。

ニジゲンノモリ利用者及び公園施設利用者の双方に快適なつろぎ空間を提供できるよう、引き続き県やニジゲンノモリとの定例会等を通じ、維持・運営管理計画等の情報を共有することで、多くの方々が安全、安心して訪れる公園となるよう更なる連携強化及び公園の利用促進に努める。

令和4年度 総合評価シート

評価者：淡路県民局洲本土木事務所

施設名	淡路島公園(ハイウェイオアシスゾーン除く)	現指定管理期間	令和4年～8年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○維持管理業務

清掃、設備保守管理、公園の大部分を占める植栽管理について、年間を通じて計画どおり適正に実施されている。例えば満足度調査において、「花壇、樹木等の植栽の手入れ」については約88%（無回答を除く）、「遊具などの施設管理状態」においては約82%（無回答を除く）の来園者が満足しており、高い評価を得ている。

○運營業務

新型コロナウイルス感染症の影響から楽しもう祭り一部中止を余儀なくされたものもあったが、代替えの実施や可能な限りで感染症対策を講じながら、ボランティア団体等と連携し、公園のPRイベントや環境体験プログラムの実施に取り組んでいる、

○利用状況

新型コロナウイルス感染症による影響もある中、昨年度の利用者数730千人、目標である680千人を上回る913千人超の利用者数となっている。

○収支状況

直営での施設修繕に務めるなど、経費削減が図られている。

○運営体制

県や関係機関とも密に連携し、苦情対応や安全対策等適切に運営されている。利用満足度調査では、「施設の使いやすさ」は約84%（無回答を除く）、「安全・安心面」では約87%と高い評価が得られている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- 遊具の不具合や園路の傷み等を発見した場合は速やかに県へ報告し、利用者の安全に努めること。
- トイレの清掃箇所や清掃回数を調整する等検討し、更なる経費節減に努めること。
- アンケート調査の内容や集計方法を工夫し、可能な範囲でより細かな分析が可能となるよう検討すること。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S				

総合評価指標（管理運営評価シート of 施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和 4 年度 管理運営評価シート

施設名	淡路島公園(ハイウェイオアシスゾーン)	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(株)夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
維持 管理 業務	清掃	【園内清掃】 園路、遊歩道清掃:適宜 広場清掃:適宜 駐車場清掃(3箇所):適宜 その他園地等清掃:適宜 【屋外エスカレーター清掃】 本体・屋根を含む周辺部分: 適宜 【オアシス館清掃】 館内日常清掃:1回/日(365回) 館内床ワックス掛け:2回/年 アトリウムガラス壁面:1回/年 【トイレ清掃】 オアシス館、トイレ棟:1回/日 (365回) 有料駐車場:3回/週(156回)	【園内清掃】 園路、遊歩道清掃:189回 広場清掃:189回 駐車場清掃(3箇所):189回 その他園地等清掃:189回 【屋外エスカレーター清掃】 本体・屋根を含む周辺部分:2 回 【オアシス館清掃】 館内日常清掃:363回 ※9/19台風、1/25積雪休業 館内床ワックス掛け:2回/年 アトリウムガラス壁面:1回/年 【トイレ清掃】 オアシス館、トイレ棟:363回 ※9/19台風、1/25積雪休業 有料駐車場:104回	◎	◎
	設備保守管理	【給水施設】 給水施設点検:1回/年 【灌水施設】 自動灌水施設点検(自動装置) 可動期間のみ:1回/週(31回) 【水景施設】 レストラン棟水景施設点検: 適宜 【園路】 園路・遊歩道点検:2回/年 照明器具点検:適宜 【汚水ポンプマンホール下水道】 汚水ポンプ・ピット清掃:2回/年 汚水ポンプ・ピット点検:1回/ 月(12回) 下水道管点検(マンホール):2 回/年 【ガス設備】 ガス探知機点検:2回/年 【雨水排水設備】 点検・清掃:1回/年	【給水施設】 給水施設点検1回/年 【灌水施設】 自動灌水施設点検(自動装置) 可動期間のみ:1回/週(31回) 【水景施設】 レストラン棟水景施設点検: 適宜 【園路】 園路・遊歩道点検:2回/年 照明器具点検:12回 【汚水ポンプマンホール下水道】 汚水ポンプ・ピット清掃:2回/年 汚水ポンプ・ピット点検:1回/ 月(12回) 下水道管点検(マンホール):2 回/年 【ガス設備】 ガス探知機点検:2回/年 【雨水排水設備】 点検・清掃:1回/年	◎	◎

	<p>【ベンチ】 安全点検:2回/年</p> <p>【東屋】 安全点検:2回/年</p> <p>【イベント広場】 施設点検:2回/年</p> <p>【案内標識】 点検:2回/年</p> <p>【緊急電話】 カメラ点検:2回/年 緊急電話:1回/月(12回)</p> <p>【トイレ設備】 設備点検:1回/月(12回)</p> <p>【消防訓練等】 消防訓練:2回/年 消防設備点検:2回/年 防火対象物点検:—/年 ※特例により点検免除 自主防火点検:1回/月(12回)</p>	<p>【ベンチ】 安全点検:2回/年</p> <p>【東屋】 安瀬点検:2回/年</p> <p>【イベント広場】 施設点検:2回/年</p> <p>【案内標識】 点検:2回/年</p> <p>【緊急電話】 カメラ点検:2回/年 緊急電話:1回/月(12回)</p> <p>【トイレ設備】 設備点検:1回/月(12回)</p> <p>【消防訓練等】 消防訓練:2回/年 消防設備点検:2回/年 防火対象物点検:—/年 ※特例により点検免除 自主防火点検:1回/月(12回)</p>		
植栽管理	<p>【草花管理等(オアシス館内)】 花苗植栽(プランター):2回/年 灌水・花殻摘み:適宜 ベンジャミン剪定・洗浄:2回/年</p> <p>【草花管理】 花苗植栽:2回/年 灌水:適宜 施肥:適宜 花殻摘み・除草:適宜</p> <p>【樹木管理】 低木・中木・高木剪定:適宜 薬剤散布:適宜 施肥:適宜 倒木復旧作業:適宜 枯損木処理:適宜</p> <p>【草地管理】 機械除草:2回/年 人力抜根除草:1回/年</p>	<p>【草花管理等(オアシス館内)】 花苗植栽(プランター):12回/年 灌水・花殻摘み:12回 ベンジャミン剪定・洗浄:2回/年</p> <p>【草花管理】 花苗植栽:12回/年 灌水:12回 施肥:10回 花殻摘み・除草:12回</p> <p>【樹木管理】 低木・中木・高木剪定:12回 薬剤散布:2回 施肥:0回 倒木復旧作業:2回 枯損木処理:2回</p> <p>【草地管理】 機械除草:8回/年 人力抜根除草:8回/年</p>	◎	◎
警備	<p>警備委託:1回/日(365回)</p> <p>防犯、火災監視、設備監視のため、管理事務所等の施設の夜間の警備を行い、安全確保を図る。</p>	<p>【実績】 警備委託:1回/日(365回)</p> <p>【評価】 管理事務所等の施設の夜間警備を毎日実施し、安全確保に努めた。</p>	◎	◎

	小規模修繕	不具合等の状況把握に県と情報共有連携し努めるとともに、対応区分(30万以上県対応、10万~30万維持修繕業務委託、~10万指定管理費用内)に従い修繕を実施する。	<p>【実績】 空調設備、給排水設備、照明・電気設備、建物・園路等の不具合に対する修繕を行い、早期の機能復旧に努めた。対象となる委託による10万未満の件数は20件、直営による電球玉切れ交換は91件、直営によるその他作業は48件となった。</p> <p>【評価】 直営実施と委託実施を使い分け無駄のない効果的な修繕を行うことが出来た。</p>	◎	◎
	法定点検の実施	関連する各法定点検項目の実施	<p>【実績】 特定建築物・防火対象物・環境衛生・簡易水道・消防設備・空調設備(安全弁)・昇降機・自家用電気工作物・危険物・自動車など</p> <p>【評価】 主に専門業者等への業務委託内で実施しているが関係するものについて漏れなく行うことが出来たと考えている。</p>	◎	◎
運営業務	開館日・開館時間等	年中無休 24時間開園(窓口は9~17時)。ただし、オアシス館:平日は9時~19時、休日(土日祝)は9時~20時。有料駐車場:9~21時	<p>【実績】 オアシス館については以下開館(営業)時間の延長を実施した。 8/11~8/15、12/30、1/2~4 いずれも開館時間を休日営業時間の10h~20hに変更</p> <p>【評価】 昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で積極的な早朝や時間延長開館対応は図らなかったが、県からの通知・方針に基づき適切に運営実施できた。</p>	◎	◎

	公共性・公平性の確保	屋内アトリウムの机・椅子や屋外の駐車場などの公共スペースにおいて、利用者に公平に利用していただけるよう配慮する。	<p>【実績】 団体でのアトリウム(机・椅子)利用予約や屋外駐車場周辺を利用した車・バイクのイベント・集会については、関係者に公園内の利用に関する公平性の考え方を説明し、独占利用が発生しないよう心がけた。(アトリウムは予約不可。車バイクのイベントについては、非常時は警察等と協力した管理を行った。)</p> <p>【評価】 利用状況を注視し公共スペースにおける公園利用者の公平性を保つことが出来た。</p>	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	集客イベントを実施する。	<p>【実績】 「七夕まつり(6/25～7/7)」 「クリスマスツリー点灯式(11/19)」 「オアシスフードフェスタ(11/15.16)」 「ピアノライブコンサート(3/26)」を実施した。</p> <p>【評価】 イベントは多くの参加、来場者で盛況であったが、コロナ禍の下、中止するものも多く積極的な展開は図れなかった。</p>	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	利用者からアンケートを実施し、利用者の満足度や意見等を把握する、自己評価の材料とする。	<p>【実績】 対面によるアンケート(3/5)を実施、108名の多数のお客様からアンケート回収することが出来た。</p> <p>【評価】 調査結果として満足されている方が多数を占めた。</p>	○	○
利用状況	利用者数	年間来園者数の目標値は1,550千人 [前年度実績:946千人]	<p>【実績】 入園者数は1,433千人(目標比92.5%、117千人マイナス、昨年比では151.6%、487千人増)の結果となった。</p> <p>【評価】 対前年では増加したもののコロナ禍の下、低位な数値となったが、新型コロナウイルス対策適正店認証や各種旅行支援策などを有効に活用し図ることができた。</p>	○	○

	施設稼働率	有料駐車場の利用促進を図る [前年度実績: 94%]	<p>【実績】 普通車と大型車をあわせて41,584台の利用があり、利用率は101%と、昨年度比では加した。</p> <p>【評価】 一昨年度 SIC 開通により一般道からの進入配置・枠数の変更など利便性に変化があった。</p>	◎	◎
収支状況	収支計画と実績	収支計画に基づく適切な支出を行う。	<p>【実績】 収支計画に基づく維持管理の執行を行ない利用者の快適な公園利用に役立てた。</p> <p>【評価】 安全で快適な公園利用のための、適切な支出を行うことができた。</p>	◎	◎
	経費節減に向けた取組	エネルギー使用量の削減、設備運転の合理化・適正化を図る。	<p>【実績】 使用量(テナントを除く)は電力 917,467kwh(昨年比 16.8%増)、上水 16,619t(昨年比 52.3%増)、下水 11,801t(昨年比 25.2%増)、灯油 51kl(年比 3.7%増)いずれも前年を上回った。</p> <p>【評価】 コロナ禍からの回復下、オアシス館やトイレ棟などの施設利用者が増加、使用量も増加したが、空調機の運転や照明の消灯など開館時間にあわせ最適化に努め、また、漏水手当も適宜実施し適正に管理、無駄な使用は抑えることが出来た。</p>	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	利用者の意見要望を生かした公園の利活用を図る	<p>【実績】 窓口、電話、巡回時の来園者との対話、HP「ご意見」コーナーにより、利用者の意見・要望(苦情)を把握した。</p> <p>【評価】 来園者から寄せられる問合せや意見について現場状況の確認に努め利用者目線の要望を把握し、一次対応、また県への報告が出来た。</p>	◎	◎

	危機管理体制の確保	緊急時は「緊急時の体制表」、防火管理は消防計画に基づき的確に対応する。	<p>【実績】 「緊急時の体制表」にもとづく対応ができた。防火管理・消防計画に基づく消防訓練は年間計 2 回行い、毎月の防火設備自主点検とあわせ防火体制の理解・向上が図れた。</p> <p>【評価】 危機管理体制の確保、計画に基づく対応ができた。</p>	◎	◎
	県・関係機関との連携	県及び関係機関との緊急時連絡体制（緊急時の体制表）および県防災対策指針に基づく指針・要領により防災時に備える。	<p>【実績】 緊急時の体制表および県指針に基づき作成した地震・津波、風水害にかかる防災対策マニュアルに基づき必要時県・関係機関と情報共有・連携を図った。</p> <p>【評価】 県・関係機関と情報共有・連携を図ることができた。</p>	◎	◎
	業務の再委託の状況	業務の再委託を有効活用する。	<p>【実績】 （主な再委託業務） ・電気設備保安管理・デマンド監視 ・昇降機点検・保守 ・空調設備保守点検 ・消防設備点検 防火対象物点検 ・自動ドア保守 ・（A1・A2）駐車場運営管理 ・剪定・緑化ブロック・急斜面地除草 ・ハンジヤミ剪定・薬剤散布 ・御手洗池田主 御手洗池清掃 ・フラワーレンタル剪定くず処理 ・環境衛生管理・清掃 ゴミ処理</p> <p>【評価】 専門性や業務効率面を考慮し、再委託を行った。多くの業務において有効活用することができた。</p>	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

ここ3年間はコロナ禍の下、利用促進・集客をはじめとする管理運営について十分な取り組みが出来なかったものも多いが、今年度はコロナ禍からの回復に期待がかかる。感染拡大防止対応を図りつつ、集客増を図るとともに無駄のない高効率な管理運営に取り組みたい。2020年3月に開通した淡路北 SIC についても同様で時期が重なるものだが、関連各所と連携し当初期待されていた設置効果を検証したい。（当年度でのコロナ禍の終息を期待したが収まらず昨年度同様の記載内容となった）

令和4年度 総合評価シート

評価者：淡路県民局洲本土木事務所

施設名	淡路島公園(ハイウェイオアシスゾーン)	現指定管理期間	令和3年～5年(3年間)
指定管理者	(株)夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

施設の管理・清掃や設備の保守管理、植栽管理について、実施計画書のとおり適切に行い利用者が安心で快適に過ごせる空間づくりが行われている。

植栽管理について、計画以上の管理が行われており年間を通じて良好な景観向上及びその維持管理に努めている。特にアトリウム内の植栽は施設内の景観を向上させる1つの要素となっている。

施設内の修繕については、早期の機能復旧を施す等、適切に管理が行われている。

新型コロナウイルスの影響により積極的な閉館時間延長や計画していたイベントを全て実施することはできていないが、都市公園の利用者数及び県営駐車場の利用台数は前年を超え、目標値の90%に達する結果となった。

また、ドッグカフェのオープンにより犬連れの利用者が増加し、都市公園の利用者増加に大きく貢献している。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和4年度については前年と比較して新型コロナウイルス蔓延から回復傾向にあり、大型バスによる団体客利用が増えてきているものの、目標の数値には至らなかった。

令和4年度のアンケート調査について、回答の総数が少なく質問内容を精査し次年度に取り組みたい。

感染拡大防止により中止となった利用促進事業や閉館時間の延長について、状況を鑑みつつ可能な限り実施すること。

また、上水量や電力の使用量の増加が見受けられるため、引き続き照明のLED化や必要以上の使用を抑え、経費削減に努められたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B	A			

総合評価指標（管理運営評価シート of 施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が 80%超である
A	◎が 60%超 80%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
B	◎が 40%超 60%以下であり、かつ△と×の合計が 20%以下である
C	△と×の合計が 20%超 40%以下である
D	△と×の合計が 40%超である

令和4度 管理運営評価シート

施設名	灘山緑地	現指定管理期間	令和3～5年度(3年間)
指定管理者	(株)夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	清掃管理 園内清掃 1回/月 工作物清掃 4回/年 側溝 目視点検 適宜 清掃 1回/年	清掃管理 園内清掃 1回/月 工作物清掃 4回/年 側溝 目視点検 適宜実施 清掃 1回/年	◎	◎
	設備保守管理	保守点検 木製階段 2回/年 園路・階段 2回/年 園路照明 2回/年 電気設備 2回/年 東屋 2回/年 ベンチ 2回/年 修景設備 2回/年 案内看板清掃 2回/年 上水道設備 1回以上/年	保守点検 木製階段 2回/年 園路・階段 2回/年 園路照明 2回/年 電気設備 2回/年 東屋 2回/年 ベンチ 2回/年 修景設備 2回/年 案内看板清掃 2回/年 上水道設備 1回/年	◎	◎
	植栽管理	草地管理 機械除草 2回/年 人力除草 1回/年 樹木管理 剪定 状況に応じて適宜 病虫害駆除 状況に応じて適宜 枯損木除去 適宜 芝生管理 芝刈り 2回/年 芝施肥 状況に応じて適宜 エアレーション 状況に応じて適宜 目土掛け 状況に応じて適宜 ブラッシング 状況に応じて適宜 除草 適宜 灌水 適宜 草花管理 花殻摘み・除草 適宜 灌水 適宜	草地管理 機械除草 12回/年 人力除草 4回/年 樹木管理 剪定 7回/年 病虫害駆除 2回/年 枯損木除去 2回/年 芝生管理 芝刈り 8回/年 芝施肥 適宜実施 エアレーション 適宜実施 目土掛け 適宜実施 ブラッシング 8回/年 除草 8回/年 灌水 適宜実施 草花管理 花殻摘み・除草 適宜実施 灌水 適宜実施	◎	◎
	警備	園内巡回・点検 1回/日	園内巡回・点検 1回/日	◎	◎

	小規模修繕	軽微な修繕については、応急処置を行い、速やかに修理を行う。	日常・定期点検で発見された施設・設備の不具合に対し応急処置を施すとともに、修理・修繕工事等を速やかに実施し、利用者に不便をかけないように努めた。	◎	◎
	法定点検の実施	—	—		
運営業務	開館日・開館時間等	年中無休で24時間開園。	無料の公園施設として利用者の安全性とニーズの確保に努めた。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	無料の公園施設であり、全ての利用者に公平に利用していただく。	植栽管理を適切に行い快適な公園空間の確保に努め、幅広い利用者の多様なニーズに応えるよう努めた。	○	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	自主イベントとして秋の絵画コンクールを実施する。	自主イベントとして秋の絵画コンクールを計画・実施し、公苑の認知度向上に努めた。	○	○
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	利用者にアンケートを実施し、満足度や意見・要望等を把握する。それらを分析し、自己評価の材料とする。	利用者のニーズの継続的な把握に努めた。	○	○
利用状況	利用者数	年間来園者の目標値は16万人とする。	全国旅行支援を追い風に来場者数は回復傾向にあったものの、新型コロナの感染拡大の影響や、団体利用が戻らず入館者数は約10万3千人と目標を大きく下回った。	○	○
	施設稼働率	—	—		
収支状況	収支計画と実績	安全で快適な利用環境を提供できるよう、適切な支出を行う。	指定管理料の範囲で適切な植栽管理や施設修繕に取り組み、花苗植替えの未実施等があったが、おおむね計画どおりの管理・運営実績をあげた。	◎	◎
	経費節減に向けた取組	植栽管理の委託方法の工夫等により経費節減を図る。	植栽管理を温室運営事業共同体に一括で委託することで業務効率の改善を図り、経費節減に努めた。	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	来園者との対話等により、利用者のニーズや満足度等を把握する。	園内の巡回時や電話等による問合せや指摘・要望等については、迅速かつ丁寧な対応を心がけた。	○	◎

	危機管理体制の確保	隣接する県立夢舞台公苑とあわせて消防計画を作成し、定期的に消防訓練を実施する。	県立夢舞台公苑と一体で消防計画策定や訓練(年2回)を実施し、緊急時対応における初動の遅れを防止するよう意識の向上に努めた。	◎	○
	県・関係機関との連携	県及び関係機関との緊急時の連絡体制を整え、緊急時に対応する。	県や関係機関との緊急時連絡体制を構築し、備えた。	○	◎
	業務の再委託の状況	設備保守、植栽等	設備保守、植栽等専門的知識や技術が必要な業務については委託した。	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

昨年に続き、一定のコロナの影響はあったものの概ね適切に良好な状態で公園を維持管理できたと考える。

令和4年度 総合評価シート

評価者：淡路県民局洲本土木事務所

施設名	灘山緑地	現指定管理期間	令和3～5年度(3年間)
指定管理者	(株)夢舞台	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

実施計画に基づいた施設管理・清掃が概ね行われている。
 植栽管理について、花苗植栽等は計画回数に対して0回、除草・灌水は大きく下回っているが、生育状況に応じた管理を行った結果であり、植栽管理上の支障は無かった。植栽管理を温室事業協同体に一括することにより、業務効率の改善や経費節減に努める等、適切に収支計画が実施されている。
 小規模修繕について、点検や園内巡回時に発見された不具合等については修復工事を実施し、年間を通して良好な状態が維持されている。
 利用者について、コロナが終息してきており前年に比べ増加傾向にあるも目標を下回る結果となった。また、例年10月に実施している「絵画コンクール in 淡路夢舞台」を行い、利用者数の増加を図った。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和4年度について、利用者数が回復傾向にあるも、目標の数値には至らなかった。周辺の施設(百段苑やあわじグリーン館等)の利用者へのPRやアンケート調査の項目を増やすこと、SNS等を活用したPRを積極的に行うこと、特に自然ならではの事故(虫刺されや蛇に噛まれる等)の対策について備える必要がある。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
B	A			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	播磨中央公園	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃 建築物清掃 1棟 1回/日 便所清掃 1回/日 工作物清掃 適宜 小川清掃 6回/年 噴水 2回/年	建築物清掃 1回/日 便所清掃 1回/日 工作物清掃 1回/日 小川清掃 10回/年 噴水 4回/年	◎	◎
	設備保守管理 日常点検 1回/日 定期点検 2回/年 ※ただし樹木、雨水排水は1回/年 専門点検(遊具) 1回/年	日常点検 1回/日 定期点検 2回/年 ※ただし樹木、雨水排水は1回/年 専門点検(遊具) 1回/年	◎	◎
	植栽管理 樹木管理 適宜 芝刈り(88,560 m ²) 2回/年 機械除草(223,300 m ²) 1～2回/年 バラ剪定(900本) 夏・冬/各1回	低木剪定 28,439 m ² 芝刈り(88,560 m ²) 514,697 m ² 機械除草(223,300 m ²) 378,070 m ² バラ剪定(2,500本) 4,759本	◎	◎
	警備 園内巡視 2回/日 管理事務所等建物警備(機械警備)	園内巡視 2回/日 管理事務所等建物警備(機械警備) 繁忙期には駐車場に警備員を配置し事故防止に努めた。	◎	◎
	小規模修繕 公園スタッフによる早期修繕 専門業者による委託修繕	公園職員による修繕措置を迅速に実施し、即時対応できないものについては、応急処置及び利用者への周知などによる安全対策を行ったのち、専門業者へ依頼した。	○	○
	法定点検の実施 電気設備(月次) 1回/月 電気設備(年次) 1回/年 空調機器(簡易) 4回/年 消防設備 2回/年	電気設備(月次) 1回/月 電気設備(年次) 1回/年 空調機器(簡易) 4回/年 消防設備 2回/年	◎	◎
運営 業務	開館日・開館時間等 公園内施設の開園日は、1月4日から12月28日(火曜日を除く。)開園時間は、9時から17時。その他については、常時開園を行う。	基本的には計画どおりの開園日、開園時間としたが、バラの見頃期間中には火曜日も開園した。また、運動施設の大会利用等には、運営側と協議の上、開門時間を早める等、来園者のニーズに応えた対応を行うことができた。	◎	◎

	公共性・公平性の確保	高齢者や障害者、幼児等、すべての利用者が公園を活用できる環境づくりを行う。	高齢者、障害者が快適に公園を利用できるよう、特に利用の多い管理事務所及び四季の庭サービスセンターに車いすやベビーカーを配置するなど公園利用の公平性に努めた。また、管理事務所に授乳室を設けるなど、公共性の確保を行った。	◎	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	さくらまつり 新緑・こどものまつり 春のばらまつり 夏・ツル・冬のバラ剪定講習会 播中あるこうかい はりちゅうの日 バラの達人養成講座 他	さくらまつり 中止 4/2～4/10 新緑・こどものまつり 5/3～5/5 春のばらまつり 5/14～5/29 秋のばらまつり 10/15～10/30 バラ剪定講習会 8/27、12/3、1/28 播中あるこうかい 10/16・3/19 はりちゅうの日 11/20 昆虫大捜査線 4/23 花と緑の教室 4/16 他計10回	○	○
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	施設、サービス等に関する、苦情・要請・満足度を把握するために、公園利用者に対して「利用満足度調査」を実施する。	常時設置型241人、イベント177人の2種に分け、計418人から回答を得た。次年度は調査結果を参考によりよい評価を得るよう努力していきたい。	◎	◎
利用状況	利用者数	利用促進のためのイベント等を実施するとともに、新聞記者発表、県広報、雑誌掲載、ダイレクトメールの送付などによる、公園及びイベントのPRを行い、利用者数の増加を図る。 [前年度:434,376人]	令和4年度来園者数実績 464,880人 イベント中止はあったが、5月のゴールデンウィークには多くの来園者に利用いただき、安心して利用していただけるよう、感染予防措置も十分に行うとともに、来園者に感染防止の呼びかけを行い、来園者数の回復に努めた。	◎	◎
	施設稼働率	利用料金が無料である、当公園運動施設の適切な維持管理を実施するとともに、コンサート等イベント誘致による野外ステージの利用促進を図る。 [前年度稼働率] 野球場:28.5% 球技場:18.9% アーチェリー場:48.8%	新型コロナウイルスの影響もあったが、野球場で大会も行われたため、若干利用者数が回復した。 [稼働率] 野球場:23.3% 球技場:12.3% アーチェリー場:47.0%	○	○

収支状況	収支計画と実績の比較	収入の部 106,503 千円 指定管理料 105,800 千円 利用促進事業 703 千円 支出の部 106,503 千円 収支差額 0 千円	収入の部 106,774 千円 指定管理料 105,909 千円 利用促進事業 865 千円 支出の部 106,775 千円 収支差額 19 千円	○	○
	経費削減に向けた取組	効率的な維持管理を徹底して行い、経費の節減に努める。	当公園は、H19年から直営による作業を実施しているが、さらなる作業の直営化とその作業の効率化、高品質化を目指して各種研修会に担当職員を参加させた。その結果、効率の良い維持管理作業を実施することができ、経費の節減に繋がった。	○	○
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	来園者から苦情・要望を受けた場合には、内容を記録して職員間に回覧することで、情報の共有化をはかるとともに対応に遺漏がないようにする。特に重要なものについては、県にその都度報告し、軽微なものについては四半期報告会で報告する。	問合せ等の内容に応じて、所内及び関係機関と迅速に協議し、対応が必要なものについては、指定管理者の業務に関しては当協会より、それ以外の公園施設等に関するものについては、県に対応を依頼した。	○	○
	危機管理体制の確保	危機管理マニュアルに基づく、「事故等の未然防止」をスローガンに、安全かつ安心して利用できるように努める。	日常の巡視、点検のほか、定期点検や専門点検を行い、危険箇所等を早期に発見し、事故等の未然防止を行うとともに、けが人が発生した際には、救護を行い、必要に応じ救急車等の要請を行った。	◎	◎
	県・関係機関との連携	県・関係機関との間に、通常時及び緊急時等における連絡体制を確立する。	連絡体制を確立し各関係機関との連携を密に取ることで、公園の情報を共有することができた。また、緊急時においても、連絡体制により確実に県等関係機関と連携し、対応を行うことができた。	◎	◎
	業務の再委託の状況	①受変電設備点検 ②消防設備点検 ③有害鳥獣捕獲委託 ④ばら園除草作業他 ⑤トイレ内園内清掃 ⑥機械警備 他	計画どおり公園維持管理に関する業務の委託を行った結果、円滑な公園の維持管理が達成できた。	◎	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

概ね管理水準以上、実施計画に基づく管理運営を実施することができた。また、アンケート調査においても、各項目において肯定的な評価を得ており、適正な公園管理を実施することができたと考える。来年度も、高い評価を維持できるよう適切な業務を実施していく事を目標にする。

令和4年度 総合評価シート

評価者：北播磨県民局加東土木事務所

施設名	播磨中央公園	現指定管理期間	令和2年～6年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○施設維持管理業務

日常の保守点検・警備・修繕業務等は適切に実施しており、特に、低木剪定、芝刈等の植栽管理や小川、噴水の清掃等は事業計画を超える維持・管理を行っている。また、花壇の植栽管理については、指定管理者が育成しているボランティアを活用して効果的な維持・管理を行っている。

その結果、利用者満足度調査(常設のアンケート)では、公園の印象、植栽の手入れ、公園の景観、について、80%を超える満足度(「満足」「やや満足」を合わせて)を得ている。

○運営状況及び利用状況

さいくろらんどリニューアル工事を行ったことで、工事期間中にあたる7月から9月の来園者数は昨年度を下回ったが、新型コロナウイルスの影響により中止していたイベントの多くが再開し、来園者が増加したことにより、年間の利用者数は46万4千人(前年43万4千人)と対前年度比107.02%となっている。

令和5年度も感染予防措置を講じながら、新たな利用者の発掘に向けた取り組みに期待したい。

○収支状況

植栽管理研修、維持管理作業研修及び遊具点検技能研修等を通じ、維持管理業務の直営化と効率化を図り、経費削減に努めている。

○運営体制

維持管理及び運営業務に必要な資格または研修を受講した職員を配置するなど、適切な運営体制が取られている。

また、日常の巡視、点検等により危険箇所の早期発見と迅速な修繕を行うとともに、苦情や要望を所内及び関係機関と協議・対応し、事故等の未然防止に努めている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

令和5年度も感染予防措置を講じながら、新たな利用者の発掘に向けた取り組みをされたい。

なお、利用者満足度調査について、概ね高い評価を得ているが、広報に関する満足度が他の項目と比較して若干低いことから、今後、SNSやHP等をより充実し、情報発信の強化に努めてもらいたい。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
	A	A		

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	あわじ石の寝屋緑地	現指定管理期間	令和4年～8年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
維持 管理 業務	清掃	管理事務所(日常清掃):1回/日 管理事務所(定期清掃):2回/年 便所清掃:2回/週 工作物清掃:適宜 園内清掃(日常清掃):3回/週 雨水排水施設清掃:適宜	管理事務所(日常清掃):360回 管理事務所(定期清掃):3回 便所清掃:360回 工作物清掃:12回 園内清掃(日常清掃):360回 雨水排水施設清掃:27回	○	◎
	設備保守管理	建築物:(日常)1回/日 (定期)2回/年 樹木_中高木:(日常)1回/日 (定期)1回/年 工作物:(日常)1回/日 (定期)2回/年 雨水排水設備:(日常)1回/日 (定期)1回/年 給水設備:(日常)1回/日 (定期)1回/年 電気設備:(日常)1回/日 (定期)2回/年 トイレ設備:(日常)1回/日 (定期)2回/年 棚田管理:適宜 施設修繕:適宜	建築物:(日常)360回 (定期)2回 樹木_中高木:(日常)360回 (定期)2回 工作物:(日常)360回 (定期)2回 雨水排水設備:(日常)360回 (定期)2回 給水設備:(日常)360回 (定期)2回 電気設備:(日常)360回 (定期)2回 トイレ設備:(日常)360回 (定期)3回 棚田管理:20回 施設修繕:28回	◎	◎
	植栽管理	自然樹林伐採・間伐:適宜 自然樹林枯損木処理:適宜 高木剪定:適宜 中低木剪定:適宜 施肥(高木):適宜 施肥(中低木):適宜 病虫害防除:適宜 芝刈:4回/年 芝施肥:適宜 エアレーション:適宜 目土掛け:適宜 ブラッシング:適宜 除草:適宜 灌水:適宜 機械除草:1~3回/年 人力抜根除草:適宜	自然樹林伐採:38本 自然樹林枯損木処理:75本 高木剪定:0本(対象なし) 中低木剪定:700本 施肥(高木):2本 施肥(中低木):350本 病虫害防除:0本(対象なし) 芝刈:28,000㎡ 芝施肥:4,000㎡ エアレーション:0㎡(必要なし) 目土掛け:0回(必要なし) ブラッシング:0回(必要なし) 除草:7回 灌水:1回 機械除草:54,070㎡ 人力抜根除草:12回	◎	◎

	警備	昼間は1日に1回の園内巡回を実施。 夜間は管理事務所の機械警備を専門業者に委託。	昼間は巡回員による巡回を1日1回実施。 夜間及び休業日は機械警備や専門業者に委託し安全を確保した。	○	◎
	小規模修繕	公園スタッフによる修繕を原則とし、対処できない案件については、応急処置または使用禁止等利用制限を行い安全を確保して、専門業者へ委託。	公園施設の日常点検、6ヶ月毎の定期点検、巡回時発見した修繕箇所を中心に、公園スタッフによる直営修繕を行い、安全安心の確保、設備等の性能維持に努めた。	○	◎
	法定点検の実施	—	—	—	—
運營業務	開館日・開館時間等	公園は常時開園 管理事務所の窓口業務等は1月4日から12月28日までの9時から17時まで。	公園は常時開園 管理事務所の窓口業務等は、1月4日から12月28日の9時から17時まで。	○	◎
	公共性・公平性の確保	全ての来園者に平等・公平・公正な利用機会を提供するためユニバーサルサービスを基本とし、高齢者や障害者、幼児への配慮についても可能な限り対応。	来園者の目線に立って業務を行うため、スタッフに対し「おもてなし研修」を実施した。 巡回時には、職員と利用者がふれあう機会を増やすため、挨拶・声掛けなどとともに、利用指導も行った。	○	◎
	各種事業・プログラムの実施状況	学校等との連携により、自然環境を活かした環境学習を実施。ボランティア団体等と連携・協力し、公園の利用増進を図るイベントを実施。	○学校等との連携による環境学習等 ・石屋小学校の環境体験学習を実施(2回) ・ボランティアと連携し、環境学習事前調査(1回) ・生き物植物調査等を実施(4回) ・キノコ・苔観察会 ・いきものたんぼであそぼう ・夜の昆虫大捜査線(試行) ・いきものたんぼを楽しむ親子ウォッチング ・渡りの探鳥会 ・公園主催の秋のハイキング	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	利用者の満足度状況を把握するため、毎年定期的にアンケートによる「利用満足度調査」を行い、また、各種プログラム、イベント開催時にも適宜モニタリング調査を幅広く実施し、サンプルを取って利用者の要望を把握します。	公園利用アンケート調査結果は67件、イベントアンケート調査は対象イベントが新型コロナウイルス感染症のため中止となった。	○	○
利用状況	利用者数	目標年間来園者数 18,000人 [前年度:19,094人]	実績年間来園者数 20,160人	◎	◎
	施設稼働率	—	—	—	—

収支状況	収支計画と実績	収入の部 18,742 千円 (指定管理料 18,742 千円) 支出の部 18,742 千円 収支差額 0 千円	収入の部 18,762 千円 (指定管理料 18,742 千円) 支出の部 18,636 千円 収支差額 126 千円	◎	◎
	経費節減に向けた取組	経費節減を意識した効率的、効果的な管理運営	芝生管理、除草作業等の直営実施 簡易な修繕の直営実施	◎	◎
運営体制	苦情要望等の対応体制・内容	電話、意見箱、Eメール、園内などで随時受け付け	利用者等から苦情・要望を受けた場合には、内容等を記録して事務所内で閲覧するとともに、情報の共有化を図り、遺漏がない納得のいく体制をとった。	○	○
	危機管理体制の確保	公園管理マニュアル、実施計画書に基づく対応、緊急時の連絡体制確立	緊急連絡網等を常に更新して配付し、スタッフに危機管理意識の醸成を図った。またコロナウイルス感染症対策として適宜来園者に対して周知を図りトイレには石鹼水や消毒液の配置を行った。	○	○
	県・関係機関との連携	常に洲本土木事務所や関係機関（ハイウェイオアシス等）との連携を取り、緊急時など密に連絡を取り合い対策を講じる。	洲本土木事務所等と密接に連絡を取り、施設の修繕等に適切な対策を講じるとともに、淡路島公園・あわじ石の寝屋緑地運営懇話会を開催し、ボランティア団体やハイウェイオアシス・洲本土木事務所とイベント情報等の共有を図った。	○	◎
	業務の再委託の状況	公園スタッフで対応しきれない維持管理業務や点検・警備については、必要に応じ専門業者へ一部委託。	当初事業計画どおり、公園スタッフで対応しきれない維持管理業務や点検・警備については、必要に応じ専門業者へ一部委託。	○	◎

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

【総合的な自己評価】

これまでの当緑地の管理経験を生かし、関係機関と連携を図りました。また、新型コロナウイルス感染症対策として適宜来園者に対しても周知し適正な運営管理を行うことができた。

【来年度の取組目標・課題等】

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまで、「新型インフルエンザ等感染症」としていたが、令和5年5月8日から「5類感染症」になる影響で緑地以外への外出が増えることを考慮し入園者は過去の来園者並みになることを見込んでいる。

あわじ石の寝屋緑地では、自然環境を保全しつつ利用促進を図ることが課題で、特に「いきものたんぼ」は、1年を通して水を張り水生生物や植物を保全するよう管理することで、環境体験学習ができる場となるよう努める。

また、最近頻発している自然災害、危険個所への立入、危険な動植物（イノシシ・スズメバチ・マムシなど）が多く生息するなどあらゆる危険への安全管理対策が課題である。

令和4年度 総合評価シート

評価者：淡路県民局洲本土木事務所

施設名	あわじ石の寝屋緑地	現指定管理期間	令和4年～8年(5年間)
指定管理者	(公財)兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

○維持管理業務

清掃、設備保守管理、公園の大部分を占める植栽管理等年間を通じて計画どおり適正に実施されている。満足度調査において、「植栽の手入れ」については約95%（無回答を除く）、「施設の管理状況」についても来園者が満足しており、高い評価が得られている。

○運營業務

新型コロナウイルス感染症の影響もある中、ボランティア団体や学校等と連携した環境体験学習の実施、公園主催の秋のハイキングを実施する等、公園の魅力をPRするイベントや緑地の自然環境を生かした事業が実施されている。また、新たな試みとして、夜の昆虫大走査線を試行的に実施し、子供から大人まで楽しめるイベントとして意欲的に取り組んでいる。

○利用状況

来園者数は前年度の約19千人、目標である18千人を上回る20千人超となり、増加している。

○収支状況

直営での施設修繕に努めるなど、経費削減が図られている。

○運営体制

県や関係機関とも密に連携し、苦情対応や安全対策等適切に運営されている。利用者満足度調査では、「(施設の) 使いやすさ」については約88%（無回答を除く）、「安全(面)」については約86%（無回答を除く）と高い評価を得られている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

○危険箇所への立入り、危険動植物に対する安全管理対策を検討すること。

○遊歩道の要補修箇所の点検と修繕対応。

○ナラ枯れにより落枝・倒木対策と利用者への安全確保対策について、検討すること。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
S				

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県営住宅(神戸市西区・明舞地区)	現指定管理期間	平成31～令和5年(5年間)
指定管理者	TC 神鋼不動産サービス(株)	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
サービスの質向上のための取組	各種審査の厳正な運用	業務を「見える化」して各種審査を適正に行う	各審査はマニュアル、フローチャート等を活用した。また、複雑で判断に迷う事案については、過去事例等を参照しつつ、県担当部署と協議の上、対応方法を決定した。	◎	◎
	住民や入居希望者からの問い合わせに対する対応	入居者目線に立ち、入居者等から問合せに迅速に対応する	各職員が入居者等の視点に立ち、傾聴することにより迅速かつ丁寧に対応した。 ・生活相談…9,927件 ・苦情相談…105件 ・住宅相談…1,985件	◎	◎
	効果的・効率的な管理運営	県営住宅管理で構築した独自システムを最大限に活用	住宅修繕履歴が蓄積された工事発注指示書発行システム活用することにより、住宅修繕履歴を一覧で確認でき効果的な修繕方法の検討と迅速な対応を行った。	◎	◎
	社会的弱者(高齢者、障害者、外国人など)に寄り添った対応	きめ細やかな対応と関係機関および自治会・地域との連携による社会的弱者に寄り添った対応を行う	75歳以上に限らず、希望される65歳以上の単身者も見守り訪問を行った。 ・訪問回数…28,632回	◎	◎
	市町福祉部局などとの連携	関係機関と連携した対応を行う	保健福祉課、あんしんすこやかセンター、障害者支援センターを交えて地域ケア会議を実施した。	◎	◎
施設の維持管理	空家の管理	通水、動作確認、汚損箇所の点検など	日常管理として、必要に応じて封水や通風、及び鳩糞清掃等を実施し、適正な空家管理を実施した。また、入居前に通水を含む設備の点検・補修を実施した。	◎	○
	法定点検	建築物・建築設備点検	規定の項目及び点検方法に従い実施し、点検結果をまとめて報告した。	◎	◎

		防火設備点検	法令の定めに従い、専門業者による法定点検を実施した。		
設備保守管理		遊具点検	38 団地 401 か所を点検した結果、危険箇所 3 か所について安全措置を講じた。		
		団地巡回異常点検	生活サポーターが日々の巡回点検により発見した危険箇所等について、安全措置及び補修工事を実施し適正に管理した。	◎	◎
		消防設備点検	専門業者から報告を受けた不備箇所について、緊急度に応じて補修等改善を行った。		
		空家補修工事	戸数、内容、コスト低減策など	◎	◎
清掃		排水管洗浄、小動物等による汚損箇所の点検	<ul style="list-style-type: none"> ・雑排水管清掃…100%完了した。 ・不法投棄(家電・タイヤ・家庭ゴミ)処理を実施した。 ・共用部、空家のハト糞処理を速やかに実施した。 	◎	◎
植栽管理		高木剪定、草刈り	<ul style="list-style-type: none"> 高木剪定・法面の草刈りは自治会と事前に調整を行い、計画的に実施した。 ・高木剪定…29 か所 ・法面草刈…38 か所 	○	○
駐車場管理		外部開放の推進状況など	<ul style="list-style-type: none"> ・コインパーキング設置…南多聞台第 7 住宅(5 区画)、玉津今津高層(7 区画)、南多聞台第 2 鉄筋(5 区画) ・業者貸し…玉津今津鉄筋(2 区画)、玉津今津高層(1 区画) 	◎	◎
小規模修繕		一般修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・件数…975 件 ・内容…給湯器取替、ロータンク破損復旧、緊急通報システム異常等 	◎	○
		緊急修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・件数…75 件 ・内容…水漏れ、雨漏れ 外壁剥落等 		

運營業務	組織体制	緊急対応、夜間休日対応を含む体制	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ…21名 ・開所日時 (平日) 月～金 9:00～18:00 (土曜) 第1、第3 10:00～17:00 (日曜) 第2、第4 10:00～17:00 (祝祭日)年末年始を除く 10:00～17:00 ・夜間休日はコールセンターが初期対応を行った。 年間:171件 	◎	◎
	公共性・公平性の確保	公開による公平な抽選の実施	毎月、第三者に立会人となってもらい厳正に抽選を行った。	◎	◎
		入居者間に生ずる紛争等への対応	騒音、ペット飼育等の紛争は、双方の主張を聴取するだけでなく、個人情報に配慮しつつ、近隣住民や自治会等にも意見聴取し、紛争解決のための提案や迷惑行為者に対する厳正な対処を行った。		
	収納業務	家賃収納率、督促、目標収納率に対する実績など	3か月以上滞納者の上申手続き及び短期滞納者に対する督促を速やかに実施した結果、令和5年度末時点の目標収納率(現年度)98.70%を上回り99.68%となった。	◎	◎
	団地自治会への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納等で共益費の徴収が困難な自治会について、担当者が同行し共益費の徴収を促進・支援する。 ・団地及び地域コミュニティの活性化と集会所等施設の有効活用のため、各団地自治会と連携し、イベントを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3団地で共益費徴収自治会支援を実施した。 ・空き駐車場をコミュニケーション広場として活用しイベント実施を支援した(明舞北鉄筋)。 ・留学生との交流のため、バン格拉ディッシュ料理の食事会を実施した(明舞北鉄筋)。 	◎	◎
個人情報の管理状況	個人情報の取扱いにより、個人の権利利益を侵害することがないように厳正に対処する。個人情報管理規程を定めるなどマニュアル等を整備し、所長を責任者と定めて、管理事務所での個人情報管理体制を敷く。	個人情報保護法等の法令及び兵庫県の保管期限一覧表に従い、適切に個人情報を保管管理した結果、トラブルは発生しなかった。	◎	◎	

<p>利用者満足度調査結果 (アンケート調査)</p>	<p>県営住宅入居者満足度調査で住民より高評価を得る。</p> <p>スタッフ対応不満足度 昨年:1.7%</p>	<p>前年度のアンケート結果を参考にして、より一層の入居者サービスを心掛けた結果、令和4年度のスタッフ対応不満足度はゼロ%であった。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>業務の再委託の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物・建築設備点検 ・各住宅警報設備 ・休日夜間対応 ・駐車場管理委託 	<p>すべての項目において、1年ごとに契約更新を行い、継続して適正な業務を実施できる体制を整えている。</p>	<p>◎</p>	<p>◎</p>
<p>独自提案の進捗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明舞まちづくり活性化イベントへの参画 ・団地・個人表彰の実施 ・ミニコミ誌の発行 ・出張出前講座の実施 ・災害時の救援物資の備蓄 ・出張収入申告相談会の実施 ・園芸を活用した自治会支援 ・高齢者世帯への寄り添いサポートを推進 ・自治会の共益費督促に協力 	<p>積極的に自治会と意見交換を行ないつつ各種イベント等で自治会支援に取り組んだ。</p> <p>具体的な事例は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明舞まちづくり活性化イベントへの参画 →明舞まちづくり活性化イベントとして「わくわくカブトムシ作戦」を兵庫県立大学と共同開催した。 ・団地・個人表彰の実施 →2団地を表彰した。 ・ミニコミ誌の発行 →2回発行し、全戸に配布した ・「出張出前講座」等を12団地で実施した。 ・災害時の救援物資の備蓄 →ブルーシートや救助用ロープ等を備蓄 ・出張収入申告相談会の実施 →1団地で実施した。 ・園芸を活用した自治会支援 →園芸セラピーを2団地で実施した。 ・高齢者世帯への寄り添いサポートを推進 →「安心カード」の配布及び65歳以上で希望する単身高齢者の見守りを実施した。 ・自治会の共益費督促に協力 →3団地で実施した。 	<p>◎</p>	<p>○</p>

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

【総合的な自己評価】

所管する地区の県営住宅について、長年の経験とノウハウ等を活かしたことにより、実施すべき目標を適切に達成できた。また、住民からの問い合わせ、苦情、要望等についても事務所全体で迅速かつ適切に対応したことから、利用者満足度調査結果(アンケート調査)のスタッフ対応不満足度はゼロという高評価をいただいた。

【来年度の取組目標・課題等】

- ・指定管理期間最終年度となることから、引き続き、指定管理者に応募した際の提案書(事業計画書)に記載した内容を確実に実施し、入居者満足度の更なる向上に向けて取り組みたい。
- ・苦情や迷惑行為等については、(県)公営住宅管理課と速やかに情報共有を図るとともに、担当者任せにせず、過去の解決事例等を参考にしながら、事務所が一丸となって対応する。
- ・滞納整理事務については、滞納者の督促や納付指導を管理業務水準書及び滞納整理事務処理要綱等に従って確実に実施するとともに、滞納者の状況(生活実態、経済状況等)を把握し適切な督促を行い、目標収納率を達成する。

令和4年度 総合評価シート

評価者：まちづくり部公営住宅管理課

施設名	県営住宅(神戸市西区・明舞地区)	現指定管理期間	平成31～令和5年(5年間)
指定管理者	TC 神鋼不動産サービス(株)	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・規模の大きい修繕や案件が数件あったが、迅速に対応・処理を進めていた。
- ・全般的に入居者に寄り添った丁寧な対応を行っており、県との情報共有を密に行っている。
- ・空家補修費について、指定管理6地区のうち戸当たり単価が最も低く、低減に努めている。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

特になし

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
		A	S	

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県営住宅(阪神南地区)	現指定管理期間	平成30年～令和4年(5年間)
指定管理者	(株)東急コミュニティー	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
サービスの質向上のための取組	各種審査の厳正な運用	要綱・水準書に則り遂行	遅滞なく実施 ・決裁書類については、トリプルチェックにて対応。	◎	◎
	住民や入居希望者からの問い合わせに対する対応	問合せ体制構築及び接遇意識向上	担当業務で不明点等あれば、責任者へ相談。必要に応じて兵庫県へ相談・報告の徹底を図った。 特殊案件等、センター内研修にて事例の共有を図った。 外部講師による接遇研修実施。	◎	○
	効果的・効率的な管理運営	独自システムの運用及び指定管理者内の情報共有	オンラインを用いて当社の指定管理する他自治体との事例共有。	◎	◎
	社会的弱者(高齢者、障害者、外国人など)に寄り添った対応	高齢入居者に対する配慮	ふれあいサービスの実施 訪問回数:4,656/月平均 世帯数:2,305 世帯 認知症・防犯講習の実施(令和4年度はコロナの影響で資料配布にて代替) 窓口に筆談用のボードを設置。点字の名刺活用。	◎	◎
	市町福祉部局などとの連携	安否確認等による連携	各市厚生課、消防、警察地域包括支援センター等と連携・尼崎市主催の地域ケア会議に出席。 西宮市高齢者見守り協力事業者に登録。	◎	◎
施設の維持管理	空家の管理	通水、動作確認、汚損箇所 の点検など	補修完了後入居までに全物件検査実施	◎	◎
	法定点検	建築物・建築設備点検	建築設備定期検査 71 物件	◎	○
		防火設備点検	防火設備定期検査 19 物件		

設備保守管理	遊具点検	月 1 回実施の上、年 1 回点検報告書提出		
	団地巡回異常点検	地区管理員にて定期巡回時点検実施		
	消防設備点検	消防設備点検 69 物件		
	ロボットゲート保守点検	ロボットゲート保守実施 西宮高須鉄筋住宅 (2ヶ月/回) 西宮真砂高層住宅(毎月) 西宮浜高層住宅(毎月) 南芦屋浜高層住宅 (6ヶ月/回)	◎	◎
	緊急通報システム実施	総合警備保障と 4 物件契約 (西宮浜松原住宅、尼崎西川第 2 住宅、西宮樫塚住宅、西宮今津住宅)		
空家補修工事	戸数、内容、コスト低減策など	1,351 件 ・多能工(一社で複数の工事を一括実施できる事業者)を活用することにより、工期短縮や間接経費の圧縮を図っている。 ・毎月見積合わせを実施し、過度な修繕を削減している。	◎	○
清掃	排水管洗浄、小動物等による汚損箇所の点検	排水管洗浄全団地実施	◎	◎
植栽管理	高木剪定、草刈り	草刈り:3 団地 高木剪定:36 団地	◎	◎
駐車場管理	外部開放の推進状況	時間貸し:38 区画 カーシェア:2 区画 予約駐車場:0 区画 ※団地数は、4 団地	◎	○
小規模修繕	一般修繕	件数:1,299 件 内容:給湯器等交換工事 ・上階漏水調査・復旧作業 ・共用灯交換工事 等	◎	○
	緊急修繕	件数:69 件 内容:台風被害復旧工事 ・屋上漏水調査復旧作業等		
組織体制	緊急対応、夜間休日対応を含む体制	営業時間: AM9 時~PM5 時 30 分 月曜日から土曜日 (祝日年末年始除く) 夜間:弊社コールセンター対応 夜間問合せ件数: 専有部分:83 件 共用部分:204 件 年間合計:287 件	◎	◎

運営業務	公共性・公平性の確保	公開による公平な抽選の実施	立会い人同席の上、公開抽選を実施		
		入居者間に生ずる紛争等への対応	苦情等への対応は、現地確認、聞き取り調査、啓発文書配布又は掲示、訪問指導にて対応	◎	◎
	収納業務	家賃収納率、督促、目標収納率に対する実績	目標収納率:99.21% ※令和5年5月末収納率 家賃収納率:99.69% ※令和5年1月調定3月末収納率(最終年度) 文書督促件数:2,806 隣戸督促件数:2,101 電話督促件数:1,927		
		収納率向上に向けた取り組み	夜間督促及び訪問督促の実施 上申前センター内滞納会議実施(事例共有・滞納解消に向けた督促指導方法等協議)	◎	○
		不正入居対応	・地区管理員にて現地調査・訪問指導等実施。 ・責任者にて履行確認を行い、事務担当・地区管理員との連携を図った。		
	団地自治会への支援	要望に応じて対応	害虫駆除用薬剤搬入(西宮甲子園鉄筋)	◎	◎
	個人情報の管理状況	個人情報取扱ルール徹底	鍵付共用キャビネット保管原則持ち出し不可。業務上必要な場合は、持ち出し記録簿にて上長へ申請の上、許可。	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	入居者アンケート 200 戸配布	117 戸回収 普通より良いと回答割合 自治会活動:96%(+12%) 住戸内補修:75%(-3%) スタッフ対応:97%(+5%) ※()は前年比 前年度より全体的に満足度向上となった。	◎	○
	業務の再委託の状況	当社規定等を活用し適正に再委託先を選定し業務を発注	空家補修工事 1,351 件 見守り緊急対応 駐車場管理 日信防災(株) タイムズ 24(株) 三井不動産リアリティ(株)	◎	◎
	独自提案の進捗	鳥瞰図の作成	63 団地管理センターHP掲載※全団地掲載済(公募停止住宅除く)	◎	△

		オープンハウスの実施	月 1 回実施		
		防災マニュアルの整備	防災マニュアル及びハザードマップを作成し、自治会へ配布（尼崎七松町高層）		

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

最終年度である令和 4 年度の自己評価として、各業務目標の全項目について、目標を達成し、収納率に対しても大幅に目標を達成できた。

令和 5 年度より 2 期目となる為、今まで培ってきた経験を活かし、高齢者対応やコロナで中止となっていた講習会等積極的に開催し、地域コミュニティの活性化を図る。

駐車場の外部開放（空き区画の有効活用）においても、入居者の高齢化等による影響により駐車場の利用率が伸び悩み、駐車場利用料による増収を見込むことが困難である為、積極的に外部開放を進め、増収に貢献したい。

又、新たな提案業務については、実施計画の上、積極的に進めていきたい。

令和4年度 総合評価シート

評価者：まちづくり部公営住宅管理課

施設名	県営住宅(阪神南地区)	現指定管理期間	平成30年～令和4年(5年間)
指定管理者	(株)東急コミュニティー	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・県から案内する補助事業（火災警報器交換など）に積極的に取り組んでいた。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・消防設備点検における、消防からの指導が多く見受けられる。早急な対応をお願いしたい。
- ・個別事案の報告や途中経過の報告がなく、情報共有に欠けることが多い。
- ・入居者アンケートの満足度が公募地区で最低であり、入居者の目線に立った丁寧な対応が求められる。
- ・独自提案について、指定管理期間最終年度であるにも関わらず未達成のものが多い。
- ・不正入居事案に関し、訴訟となる案件については県に事前協議を行う等連携して対応することとしているのかかわらず、一部不適切な事案が見受けられた。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
			B	A

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県営住宅(阪神北地区)	現指定管理期間	平成31年～令和5年(5年間)
指定管理者	株式会社東急コミュニティー	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
サービスの質向上のための取組	各種審査の厳正な運用	要綱・水準書に則り遂行	遅滞なく実施 ・決裁書類については、トリプルチェックにて対応。 ・入居審査は対面にて2人体制で対応を行い、厳正に審査を行っている。	◎	◎
	住民や入居希望者からの問い合わせに対する対応	問合せ体制構築及び接遇意識向上	担当業務で不明点等あれば、責任者へ相談。必要に応じて兵庫県へ相談・報告の徹底を図った。 特殊案件等、センター内研修にて事例の共有を図った。 外部講師による接遇研修実施。	◎	◎
	効果的・効率的な管理運営	独自システムの運用及び指定管理者内の情報共有	オンラインを用いて当社の指定管理する他自治体との事例共有。	◎	◎
	社会的弱者(高齢者、障害者、外国人など)に寄り添った対応	・高齢入居者に対する配慮 ・単身高齢者訪問	ふれあいサービスの実施 訪問回数:約3,273回/月 世帯数:1,578世帯 認知症・防犯講習の実施(令和4年度はコロナの影響で資料配布にて代替) 窓口に筆談用のボードを設置。点字の名刺活用	◎	◎
	市町福祉部局などとの連携	安否確認等による連携	各市厚生課、消防、警察 地域包括支援センター等と連携 地域高齢者対応会議に出席。<西野第6住宅>	◎	◎
施設の維持管理	空家の管理	通水、動作確認、汚損箇所の点検など	補修完了後入居までに全物件検査実施	◎	△
	法定点検	建築物・建築設備点検	建築設備定期検査 45 物件	◎	◎
		防火設備点検	防火設備定期検査 7 物件		
	設備保守管理	遊具点検	月1回実施の上、年1回	◎	△

			点検報告書提出		
		団地巡回異常点検	地区管理員にて定期巡回 時点検実施		
		消防設備点検	消防設備点検 45 物件		
		ロボットゲート保守点検	ロボットゲート保守実施		
		緊急通報システム実施	総合警備保障と 6 物件契約 (宝塚御所ノ前住宅、伊丹 西野第 6 住宅、宝塚安倉 住宅、伊丹野間住宅、宝 塚山本住宅、三田大池住 宅)		
	空家補修工事	戸数、内容、コスト低減策な ど	588 件 ・多能工(一社で複数の工 事を一括実施できる事業 者)を活用することにより、 工期短縮や間接経費の圧 縮を図っている。 ・毎月見積合わせを実施 し、過度な修繕を削減して いる。	◎	○
	清掃	排水管洗浄、小動物等によ る汚損箇所の点検	排水管洗浄全団地実施	◎	◎
	植栽管理	高木剪定、草刈り	草刈り:2 団地 高木剪定:20 団地	◎	◎
	駐車場管理	外部開放の推進状況	管理区画数:87 区画 <R4 追加区画> R4.5 11 区画(西桑津) R4.11 5 区画(荒牧高層)	◎	○
	小規模修繕	一般修繕	件数:891 件 内容:給湯器等交換工事 ・上階漏水調査・復旧作業 ・共用灯交換工事 等	◎	○
		緊急修繕	件数:32 件 内容:台風被害復旧工事 ・屋上漏水調査復旧作業 等		
	組織体制	緊急対応、夜間休日対応を 含む体制	営業時間: AM9 時~PM5 時 30 分 月曜日から土曜日 (祝日年末年始除く) 夜間:弊社コールセンター 対応 夜間問合せ件数: 専有部分:53 件 共用部分:168 件 年間合計:221 件	◎	◎
運 営	公共性・公平性の確保	公開による公平な抽選の実 施	立会い人同席の上、公開 抽選を実施	◎	◎

業務		入居者間に生ずる紛争等への対応	苦情等への対応は、現地確認、聞き取り調査、啓発文書配布又は掲示、訪問指導にて対応		
	収納業務	家賃収納率、督促、目標収納率に対する実績	目標収納率:99.32% ※令和5年5月末収納率 家賃収納率:99.86% 文書督促件数:2,466 隣戸督促件数:1,993 納付指導件数:1,013	◎	○
		収納率向上に向けた取り組み	夜間督促及び訪問督促を例年以上に積極実施 上申前センター内滞納会議実施(事例共有・滞納解消に向けた督促指導方法等協議)		
		不正入居対応	・地区管理員にて現地調査・訪問指導等実施。 ・責任者にて履行確認を行い、事務担当・地区管理員との連携を図った。 ・前期の反省より、兵庫県訟務班との現地連携を積極的に実施		
	団地自治会への支援	要望に応じて対応	建替えにおいて、自治会に替わり抽選会等を積極的に実施	◎	◎
	個人情報の管理状況	個人情報取扱ルール徹底	鍵付共用キャビネット保管原則持ち出し不可。業務上必要な場合は、持ち出し記録簿にて上長へ申請の上、許可。	◎	◎
	利用者満足度調査結果(アンケート調査)	入居者アンケート 120 戸配布	117 戸回収 普通より良いと回答割合 自治会活動:90%(±0%) 住戸内補修:85%(+5%) スタッフ対応:95%(+1%) ※()は前年比 前年度より全体的に満足度向上となった。	◎	○
	業務の再委託の状況	当社規定等を活用し適正に再委託先を選定し業務を発注	空家補修工事 588 件 見守り緊急対応 駐車場管理 日信防災(株) タイムズ 24(株)	◎	◎
	独自提案の進捗	鳥瞰図の作成	全団地掲載に向けて履行中	◎	△
		駐車場の外部開放提案	月極・カーシェア実施		
防災マニュアルの整備		防災意識を高める書類を作成し、自治会へ配布			

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

令和4年度の自己評価として、各業務目標の全項目について目標を達成し、特に収納率においては大幅に目標達成する事が出来た。

令和5年度は最終年度となる為、今まで培ってきた経験を活かし、高齢者対応やコロナで中止となっていた講習会等積極的に開催し、地域コミュニティーの活性化を図る。

駐車場の外部開放(空き区画の有効活用)においても、入居者の高齢化等による影響により駐車場の利用率が伸び悩み、駐車場利用料による増収を見込むことが困難である為、引き続き積極的に外部開放を進め、増収に貢献にしたい。

又、新たな提案業務については、実施計画の上、積極的に進めていきたい。

令和4年度 総合評価シート

評価者：まちづくり部公営住宅管理課

施設名	県営住宅(阪神北地区)	現指定管理期間	平成31年～令和5年(5年間)
指定管理者	(株)東急コミュニティー	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

・年度当初から後半にかけて、入居者からの苦情が徐々に減るとともに、県との情報共有が密になっていった。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・緊急通報装置の異常にかかるトラブルでの、入居者問い合わせが多い。
- ・独自提案について、未達成のものが多い。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
		B	A	

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県営住宅(東播磨地区)	現指定管理期間	令和4年～令和8年(5年間)
指定管理者	TC神鋼不動産サービス(株)	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課
サービスの質向上のための取組	各種審査の厳正な運用	業務を「見える化」して各種審査を適正に行う	要綱要領・マニュアル・フローチャート等を活用し適正に行った。判断に迷う事案については県担当と協議の上対応した。	◎	◎
	住民や入居希望者からの問い合わせに対する対応	住民や入居希望者の目線に立ち、誠実に迅速に対応する	生活相談 10,929 件 苦情相談 1,968 件 住宅相談 18,684 件	◎	◎
	効果的・効率的な管理運営	県営住宅管理で構築した独自システムを最大限に活用	住宅修繕履歴が蓄積された工事発注指示書発行システムを活用することにより、効果的な修繕方法の検討と迅速な対応を行った。	◎	◎
	社会的弱者(高齢者、障害者、外国人など)に寄り添った対応	きめ細やかな対応と関係機関及び自治会・地域との連携による社会的弱者に寄り添った対応を行う	筆談器や翻訳アプリの活用、関係機関等のご自宅訪問などの対応を行った。 単身高齢者訪問 33,102 回	◎	◎
	市町福祉部局などとの連携	関係機関と連携した対応を行う	高齢者支援室、地域包括支援センターと情報交換会を実施した。	◎	◎
施設の維持管理	空家の管理	通水、動作確認、汚損箇所の点検など	日常管理として、必要に応じて封水や通風、及び鳩糞清掃等を実施した。入居前には通水、動作確認を含む設備の点検・補修を実施した。	◎	◎
	法定点検	建築基準法第 12 条に基づく建物及び設備の点検	全団地を 3 年に 1 回の周期で毎年 3 分の 1 の団地を実施、今年度分も完了	◎	◎
		防火設備点検	毎年全団地実施		
設備保守管理	遊具点検	生活サポーターによる日常点検、及び業者による年 1 回の定期点検を行った。	○	○	

		団地巡回異常点検	生活サポーターによる巡回で発見した異常に対して、補修工事を実施した。また危険箇所については、速やかに安全措置を行い県担当者に報告した。		
		消防設備点検	専門業者から報告を受けた不備箇所について、緊急度に応じて補修等の改善を行った。		
	空家補修工事	戸数、内容、コスト低減策など	業種別、業者別に協定単価を定め、補修品質を保持しつつ、実施に悩む箇所については都度協議し補修費の低減に努めた。	○	○
	清掃	排水管洗浄、小動物等による汚損箇所の点検	排水管洗浄は年度計画通りに全団地実施した。汚損箇所は日常点検や入居者からの報告等により適時清掃など行った。	◎	○
	植栽管理	高木剪定、草刈り	高木剪定 33団地 草刈り 12団地 害虫駆除 8団地	○	○
	駐車場管理	外部開放の推進状況など	外部開放の推進に取り組み、区画数151区画から182区画に増加した。(新規は、平岡6区画・高砂5区画・伊保5区画・貴崎7区画、追加は、大久保(第2)6区画・河原2区画)	◎	◎
	小規模修繕	一般修繕	346件 高木剪定や駐車場ライン引きなどの共用部分、給湯器交換や建具修繕などの専有部分		
		緊急修繕	1014件 外壁爆裂対応や屋上防水シート破損などの共用部分、トイレ部品破損や漏水補修など専有部分	◎	○
運営業務	組織体制	緊急対応、夜間休日対応を含む体制	2事務所体制(35名+@) 営業時間 平日 8:30~18:00 隔週土日、及び祝日 10:00~17:00 夜間・休日は日立コールセンター対応	◎	◎
	公共性・公平性の確保	公開による公平な抽選の実施	抽選会では必ず第三者が立ち合い厳正且つ公正な抽選を実施した。	◎	◎

		入居者間に生ずる紛争等への対応	騒音等の迷惑行為の苦情など紛争に対して、双方からは当然、近隣住民や自治会等からも意見聴取し、公正中立な立場から解決に努めた。県担当者への報告、相談を行った。		
収納業務		家賃収納率、督促、目標収納率に対する実績など	1ヶ月滞納者への督促、2ヶ月滞納者への督促、3ヶ月滞納者の上申を確実に実施し、収納率過去最高の99.78%を達成した。	◎	○
団地自治会への支援		地域コミュニティの活性化 共益徴収の協力	2団地で園芸セラピー、1団地でオレンジサポーター養成講座を実施した。共益費を滞納している入居者宅へ、自治会役員と共に説明、及び徴収へ出向いた。	◎	◎
個人情報の管理状況		個人情報の取り扱いにより、個人の権利利益を侵害することがないように厳正に対処する。個人情報管理規定を定めるなどマニュアル等を整備し、所長を責任者と定めて、管理事務所での個人情報管理体制を敷く	個人情報保護法等の法令及び兵庫県の保管期限一覧表に従い、適切に個人情報を保管管理した結果、トラブルは発生しなかった。	◎	◎
利用者満足度調査結果 (アンケート調査)		入居者アンケート実施	自治会長、及び役員へ209件配布し165件回収した。全体評価で、大変良い、及び良いが34.7%、悪い、及び大変悪いが11.8%であった。	○	○
業務の再委託の状況		駐車場管理委託	58/64自治会へ委託	◎	◎
独自提案の進捗		入居率向上に向けて積極的に取り組む。 団地表彰の実施。 ミニコミ誌の発行 安全安心カードの配布	専用ホームページを随時更新 募集チラシの配布 定時募集応募0住宅の常時募集切り替え 辞退理由の分析と対策 3団地実施 夏と冬の年2回発行 65歳以上の新規入居者、及び希望者への配布	○	△

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

【総合的な自己評価】

- ・長年の経験とノウハウ等を活かしたことにより、実施すべき目標を達成できた。また、2事務所での対応により、住民からの問い合わせ、苦情、要望について迅速に対応できた。
- ・外部開放区画を目標以上に増加することが出来た。

【来年度の取組目標・課題等について】

- ・入居者アンケートの結果が芳しくなかった。真摯に受け止め、改善していきたい。
- ・自治会支援、コミュニティの活性化を積極的に行う。
(園芸セラピー、フレイル体操、スマホ教室、防災体験学習、防犯教室、なごみカフェなど)
- ・外部開放を今年度も20区画以上の増設に取り組み達成させたい。
- ・家賃、共益費一括徴収制度を2団地以上、無事スタートさせる。

令和4年度 総合評価シート

評価者：まちづくり部公営住宅管理課

施設名	県営住宅(東播磨地区)	現指定管理期間	令和4年～令和8年(5年間)
指定管理者	TC 神鋼不動産サービス(株)	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

・明石と加古川の2事務所体制を敷くことで、入居者の利便性向上に寄与している。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

・空家補修費について、指定管理6地区のうち戸当たり単価が最も高く、早急に低減に努める必要がある。
 ・入居者アンケートの不満足度が高く、入居者に寄り添った対応が求められる。
 ・独自提案について、未達成のものが多い。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A				

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県営住宅(中播磨地区)	現指定管理期間	平成31年～令和5年(5年間)
指定管理者	(株)兵庫県公社住宅サービス	選定方法	公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目	業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
サービスの質向上のための取組	各種審査の厳正な運用	各種審査について実施要領・水準書に基づき運用	職員の知識向上と書類不備防止のため、水準書・各実施要領の再確認。二重チェックを行い、不備がないよう確認し、滞りなく円滑・迅速な対応に努めた。	○	◎
	住民や入居希望者からの問い合わせに対する対応	円滑・迅速な対応を行う	入居希望者へはタブレット等を用い、入居物件概要説明を行った。入居前には内覧案内を行いトラブル防止を図った。 対応件数 720 件	◎	◎
	効果的・効率的な管理運営	高齢者への対応	75 歳以上の単身高齢者世帯の見守り時に、73・74 歳以上(希望者)の方も対象に訪問を行い、効果効率よく、安否確認を行った。対象者数:9,658 人/年 訪問回数:19,850 回/年	◎	◎
		保険等の案内	入居者の責任が伴う万一の事故に備え、家財保険・賠償保険等、効率的に解決できる保険の案内を行った。案内 221 件、契約件数 13 件		
	社会的弱者(高齢者、障害者、外国人など)に寄り添った対応	外国人対応	ベトナム人居住者へは、専門通訳を介し日常生活全般の相談にも対応した。 対応件数 481 件 また外国人多様化に伴いタブレット翻訳アプリ等用い対応できる体制としている。 (高齢者は上記に記載)	◎	◎
	市町福祉部局などとの連携	障害者、高齢者、要介護者対応等	姫路市地域見守りネットワーク事業の協力事業者として登録を行い、高齢者の見守り時における事案の共有を密に図った。	◎	◎

施設の維持管理	空家の管理	通水、動作確認、汚損箇所の点検など	定期的(月1回)に空家点検を実施し、異常確認・換気等を行った。 ハト除け対策3戸	◎	◎
	法定点検	建築物・建築設備点検	全団地3年に1回の周期で実施(R4年度:10団地)	◎	◎
		防火設備点検	毎年実施		
	設備保守管理	遊具点検	日常点検・定期点検を実施。不具合箇所については補修対応6件	◎	○
		団地巡回異常点検	生活サポーターが週1回以上実施。擁壁欠落危険箇所1団地補修対応。		
		消防設備点検	消防設備点検実施 47団地		
	空家補修工事	戸数、内容、コスト低減策など	空家補修工事223戸実施 補修範囲・方法を的確に指示し、費用抑制を図った	◎	◎
	清掃	排水管洗浄、小動物等による汚損箇所の点検	排水管清掃定期的に年1回実施	○	◎
	植栽管理	高木剪定、草刈り	高木剪定28団地 県有地草刈等19箇所 屋上緑化草刈1団地	◎	◎
	駐車場管理	外部開放の推進状況など	6団地53区画 R4年度:2団地11区画	○	○
小規模修繕	一般修繕	1,273件(漏水等)	◎	◎	
	緊急修繕	15件(台風被害・給水管・水漏れ関係)			
運営業務	組織体制	緊急対応、夜間休日対応を含む体制	休日夜間を含め、24時間電話対応(件数:86件)できる体制とし、自然災害・火事等緊急対応は、職員が30分以内に駆け付ける体制を維持。台風14号到来時は、職員3名が事務所待機し、万事に備えた。	◎	◎
	公共性・公平性の確保	公開による公平な抽選の実施	全応募者へ抽選会見学案内を行い、希望者に立会いを依頼。全ての抽選結果を参加者が記載し、公平な抽選を実施した。	◎	◎
入居者間に生ずる紛争等への対応		相談員が両当事者と必ず面談し、中立な立場で解決を図ると共に、都度クレームデータ集を作成し、社内情報共有している。また、必要に応じ警察・市関係機関等と連携し、偏りなく対応した。 対応件数:387件			

収納業務	家賃収納率、督促、目標収納率に対する実績など	毎月、団地・担当者別の収納率を関係所員と共有し、収納率執行状況を確認。夜間訪問に加え朝一訪問の実施。滞納者の生活実態・経済状況の把握 R4 年現年度目標収納率 99.05%達成。 実績: 99.76%	○	○
団地自治会への支援		NPO 法人と協力し、主に単身高齢者を対象に月 1 回「ふれあいサロン食堂」開催。(神戸新聞・県住だより掲載)	◎	◎
個人情報の管理状況	個人情報保管方法等	個人情報廃棄は、専用シュレッター購入し、厳重に管理	◎	◎
	研修等	令和 4 年度に他機関で起きた個人情報漏洩事故例(個人情報紛失等)を基に研修等を行い、同事故防止の再確認を行った。		
利用者満足度調査結果(アンケート調査)	入居者アンケート実施(104 戸配布) 目標不満足度 10%未満	不満足度率 5.7% (スタッフ対応不満足度 3.1%) 10%未満達成	◎	◎
業務の再委託の状況	再委託状況及び再委託における工夫	空家・小口補修工事 建築・電気・給排水業者へ区分し発注。工事単価を決め契約し、費用抑制を図った。 休日夜間電話受付 駐車場外部開放 (相見積取得し業者選定)	◎	◎
独自提案の進捗	防災への備え	兵庫県広域防災センター(三木市)にて、防災体験学習(地震・煙体験等)を実施。 参加者 20 名 今回は、住民介護を行う市地域包括支援センター職員も参加し、万事の備えを共有した(県住だより掲載)	◎	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

【自己評価】

- ①資材等の価格改定など工事費用が高騰している中、空家補修費等の工事費用抑制に努めた。また、入居率向上に努め、令和3年度より 7.8%増加した。
- ②自治会支援においては、単身高齢者の入居者が年々増える中、自治会及び関係機関と連携し、コミュニティ形成を図る場として「ふれあいサロン食堂」を再開し、当高齢者が安心して暮らせる生活環境創りを行うなど、入居者へのサービス向上を図り、高評価を得た。
- ③高額所得者へは、夜間訪問等繰り返し、全対象者退去することで合意を得た。

【取組目標】

①家賃収納率の更なる向上

令和4年度においては現年度目標 99.05%を上回る結果を残し、令和5年度においては更に目標値を上げ、達成する。

②空家補修費の抑制

適切な補修範囲・補修方法を決め、限られた予算内での費用抑制を図る。

③自治会活動支援

交通網が整理されていない地域への生活援助サービス提供等新たな企画を立案し実施の検討を行っていく。また、昨年度に引続き高齢者等へのコミュニティ形成の場も提供していく。

令和4年度 総合評価シート

評価者：まちづくり部公営住宅管理課

施設名	県営住宅(中播磨地区)	現指定管理期間	平成31年～令和5年(5年間)
指定管理者	(株)兵庫県公社住宅サービス	選定方法	公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・事業実施にかかる報告書や、災害見舞金等の申請に必要な資料など、早い段階で揃えたとともに、補助事業にも積極的であった(入居者との広域防災センター訪問など)
- ・県との情報連携が密にできており、素早い対応を行うことができています。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

特になし

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
		B	S	

総合評価指標(管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする)

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である

令和4年度 管理運営評価シート

施設名	県営住宅(神戸市(西区・明舞地区除く)・北播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路地区)	現指定管理期間	令和3・4年度(2年間)神戸地区 令和3~5年度(3年間)其他地区
指定管理者	兵庫県住宅供給公社	選定方法	非公募

1 指定管理者による自己評価

評価項目		業務目標 (事業計画ベース)	実績・評価	指定 管理者	施設 所管課	
サービスの質向上のための取組	各種審査の厳正な運用	入居資格審査等の各種審査を水準書及び各審査基準に基づき、適正かつ迅速に実施	基準に基づき処理 同居承認:111件 承継承認:135件 用途変更:80件 氏名変更:48件 入居許可:364件 入居者異動:281件 減免承認:186件	◎	◎	
	住民や入居希望者からの問い合わせに対する対応	県民・入居者からの苦情対応について、管理課・入居課・総合相談担当職員で内容に応じ対応。 入居希望者については、HP等を活用し案内	適時対応 生活相談:4件 苦情相談:110件 住宅相談:32件	○	△	
	効果的・効率的な管理運営	地区毎に担当補修業者を定め、迅速、的確かつ効果的な対応を実施	修繕件数:4,902件 (空家補修除く)	○	○	
	社会的弱者(高齢者、障害者、外国人など)に寄り添った対応	職員により、月に2回(災害復興公営住宅については月3回)、単身高齢者(75歳以上)を訪問	訪問回数:79,546回 (対象世帯数:2,792世帯)	◎	◎	
	市町福祉部局などとの連携	親族や連帯保証人・連絡人のいない単身高齢者について福祉と連携し対応	自治会役員、福祉部局と情報を共有し、入居者をサポート(生活保護、介護の適用)	◎	◎	
施設の維持管理	空家の管理	住宅の封鎖状況、保全状況の点検など	・退去跡の確認 ・残置物の処分 ・廃止団地の保全処理を適時実施	○	○	
	法定点検	建築物・建築設備点検	設備点検を随時実施し、異常個所は速やかに補修	○	○	
		防火設備点検	防火設備は、消防設備点検とともに異常が見受けられるものについて速やかに補修			
	設備保守管理	遊具点検	団地巡回異常点検	職員の定期的(週1回程度)な巡回調査及び自治会役員等からの情報収集により異常個所は速やかに補修対応。過大なものについては、県に報告	○	△
		消防設備点検と不備解消				

	空家補修工事	戸数、内容、コスト低減策により募集戸数を確保	高額補修費物件と低額補修費物件を組合せ募集戸数を確保 不足した給湯器等も他住戸からの移設等に対応 補修戸数: 419 戸	○	○
	清掃	排水管洗浄、小動物等による汚損箇所の点検	過年度からの排水管洗浄実施状況、自治会要望に応じ排水管洗浄を実施 小動物等についても、清掃・排除を実施(鳩フン、ハチの巣)	○	○
	植栽管理	高木剪定、草刈り	高木剪定:27 件 草刈り :15 件	◎	◎
	駐車場管理	外部開放の推進状況など	民間業者に対し、駐車場情報を提供等により推進	○	△
	小規模修繕	一般修繕(専用部分)	水漏れ:186 件 給湯器:41 件 その他:1,118 件	◎	○
		緊急修繕(専用部分)	水漏れ:656 件 給湯器:408 件 その他:797 件		
運営業務	組織体制	緊急対応、夜間休日対応を含む体制	時間外への対応については、外部コールセンターで一時的な対応を行い、状況に応じて、指定業者・公社職員に連絡 外部コールセンター対応件数:740 件	○	○
	公共性・公平性の確保	公開による公平な抽選の実施	年 12 回の募集を行い、抽選会においては抽選事務に従事する者以外の立ち合いを実施	◎	△
		入居者間に生ずる紛争等への対応を公平に行う	紛争当事者及び自治会役員等の意見を傾聴し、事実確認のうえ公平に対応 総合相談員対応 苦情相談:110 件 ・ペット:18 ・騒音:46 ・汚物:16 ・暴力:8 ・その他:22		
収納業務	年間 11 回の夜間督促等により、現年度家賃の目標収納率を達成する	年間 11 回の夜間督促を実施するとともに、入居者の経済状況や生活実態を把握し、解消のアドバイス等を行い、滞納の解消を図った 目標収納率 【神戸】99.10% 【その他】98.51% 収納率(R5.3 末時点) 【神戸】98.73% 【その他】98.32%	◎	○	

	団地自治会への支援	入居者が自ら行う、防災活動、清掃活動、共用部分の管理について支援を行う	防火訓練などを消防設備点検に合わせ実施して自治会の防火活動を支援するとともに各種助成等により自治会の自主活動を支援 共益費支援： 37 団地 8,782 千円 環境整備支援： 65 団地 2,538 千円 防火組織支援： 62 団地 2,110 千円	◎	◎
	個人情報の管理状況	個人情報の保管・利用の適正管理する	所属長を個人情報管理者とした責任体制を整備情報を外部に持ち出す際の上司の許可を徹底し、漏洩を防止	○	○
	利用者満足度調査結果 (アンケート調査)	入居者アンケートにより入居者へのサービス向上を図る 実施件数 240 部配布 173 部配布 (回収率 72.1%)	業務に関連する下記項目において、半分以上が前年度より満足度が上がっていることから、今後も更なる満足度の向上を図る。 利用者満足度 自治会活動への協力： 33.5% (34.0%) 補修対応： 35.3% (35.3%) スタッフ対応： 53.2% (46.7%) 単身者見守： 31.2% (30.7%) ()は R3	◎	◎
	業務の再委託の状況	業者への再委託によって、的確かつ迅速な業務を実施する。	消防設備点検業務を専門業者に再委託し、不備な箇所を確認、補修等を実施。	○	○
	独自提案の進捗	公社賃貸住宅との連携を図る	公社賃貸住宅において、収入減などにより該当住戸への居住が困難となった場合など、県営住宅の案内を実施	○	○

2 総合的な自己評価・来年度の取組目標・課題等について

<p>【自己評価】 長年、県営住宅の管理業務を行ってきた経験、実績や公社の信用力及び行政機関との密接な関係を活かし、適正に管理業務を実施した。 維持管理業務においては、夜間・休日を含む 24 時間体制により火災や緊急修繕への対応を行うとともに、昨今増加する自然災害(風水害・凍結)による住宅への被害にも速やかに対応した。 運營業務については、コロナ禍で対面対応が困難な中、自治会や入居者からの各種相談等にも丁寧に対応し、収納業務についても入居者の状況に応じ、電話連絡やインターフォン越しの交渉などにより的確に対応した。 また、令和4年度をもって、神戸地区の指定管理受託を終了したことから、次期指定管理者への円滑な事務等の引継ぎを行い、管理業務を移行した。</p> <p>【今後の課題等】 令和5年度以降については、北播磨・西播磨及び三たん地区のみの受託となるが、いずれも遠方に散在することから、管理する上で非効率にならざるをえない。また、各地区における各補修業者についても廃業等により減少していることから、今後の補修体制についても状況に応じて見直しを図らねばならない可能性がある。 入居者募集については、毎月の定時募集がなくなり、大半が各市町からの斡旋による入居となることから市町募集担当者との連携を一層密にして入居促進を図る。</p>
--

令和4年度 総合評価シート

評価者：まちづくり部公営住宅管理課

施設名	県営住宅(神戸市(西区・明舞地区除く)・北播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路地区)	現指定管理期間	令和3・4年度(2年間)神戸地区 令和3～5年度(3年間)其他地区
指定管理者	兵庫県住宅供給公社	選定方法	非公募

1 指定管理者の業務実績に関する評価

- ・長年、県営住宅の管理を行ってきた実績があり、入居申込みの受付から抽選、審査に至る一連の流れを十分に理解した上での対応ができており、実務に精通した職員も多い。
- ・毎年度実施すべき目標に対して適切に達成できていると評価できる点はあるが、苦情・要望等の対応について、適切な指導が行われていない事態が見受けられる。また、報告が遅い・ないことが見受けられる。

2 業務改善に向けた分析・指導内容

- ・入居者から所管課への苦情で問題が判明することもあり、トラブルになりそうな事例は事前に所管課へ報告する体制づくりが必要である。
- ・所管課と指定管理者の間で報告会などの情報共有の機会を確保するとともに、トラブルの事例や対処の実例の共有などを図り、適切な管理を実施することを求める。

3 施設所管課による総合評価

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
C	B			

総合評価指標（管理運営評価シートの施設所管課による評価結果を基準とする）

S	◎が80%超である
A	◎が60%超80%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
B	◎が60%以下であり、かつ△と×の合計が20%以下である
C	△と×の合計が20%超40%以下である
D	△と×の合計が40%超である